

2025年度全学共通総合講座 講座計画書

講座情報をクリックすると該当ページにジャンプします。

主催	講座名	開講 キャンパス	開講 期間	曜日	時限	コーディネーター	ページ
法	人権って何？築くちから, 気づくこころ	駿	春	金	4	江島 晶子	2
	グローバル化と人権	駿	秋	金	4	江島 晶子	4
	東京土地家屋調査士会寄附講座 「土地と建物の登記に関する講座」	駿	秋	火	4	亀田 浩一郎	6
	明治大学の歴史Ⅱ	駿	秋	金	4	村上 一博	8
商	アート・オブ・物流」	駿	春	金	4	町田 一兵	10
	明治大学の歴史Ⅰ ※メディア授業科目	和	春	金	4	三田 剛史	12
政	環境と政治・経済・社会Ⅰ	駿	春	木	5	大森 正之	14
	環境と政治・経済・社会Ⅱ	駿	秋	木	5	大森 正之	16
	アジア国際秩序の軍事再編と武器移転の連鎖	駿	春	火	2	須藤 功	18
	コントラクトブリッジで身につける論理的思考力	中	春	火	3	勝 悦子	20
	ASEAN諸国の政治と経済 —タイとベトナムを中心に— ※メディア授業科目	—	秋	—	—	武田 巧	22
文	大学博物館の現場を実見する	駿	秋	月	2	駒見 和夫	24
	登戸研究所から考える戦争と平和	生	春	木	1	山田 朗	26
	シェイクスピアの現代的魅力	和	春	金	5	井上 優	28
	登戸研究所から考える戦争と平和	駿	秋	木	2	山田 朗	30
	明治大学の歴史Ⅰ ※メディア授業科目	中	春	金	4	高田 幸男	32
理	環境人文学Ⅰ ローカルスタンダードをデザインする	駿	春	水	4	鞍田 崇	34
	環境人文学Ⅱ インティマシーをデザインする	駿	秋	水	4	鞍田 崇	36
	先端医療概論	生	秋	水	5	工藤 寛之	38
	データサイエンスAI概論 ※メディア授業科目	—	秋	—	—	崎濱 栄治	40
農	明治大学の歴史Ⅰ ※メディア授業科目	生	春	金	4	松下 浩幸	42
営	労働講座企画委員会寄附講座 「職場のリアルから働き方を考える講座」	駿	秋	木	3	早川 佐知子	44
	変化する社会のコミュニケーションを考える ～広告と言葉の役割～	駿	秋	金	2	戸村 佳代	46
	明治起業家学2025 ～起業はキャリアの選択肢～	駿	春	火	5	岡田 浩一	49
	連合寄附講座：働くということと労働組合	駿	春	水	3	山崎 憲	51
国	ダイバーシティ&インクルージョンと日本社会	中	秋	火	3	山脇 啓造	53
総	データサイエンスAI概論 ※メディア授業科目	—	春	—	—	中村 和幸	56

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
人権って何?築くちから、気づくところ			法学部・江島晶子	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	春学期	金	4
1 授業の概要・到達目標				
<p>実際の自分の生活に密接に関連しうる問題として、ジェンダー、宗教、地域社会、多文化共生、移民、生命・医療などをテーマにとりあげ、具体的な問題を通して人権について考えます。一方通行の講義ではなく、質疑応答、ディスカッション、ロールプレイング、リアクションペーパー等を通じて「考えるプロセス」に参加する機会を設けます。それによって、人権について多様な視点から具体的に考える機会を通じて、人権に関する問題を発見する能力、問題に取り組む力を滋養することが到達目標です。</p>				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月11日	ガイダンス (講座の概要、成績評価方法等の説明)	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏名	江島晶子
<p>第1回では、講義の概要や成績評価方法等を説明した後、講座全体のイントロダクションを行います。人権について知識がなくても、これまであまり考えたことがなくても、第2回以降の講義にスムーズに入っていけるように、入門的素材を使いながら知的好奇心を揺さぶります。</p>				
2	4月18日	ジェンダーと人権①	所属・役職	明治大学文学部・教授
			氏名	平川景子
<p>(家庭と学校におけるジェンダー) 女子の制服についてスカートとズボンを選ぶようになるなど、学校におけるジェンダーは変わってきたようです。しかし将来就きたい職業では「男の子はスポーツ選手、女の子は漫画家・イラストレーター」が一位です。子どもたちは(つまり私たちは)、家庭や地域のおとなから、またメディアの中から、気づかないうちにジェンダーを「学んで」いるのではないかということ、考えます。</p>				
3	4月25日	ジェンダーと人権②	所属・役職	明治大学文学部・教授
			氏名	平川景子
<p>(女性が働き続けることと男性が子育てすること) 働く女性が妊娠すると会社でマタニティ・ハラスメント(マタハラ)を受けたり、ワンオペ育児といわれる孤立した子育てに耐えられずに、退職に追い込まれることがあります。一方で、「男の産休」を取ったり、子育てにかかわる地域活動を楽しんだりする男性たちの生き方も生まれています。男女が共に担う社会とは、具体的にどのようにして創られるのでしょうか。</p>				
4	5月9日	ジェンダーと人権③	所属・役職	明治大学文学部・教授
			氏名	平川景子
<p>(スポーツにおけるジェンダー) マラソンは女性の生殖機能に影響するなどの理由で長く女子の参加が認められず、1984年のロサンゼルス五輪から正式種目になりました。学校体育でも長く種目や距離で男女が分けられてきましたが、男女別のスポーツについて、例えばLGBTの立場からも問い直しがあります。筋力の強さを競い合うスポーツから、生涯にわたって楽しむスポーツへ、視点を変えると何が見えてくるのでしょうか。</p>				
5	5月16日	移民と人権①	所属・役職	上智大学総合グローバル学部・教授
			氏名	田中雅子
<p>メディアには「外国人労働者」や「不法滞在者」といった表現が登場しますが、国際規範では、彼ら・彼女らはどのように呼ばれているのでしょうか。この授業は「人の移動」に関する国際規範の形成の流れを振り返り、日本における「多文化共生」の取り組みは、「移民」や「難民」の人権保障は十分なのかを考えます。入管の収容制度や技能実習制度に関するニュースを読み解くための基礎知識を身につけましょう。</p>				
6	5月23日	移民と人権②	所属・役職	上智大学総合グローバル学部・教授
			氏名	田中雅子
<p>技能実習生や留学生の一部は、日本に家族を連れてくるのが認められていません。「妊娠したら帰国させる」などと妊娠や出産が制限されている人がいます。なぜ、彼女たちは、「子どもを産むか、産まないか、産むとしたらいつ産むか」を自分で決めることが認められていないのでしょうか。日本で暮らす移民女性のリプロダクティブ・ライツ(性と生殖に関する権利)について考えます。</p>				
7	5月30日	移民と人権③	所属・役職	上智大学総合グローバル学部・教授
			氏名	田中雅子
<p>「外国にルーツをもつ子ども」の教育というと、言葉の壁をなくすための日本語指導の必要性だけに関心が集まりがちです。しかし、日本で安定して暮らすことができる在留資格がない人もいます。やむを得ない事情で出身国に戻ったときに学校教育を受けるのに十分な母語や継承語を彼らはどこで、誰から、学ぶのでしょうか。日本政府が批准している子どもの権利条約などを手がかりに、日本と出身国を往来する移民の子どもへの教育について考えます。</p>				
8	6月6日	イスラーム教徒たちの人権問題①	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏名	山岸智子
<p>パレスティナ人(多数派がイスラーム教徒ですがキリスト教徒も含まれます)の人権問題として、イスラエルとアラブの紛争をひもといて説明します。基本的にはローカルな事情から理解を促すよう努力しますが、国際政治や時局もみながら、周辺諸国や大国のかかわりについても言及することになるかもしれません。</p>				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月13日	イスラーム教徒たちの人権問題②	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏名	山岸智子
イスラームとジェンダーというテーマでお話しします。20世紀末から台頭してきた「イスラーム主義」が従来の世界観や伝統的なイスラーム法学と女性の社会参加をどのように折り合わせようとしているかを取りあげ、「男女は異なるもの」を前提に、男女に全く同じ権利を認めるよりも、それぞれの条件にあわせて全体として均衡のとれる公平性をもとめ、と考える例を示し、ジェンダーをめぐる価値観やライフスタイルの違いを、私たちはどのように捉える				
10	6月20日	イスラーム教徒たちの人権問題③	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏名	山岸智子
21世紀初頭から「安全」と「テロ」を対置する言論が世界を席卷している中で、「テロ容疑者」となったイスラーム教徒を例に人権の問題を考えます。「爆発物製造」や「ハイジャック計画」として、被告人の人権も考慮しながらきちんと立件すべきものを、「テロリスト」という、明確な定義がない、インパクトだけは大きい枠組みがまかりとおっているために行われる実力行使の是非について、考える機会を提供します。				
11	6月27日	生命・医療と人権①	所属・役職	北里大学医学部附属医学教育研究開発センター医学原論研究部門・准教授
			氏名	齋藤有紀子
からだをめぐる自己決定権について取り上げます。国内外の近年の時事問題について映像鑑賞や意見交換をしながら考えます。				
12	7月4日	生命・医療と人権②	所属・役職	北里大学医学部附属医学教育研究開発センター医学原論研究部門・准教授
			氏名	齋藤有紀子
人生の最終段階における人権について取り上げます。国内外の近年の時事問題について映像鑑賞や意見交換をしながら考えます。				
13	7月11日	生命・医療と人権③	所属・役職	北里大学医学部附属医学教育研究開発センター医学原論研究部門・准教授
			氏名	齋藤有紀子
リプロダクションをめぐる倫理について取り上げます。国内外の近年の時事問題について映像鑑賞や意見交換をしながら考えます。				
14	7月18日	総括	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏名	江島晶子
第2回から第13回において検討してきた多様な人権問題を受けて、最終回では、もう一度出発点に立ち返って、「人権」という視点の必要性、実現可能性・有効性を確認します。				
3 履修上の注意				
秋学期に設置されている総合講座「グローバル化と人権」は、本講座の関連講座です。これを受講すると、人権に対する知識・理解をさらに発展させることができます。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
各回において様々なテーマをいろいろな視点から扱います。これらについて授業の中で考えたり、議論したりすることを通じて、人権を抽象的にではなく、具体的に考えることを目的とするので、自分の疑問を大切に、自分の疑問に主体的に向き合う姿勢を大切にしてください。				
5 教科書				
各回の授業の際にレジュメや資料等を配付します。				
6 参考書				
ヒューマン・ライツ・ナウ『人権で世界を変える30の方法』、申恵丰『国際人権入門』				
7 課題に対するフィードバックの方法				
Oh-o! Meijiシステム等を利用してフィードバックを実施します。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
レポート（70%）、平常点（30%） 出席回数が5回未満の場合は成績評価の対象としません。				
9 その他				
本講座は、人権全学共通総合講座運営委員会によってコーディネートされています。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名		コーディネーター		
		学部・氏名		
グローバル化と人権		法学部・江島晶子		
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	秋学期	金	4
1 授業の概要・到達目標				
<p>本講座の目的は、地球レベルで人権について考える機会を通して、グローバル化の進む地球において、問題を発見し、問題に取り組む力を養うこと、および、国境を越え自らが地球の構成メンバーであるという国際的視野を身につけることです。人権は、人が人であるがゆえに持っている権利であり、人であれば誰もが享受できる権利だと説明されますが、地球を見回してみると、すさまじい貧困、絶えることのない戦争・内戦、進展する環境破壊等、本当に誰もが人権を持っているといえるのか疑いたくなる現状があります。学部や文系・理系の枠を越え、実際の自分の生活と国際社会・地球が密接に関連する問題を素材に、人権について多様な視点から具体的に考えます。</p>				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月26日	イントロダクション (講座の概要、成績評価方法等の説明)	所属・役職 氏名	明治大学法学部・教授 江島晶子
<p>第1回では、本講義の概要や成績評価の方法を説明した後、本講座全体のイントロダクションを行います。人権という視点から、「グローバル化」が人々の生活に及ぼす影響について概観します。第2回以降の講義にスムーズに入っていけるように、入門的素材を使いながら、自分と世界のつながりを新たな視点から見る糸口を作ることが目的です。</p>				
2	10月3日	グローバル化と人権①難民	所属・役職 氏名	認定NPO法人難民支援協会・事務局長 石川えり
<p>難民を保護する国連機関であるUNHCRの統計によると移動を余儀なくされている状況にある人は1億人を突破し、現在も増え続けています。本講義では迫害をおそれて故郷を逃れ、他の国へ保護を求める人たちが「難民」の定義、置かれている状況や課題を理解します。さらに、日本に逃れてきた難民の現状を知ること、彼らが逃れざるを得なかった出身国の人権状況、そして日本における状況を理解することで人権について考えます。</p>				
3	10月10日	グローバル化と人権②環境	所属・役職 氏名	明治大学政治経済学部・教授 石山徳子
<p>本講義では、1990年代以降に主にアメリカ合衆国で着目されてきた「環境正義」の視点から、環境問題と人権問題の関連について考えます。特に、原子力政策の歴史を振り返り、マンハッタン計画、ウラン開発、核実験の現場や、放射性廃棄物処分施設の建設候補地付近に居住する人びとの経験に関する報告を行います。安全保障や経済開発に関わる国策のもと、環境破壊の前線に置かれた弱者の人権が侵害されてきた実態について紹介します。</p>				
4	10月17日	グローバル化と人権③自然科学	所属・役職 氏名	明治大学法学部・教授 勝田忠広
<p>AI、ロボットなど、人間に対して重大な影響をもたらす新たな科学技術が次々と誕生していますが、私たちはこうした科学技術のことをどれだけ理解しているのでしょうか。また、世界では高度な科学技術の便益を受けて快適・安全な生活を享受できる人々がいる一方で、こうした発展にアクセスできない人々もいます。科学技術が人間の社会に及ぼす影響を知ると同時に、それに対してどう向き合うべきか、どのように向き合えるかを考えます。</p>				
5	10月24日	戦争・内戦と人権① 戦争・内戦・民族虐殺はなぜ起きるのか	所属・役職 氏名	国際協力機構・国際協力専門員 橋本敬市
<p>冷戦終結後の国家間紛争、内戦、民族虐殺(ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、ルワンダ、コソヴォ、ウクライナ、パレスチナ等)を取り上げながら、紛争の構図、構造要因等を検証します。特に、今日の課題として、ロシアのウクライナ侵攻に着目し、影響圏拡大のための国家戦略、軍事と情報操作を組み合わせた「ハイブリッド戦争」等を紹介し、国際社会の対応の是非を考察します。</p>				
6	11月7日	戦争・内戦と人権②平和構築	所属・役職 氏名	国際協力機構・国際協力専門員 橋本敬市
<p>国際社会は従来、発生した紛争に対し「対症療法」的に対応して来ましたが、ここ20年余、深刻な人権侵害を予め防ぐ手段として、紛争予防の重要性が強調されてきました。特に構造的に紛争要因が存在する国・社会に対して、これらの要因を取り除く努力を支援する様々な試みがなされています。この講義では、紛争影響国に対して日本が実施している民主化支援、特に情報操作を防ぐ手だてとしてのメディア支援を紹介しながら、その有効性を検証します。</p>				
7	11月14日	戦争・内戦と人権③紛争時の文民の保護	所属・役職 氏名	赤十字国際委員会・駐日代表 榛澤祥子
<p>赤十字国際委員会(ICRC)は、戦場で生まれた戦争の現場で活動する人道支援組織である。ICRCは2つの使命をもって活動する。一つ目は、公平、中立、独立という「人道原則」の下で援助を提供すること。二つ目は、人道法の普及、強化である。昨今世界が、多国間主義や連携・協力から国防費の増加や紛争への備えへと移行していく中、国際人道法は今、まさに岐路に立たされている。国際人道法は一体何か、紛争という最悪の状況下で戦闘に参加していない人びとの命を如何に救うのかということウクライナやガザの事例から理解する。</p>				
8	11月21日	国際ネットワークと人権① インターネットを使いこなす	所属・役職 氏名	インターネット協会・研究員 石徹白未亜
<p>生活を豊かに、便利にしてくれるインターネットですが、一方でインターネットは非常に身近な存在になったため、炎上、誹謗中傷、ネットいじめなど、人権にまつわるトラブルの発生源ともなっています。スマホを持ちたての中学生や、スマホに不慣れな高齢者がスマホに絡んだトラブルに巻き込まれることも少なくありませんし、また、被害者ではなく加害者になってしまうケースも見られます。トラブルの事例から、対処方法や予防策、各事業者、行政の取り組みについて考えていきます。</p>				

回	日程	テーマ	担当者	
9	11月28日	国際ネットワークと人権②国連・企業	所属・役職	法政大学法学部・教授
			氏名	金子匡良
現在の企業は、その社会的責任経営（CSR）を重視し、国際機関、NGO、政府、取引先等と連携して、社内、地域社会、国際社会における人権の促進に取り組む事例が増えています。第9回では、国連グローバル・コンパクトを中心に、こうした取組を具体的に取上げて、人権や平等の実現に果たす企業およびそれを支援する国際機関やNGOの役割について検討します。参考文献：江橋崇（編著）『企業の社会的責任経営—CSRとグローバル・コンパクトの可能性』（法政大学出版局、2009年）				
10	12月5日	国際ネットワークと人権③NGO・市民社会	所属・役職	国境なき医師団・シニアオフィサー
			氏名	堀越芳乃
NGO「国境なき医師団」は医療・人道援助活動を実施するとともに同時に、現地で目の当たりにした人道危機の現実を社会に訴える「証言活動」も行っている。人権侵害や暴力行為を国際社会に訴え、医療だけでは変えられない問題の解決につなげる。国境なき医師団の活動について理解を深め、国際社会において国境なき医師団が担う役割や活動の意義について考える。				
11	12月12日	自然科学と人権①環境	所属・役職	明治大学商学部・教授
			氏名	森永由紀
「公害が起こって差別が起こるんじゃないかと、やっぱり差別があるところに公害が起こるんだ」とは水俣病研究者の原田正純医師が遺した言葉です。足尾鉍毒事件、四大公害、アスベスト、原発事故や、現在途上国で激化している公害問題を例に、環境汚染と人権問題のつながりについて考えます。				
12	12月19日	自然科学と人権②人類と核	所属・役職	日本大学商学部・教授
			氏名	小島智恵子
放射性廃棄物から放出される放射線は、人体を脅かすものであり、放射性廃棄物処理の問題は、人権問題の一つであると考えられます。本講義では、世界の放射性廃棄物処理の歴史を概観した上で、世界で最も放射性廃棄物処理が進んでいると言われているフランスとフィンランドの事例を取り上げます。そしてフランスとフィンランドの放射性廃棄物処理場の視察を基に、両国の比較を行い日本への影響を検討します。				
13	1月9日	自然科学と人権③生物多様性	所属・役職	明治大学大学院理工学研究科・客員教授
			氏名	三輪哲也
地球上の生物は、その進化の過程で様々な生物を発生させ、その系を安定化させるために生態系の多様性、種の多様性、遺伝的多様性を構築してきました。自然災害などはこれまで破壊や絶滅を生物や生態系に与えてきましたが、グローバル化した現在社会は、私たちの手によって急速な環境変化と、個々の生物が持つ移動能力を超えた拡散をもたらしています。緩衝力と回復力をはからずにグローバル化していないかを検証し、併せて極限環境に生きる生物のしたたかさを紹介します。				
14	1月16日	総括	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏名	江島晶子
最終回では、「グローバル化と人権」という全体テーマについて、これまで取り扱ってきた4つのテーマを振り返りながら、全体のまとめを行います。				
3 履修上の注意				
春学期に設置されている総合講座「人権って何？」は、本講座の関連講座です。春学期の講座を受講してから、本講座を受講すると人権に対する知識・理解をさらに発展させることができます。なお、前期の講座を受講していなくても、本講座を受講する上では全く支障はありません。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
各回において様々なテーマをいろいろな視点から扱います。これらについて授業の中で考えたり、議論したりすることを通じて、人権を抽象的にではなく、具体的に考えることを目的とするので、自分の疑問を大切に、自分の疑問に主体的に向き合う姿勢を大切にしてください。				
5 教科書				
各回の授業の際にレジュメや資料等を配布します。				
6 参考書				
ヒューマン・ライツ・ナウ『人権で世界を変える30の方法』、申恵丰『国際人権入門』				
7 課題に対するフィードバックの方法				
Oh-o! Meijiシステム等を利用してフィードバックを実施します。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
レポート（70%）、平常点（30%） 出席回数が5回未満の場合は成績評価の対象としません。				
9 その他				
本講座は、人権全学共通総合講座運営委員会によってコーディネートされています。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
東京土地家屋調査士会寄附講座「土地と建物の登記に関する講座」			法学部・亀田浩一郎	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	秋学期	火	4
1 授業の概要・到達目標				
<p>国家資格「土地家屋調査士」とは何か？ わたしたちが何気なく住居を置いている土地には、「所有者」と言われる「土地を持っている人」がいます。では、その土地は、「どこからどこまで」が、どのようにして「その人のものである」と、決めることができるのでしょうか。土地家屋調査士が活躍している分野は、まさに、その点であると言えます。 土地家屋調査士を定義づける法律・制度の概要の説明を分かりやすく行いながら、土地家屋調査士の仕事とは何か、わたしたちの生活にどのように関わっているのか、という視点から学びます。 ★1級建築士・2級建築士や測量士・測量士補等の資格取得者は、土地家屋調査士試験の一部が免除されます。</p>				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月23日	a : イントロダクション b : 概論	所属・役職 氏名	a : 法学部・准教授 b : 東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士 a : 亀田浩一郎 b : 味田昌也
a : イントロダクション (講座の概要、成績評価方法等の説明) b : 概論 (土地家屋調査士制度の概論 (制度の紹介と歴史、土地家屋調査士の業務と日常)、土地家屋調査士法の解説 (土地家屋調査士になるために求められるもの)、実取引での登記 (土地・建物の登記))				
2	9月30日	建物の表示に関する登記1 ～表示に関する登記の概論～	所属・役職 氏名	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士 上野博邦
建物の表示に関する登記1～表示に関する登記の概論～ (表示に関する登記の概論 (不動産登記制度、表示登記制度、表題部登記事項の説明、建物の表示に関する登記))				
3	10月7日	建物の表示に関する登記2 ～建物とは～	所属・役職 氏名	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士 岩切秀仁
建物の表示に関する登記2～建物とは～ (建物の認定 (登記できる建物、所有権の認定、建物の個数)、建物に関する登記の種類 (報告的登記と形成的登記))				
4	10月14日	建物の表示に関する登記3 ～建物の表示に関する登記について～	所属・役職 氏名	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士 力石洋平
建物の表示に関する登記3～建物の表示に関する登記について～ (表題登記～普通建物～ (建物表題登記、建物表題部変更登記、建物表題部更正登記、建物分割登記、建物合併登記、合体による建物の表題登記等、建物滅失登記))				
5	10月21日	建物の表示に関する登記4 ～区分建物の表示に関する登記について～	所属・役職 氏名	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士 齋藤浩之
建物の表示に関する登記4～区分建物の表示に関する登記について～ (マンションってなに？、区分所有法の変遷とマンションの歴史、表題登記 (区分建物表題登記)、区分所有建物の特殊性、区分建物の実取引、敷地権等について (敷地権とは (敷地権ってなに？)、敷地権の種類))				
6	10月28日	土地の表示に関する登記1 ～土地とは～	所属・役職 氏名	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士 山口功
土地の表示に関する登記1～土地とは～ (土地とは (法令による不動産の定義、登記の対象となる土地についての判例))				
7	11月11日	土地の表示に関する登記2 ～土地に関する登記の意義～	所属・役職 氏名	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士 平泉早紀
土地の表示に関する登記2～土地に関する登記の意義～ (表示に関する登記の意義 (不動産登記制度の沿革))				
8	11月18日	土地の表示に関する登記3 ～土地に関する登記の種類～	所属・役職 氏名	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士 加々見光
土地の表示に関する登記3～土地に関する登記の種類～ (土地に関する登記の種類 (報告的登記と形成的登記、土地の表示に関する登記の目的))				

回	日 程	テーマ	担当者	
9	11月25日	土地の表示に関する登記4 ～地図作成～	所属・役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏 名	菊川圭一郎
土地の表示に関する登記4～地図作成～ (地図について (法務局に備え付ける地図の定義、地図の成り立ちと現状、地図の持つ役割、土地家屋調査士と地図))				
10	12月2日	測量に関する理論と実務	所属・役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏 名	新隆博
測量に関する理論と実務 (土地の測量実務 (測量機器と測量方法、位置の求め方、測量誤差について、座標系について)、表示に関する登記と測量 (土地: 地図、地積測量図、建物: 建物所在図、建物図面、各階平面図)、地図・地積測量図の作成に係る測量の規定 (地図、地積測量図))				
11	12月9日	境界論～土地の制度と歴史～	所属・役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏 名	山本憲一
境界論～土地の制度と歴史～ (土地の制度と歴史的沿革 (土地の所有権の歴史、近代的所有権の成立、地租改正事業、徴税と権利公示の制度、まとめ)、筆界と所有権界 (公法上の境界と私法上の境界、土地の境界、土地の境界と登記制度)、登記実務での筆界認定 (筆界認定と登記官、土地家屋調査士の調査・測量、隣接土地所有者による認識確認・立会))				
12	12月16日	境界論～境界紛争の解決手段～	所属・役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏 名	山本憲一
境界論～境界紛争の解決手段～ (筆界特定制度 (筆界特定制度とは、手続きの流れ、土地家屋調査士の関与)、境界確定訴訟と所有権の範囲の確認訴訟 (境界確定訴訟とは、所有権の範囲の確認訴訟とは、登記手続きとの関係)、土地家屋調査士ADR (土地家屋調査士会ADRとは、認定土地家屋調査士、土地家屋調査士会ADRと他の制度との関係))				
13	1月13日	総括	所属・役職	東京土地家屋調査士会 土地家屋調査士
			氏 名	塩野麻里
これまでの授業内容の総括				
14	1月20日	a : 試験 b : 講座全体のまとめ等	所属・役職	法学部・准教授
			氏 名	亀田浩一郎
a : 試験 b : 講座全体のまとめ等				
3 履修上の注意				
特になし				
4 準備学習 (予習・復習等) の内容				
授業時にパンフレットを配付しますので、その次の講義までに各自復習を行ってください。				
5 教科書				
特になし。各回の授業で資料等を配付する予定です。				
6 参考書				
第2回講義の配付資料 (日本土地家屋調査士会連合作成パンフレット「マンガでわかる土地家屋調査士のしごと」、「知って得する、境界標の『知識』」)				
7 課題に対するフィードバックの方法				
授業中または Oh-o!Meiji を利用してフィードバックを行う。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
期末試験 (65%)、平常点 (35%)				
9 その他				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
明治大学の歴史Ⅱ			法学部・村上一博	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	秋学期	金	4
1 授業の概要・到達目標				
講義は、職員がこれまでのキャリアのなかで培ってきた専門分野を中心に、図書館の歴史と現状や明大校歌誕生とその効果、博物館の誕生と広報活動などについて、学術的側面と実務的側面の双方から、多角的な検討を行う。これにより、受講学生たちが、自己が所属する明大の特徴を正しく理解し、帰属意識の覚醒を図ることを目標とする。				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月26日	イントロダクション (講座の概要、成績評価方法等の説明)	所属・役職	法学部・教授
			氏名	村上一博
講座の目標と概要、各回の講義テーマと担当者の紹介を行い、また成績評価方法について説明する。				
2	10月3日	明治大学の今と30年前とをくらべて	所属・役職	博物館事務室・事務長補佐
			氏名	福田厚史
大学史と一言で言っても、その対象となる範囲は様々である。この回では、受講者の父母の多くの方が大学生であったであろう30年前を対象とし、現在との相違点を知ることで、明治大学の近年における変化等を理解する。				
3	10月10日	明治大学公式イメージキャラクター「めいじろう」	所属・役職	博物館事務室
			氏名	武井大貴
現在、キャンパスの至る所で見ることができる、明治大学公式キャラクターの「めいじろう」が誕生したのは2007年3月である。めいじろうは学生及び教職員からの公募によって誕生し、多くの人々に愛されるキャラクターへと成長してきた。本講義では、めいじろうの成り立ち、他大学のキャラクター、めいじろうグッズなどを紹介し、最後に自分が購入したい大学グッズについてのアンケートを行う。				
4	10月17日	校友・校友会の歴史	所属・役職	博物館事務室
			氏名	古俣達郎
校友と校友会の歴史について講義する。明治大学は「校友」という呼称を初めて使用した学校である。				
5	10月24日	明治大学校歌 (生まれてきた理由)	所属・役職	法学部事務室・事務長
			氏名	福岡英朗
今から約100年前に作られた明治大学校歌。人は何故歌うのか、何故応援するのか。その当時の学生が何を想って歌を必要としたのか、発注を受けた作り手は、どういった発想で歌詞と楽曲を作り上げたのかを、今の学生が想像できる形で探っていく。原譜では、現在のラップに近い歌詞も残っており、100年前の音楽事情 (外来と在来) も考察しつつ、歌詞や楽曲の成り立ち、そして、歌というものへ対する想いを2回にわたって講義する。				
6	11月7日	明治大学校歌 (成り立ちの経緯)	所属・役職	法学部事務室・事務長
			氏名	福岡英朗
同上				
7	11月14日	図書館・博物館の活動と大学広報	所属・役職	法学部・教授
			氏名	村上一博
第8回～第11回の講義の大まかな内容と特徴について講義するとともに、大学の社会貢献のあり方について、総論的に解説する。				
8	11月21日	図書館の歴史	所属・役職	図書館総務事務室・事務長
			氏名	折戸晶子
図書館の成り立ちを説明し、明治大学図書館のあゆみを紹介すると共に、その使命や役割、課題について共有する。				

回	日程	テーマ	担当者	
9	11月28日	図書館の所蔵資料	所属・役職	図書館総務事務室・事務長
			氏名	折戸晶子
各キャンパスの図書館に所蔵している資料の特徴を示すとともに、普段目にすることが出来ない貴重な資料や特別な資料について紹介する。				
10	12月5日	明治大学博物館を観て博物館を知る	所属・役職	博物館事務室・事務長
			氏名	市川園子
博物館について知るために、レクチャーにより明治大学博物館はじめ大学博物館を紹介し、世界のミュージアムの歴史、日本の博物館の成り立ちと課題を共有する。アカデミーコモンの博物館展示施設（商品・刑事・考古の3部門、大学史展示室、阿久悠記念館）を見学し、最後に明治大学博物館展示施設へのアンケートを行う。				
11	12月12日	明治大学のイメージの変遷を知り広報活動を考える	所属・役職	博物館事務室・事務長
			氏名	市川園子
前回からの続きとして、博物館の活用に向けた情報提供を行う。本題として、各大学ではブランド戦略に力を入れていることから、母校・明治大学のイメージの変遷を確認し、大学のブランド力向上における広報活動の重要性をレクチャーする。具体的事例として、博物館の広報活動への取組みを紹介し、最後にワークとして、博物館への広報プランの提案を行う。				
12	12月19日	理事会の役割と理事長の歴史	所属・役職	法学部・教授
			氏名	村上一博
明治大学の教育を担うのが学長を中心とする教員組織であるのに対して、その経営を担うのは、理事長を中心とする理事会である。歴代理事長にはどのような人物が就任してきたのか、理事会はどのような役割を果たしてきたのかについて講義する。				
13	1月9日	キャンパスの移り変わり	所属・役職	博物館事務室
			氏名	阿部裕樹
明治大学は、現在、駿河台・和泉・生田・中野の4キャンパスで構成されているが、それぞれのキャンパスはどのようにして成立したのか、将来的なキャンパス構想はどうあるべきか、などの問題について講義する。				
14	1月16日	総括と試験	所属・役職	法学部・教授
			氏名	村上一博
全12回の講義を振り返り、筆記試験を実施する。				
3 履修上の注意				
出席を重視する。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
明治大学史資料センター編『明治大学の歴史』（DTP出版、2017年）を読んでおくことが望ましい。				
5 教科書				
特になし。				
6 参考書				
図書館で閲覧できる参考書として、明治大学史資料センター編『白雲なびく遥かなる明大山脈 アジア編Ⅱ』（DTP出版、2024年）、同編『同 法曹編Ⅱ』（DTP出版、2023年）、同編『同 アジア編Ⅰ』（DTP出版、2023年）、同編『同 法曹編Ⅰ』（DTP出版、2022年）、同編『私学の誕生—明治大学の三人の創立者』（創英社／三省堂書店、2015年）、『明治大学百年史』全4巻（明治大学、1986～1994年）がある。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
Oh-o!Meijiを利用して回答・発信する。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
定期試験50% 平常点50%				
9 その他				
この講座は、明治大学について学ぶ絶好の機会であるから、多くの学生が受講し、自分自身が明治大学で学ぶ意義について考えてくれることを願っている。あわせて和泉・生田・中野キャンパス設置の講義であるが「明治大学の歴史Ⅰ（メディア授業）」を受講することが望ましい。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
アート・オブ・物流			学部・氏名	
町田 一兵				
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	春学期	金曜日	4限目
1 授業の概要・到達目標				
<p>本講義は各業種に経験豊富な物流業務に携わるエキスパートたちを中心に、その実務経験を授業に活かし、毎回異なる業種や視点における物流の仕組み、特徴及び概況を実践的に説明し、本学既存の商業流通関連カリキュラムを学ぶ意欲の促進及び物流産業全体の実像に対する理解の深化をねらいとする。</p>				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月11日	イントロダクション (講座の概要, 成績評価方法等の説明)	所属・役職	コーディネーター
			氏名	町田 一兵
<p>講座の開講にあたり、交通・物流が産業における重要性を始め、講座の概要及び各講座のスピーカーによることなる産業での切り口のポイントなどの紹介を行い、成績評価方法などを説明する。</p>				
2	4月18日	高付加価値の物流 (Art of Logistics)	所属・役職	千疋屋総本店 代表取締役社長
			氏名	大島 博
<p>高付加価値貨物に代表される高級フルーツ、その高付加価値を維持するための一連のモノの流れを企業の取り組み事例として紹介し、物流が価値創造するための重要な役割という切り口で物流機能の大切さを説明する。</p>				
3	4月25日	アパレルの物流 (ファッションビジネスと物流の位置付け)	所属・役職	有限会社 デイモンドワークス 代表
			氏名	齊藤 孝浩
<p>アパレルOEM生産、輸出入の仕組みやファッション流通の在庫最適化を図る手法など、ファッション企業のサプライチェーン・ロジスティクスの現状及び店頭・EC販売、在庫管理業務の再構築など、アパレルグローバルサプライチェーンやオペレーションの最新事情を説明する。</p>				
4	5月9日	リコール品の流れを含む静脈物流 (再生できる社会を目指して)	所属・役職	千葉商科大学准教授
			氏名	大下 剛
<p>BtoC物流が増える中、返品の流れが極めて大きくなってきた。消費者權益を守る上で当然な措置だが、その効率的な対応が求められる。さらにメーカーから消費者までの従来の物流の流れと逆に、廃棄物流を含む循環物流の整備・構築について説明する。</p>				
5	5月16日	MaaS (Mobility as a Service) を物流に (輸送のシェアリング)	所属・役職	NEXT Logistics Japan (ネクストロジスティクスジャパン) 社長
			氏名	梅村 幸生
<p>自動車輸送業界で長年苦しめてきた環境問題や労働力不足などの課題を克服するため、トラックの運び方に新たな仕組みを加えられる。アウトプットである輸送サービスを維持しながら、いかに環境・労働力不足の対応など、これからのトラック輸送に新たな取り組みを紹介する。</p>				
6	5月23日	New Reality に対応した日本での物流網の構築	所属・役職	ネスレ日本株式会社 サプライ・チェーン・マネジメント本部 デマンド アンド サプライプランニング部 部長
			氏名	尾川 太志
<p>グローバル企業として、「共通価値の創造」を実現するため、物流の面において、「モーダルシフト」活動の展開、IoTを活用した集荷車両の効率化など、グループをあげての物流効率化、環境への貢献などの取り組みを紹介する。</p>				
7	5月30日	物流のプラットフォームと中小事業者の活性化	所属・役職	Cbcloud株式会社 代表取締役社長
			氏名	松本 隆一
<p>ECの急成長のなか、消費者がいる末端まで配達することが急速に増え、大手物流事業者だけでは対応しきれない。自らプラットフォーム会社を立ち上げ、自社のアプリを用いて、個人事業主を含む中小運送事業者をいかに効率的に組織し、サービスレベルを向上させることで新たな市場の担い手になる仕組みを説明する。</p>				
8	6月6日	ファッションと物流 (確かな品質を消費者に届く工夫)	所属・役職	株式会社ビームスホールディングス ロジスティクス本部 副部長
			氏名	竹川 誠
<p>ファッション関連のアパレルを取り扱う方法は他の消費財の流れに比べ、かなりユニークである。アパレルの保管や仕分けにRFIDが使われており、多頻度小口での対応や輸送先の建物に合わせた車両の導入など、アパレル業界にかかわる物流の仕組みをわかりやすく説明する。</p>				

回	日 程	テーマ	担当者	
9	6月13日	美術品の物流 (Art of Logistics)	所属・役職	日本通運株式会社 美術品事業部 課長
			氏 名	大木 康代
美術品の輸送は高度な専門知識及び長年の経験を要する。この業界で豊富な経験を持つスピーカーから、職人の世界の物流技術を紹介すると同時に、物流が必要とする卓越した技術を説明する。				
10	6月20日	アートオブ物流、ハーゲンダッツの物流	所属・役職	ハーゲンダッツジャパン株式会社ロジスティクス部
			氏 名	能登 聖一
高い品質のアイスクリームの製造から輸送プロセクまで管理しながら、全国に絶えずに品物を供給する物流システムを作り上げ、かつ常に輸送温度を厳しくチェックし、食品メーカーならではの厳しいサプライ・チェーンの在り方について説明する。				
11	6月27日	パレット単位で動く国際物流	所属・役職	コストコジャパン株式会社
			氏 名	相川 庸介
商品数を減らし、ケース単位で販売するなどの手法で成功したアメリカの流通事業者が文化背景の異なる日本でどのような展開し、その背後に支える物流をどのように展開しているを説明する。				
12	7月4日	物流の不動産業って (物流産業のユニークビジネス)	所属・役職	株式会社シーアールイー IR・サステナビリティ推進課長
			氏 名	石井百合子
物流にかかわる不動産業は物流産業の急速な発展や物流事業者側の意識変化などで今日では大きな産業になっている。普段の不動産と全く違うイメージでのビジネス展開や今後の需要拡大で業界の大いなる可能性について説明する。				
13	7月11日	災害からの物流ネットワークのレジリエンス	所属・役職	防衛大学校 防衛学教育学群 戦略教育室 准教授 2等海佐
			氏 名	中澤 信一
天災や人災が絶えない日本にとって、物流はライフラインであり、どのような状況でもきちんとその供給を止めない。そのような役割をきちんと果たしていくため、とりわけ有事の対応が極めて重要、国家や自治体が非常時に物流の流れの確保に対する考え方や事例を紹介する。				
14	7月18日	進化するAIと物流 (世界的ガリバー企業の取り組み)	所属・役職	株式会社 ダイフク/明治大学
			氏 名	下田 忠久/町田一兵
消費者の購買方法が多様化するなか、流通チャンネルが複雑化となり、アマゾンを始めとするネットプラットフォーム企業が店舗とネットでの販売など、顧客と複数の接点を持つためのモノの流れ、BtoCの最新状況を踏まえて、流通チャンネルにおける物流の在り方を説明する。				
3 履修上の注意				
事前に登壇される講演者が所属する企業のビジネス内容を確認した上、授業に参加することが望ましい。				
4 準備学習 (予習・復習等) の内容				
毎回授業前にOh-o! Meijiシステムにて資料をアップし、講義資料を予習する。 テーマに合わせ、事前に関連新聞記事や関連する業界の概要などを調べる。				
5 教科書				
同友館「アート・オブ・物流」				
6 参考書				
特に指定しない。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
毎回レポートの提出 (80%)、期末レポート (20%) を総合して評価する。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
毎回レポートの提出 (80%)、期末レポート (20%) を総合して評価する。				
9 その他				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
明治大学の歴史 I			三田剛史	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
和泉	2	春学期	金	4
1 授業の概要・到達目標				
<p>明治大学は1881(明治14)年に、明治法律学校として創立され、140年をこえる歴史をもっている。明治大学は、どういう人たちによってどのような理念のもとで創立され、どのように継承されてきたのか、また、どのように現在の「個を強くする大学」の理念にいたっているのか。そして、その間にどのような人材を生み出してきたのか。本講座では、明治大学の歴史を近代日本の歩みのなかで検証すると同時に、明治大学が培ってきた特色を考えていく。将来、社会人となる学生が、本講義をうけることによって、自分にふさわしい社会的な活躍の場がどこにあるか考えるきっかけになってほしい。本講座では、講義ごとに異なる視点から、明治大学の歴史を考える。明治大学をより深く理解することにより、その知的・人的等さまざまな「資源」を活用し、学生生活や卒業後の社会生活をより豊かにすることを目標とする。</p>				
2 授業内容(日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月11日	【対面授業】イントロダクション	所属・役職	商学部教授
			氏名	三田剛史
講座の概要、成績評価方法等について説明する。				
2	4月18日	【メディア授業】専門部女子部と三淵嘉子	所属・役職	法学部教授
			氏名	村上一博
2024年前期連続テレビ小説「虎に翼」の主人公のモデルとなった三淵嘉子をはじめ、明治大学女子部・法学部出身の女性法曹や、明治大学が女性法曹養成機関のパイオニアとなった点について講義する。				
3	4月25日	【メディア授業】映画界と校友たち	所属・役職	農学部教授
			氏名	松下浩幸
映画界で活躍した(または現在活躍する)明治大学の卒業生を監督・俳優を中心に紹介し、その業績を考察する。				
4	5月9日	【メディア授業】阿久悠と阿久悠記念館	所属・役職	政治経済学部教授
			氏名	富澤成實
明治大学卒業生で作詞家・作家として顕著な業績を遺した阿久悠氏について講義する。				
5	5月16日	【メディア授業】明治大学の歴史・学部の歴史(明治・大正・昭和戦前)	所属・役職	法学部教授
			氏名	村上一博
明治・大正・昭和戦前期までの明治大学と学部の歴史について講義する。あわせて明治大学の建学理念について講義する。				
6	5月23日	【メディア授業】明治大学の歴史・学部の歴史(昭和戦後・平成・令和)	所属・役職	博物館事務室職員
			氏名	古俣達郎
昭和戦後から今日に至るまでの明治大学と学部の歴史について講義する。				
7	5月30日	【メディア授業】明治大学の創立者	所属・役職	文学部教授
			氏名	野尻泰弘
明治大学の3人の創立者たちの生涯や業績について講義する。				
8	6月6日	【メディア授業】明治大学校歌	所属・役職	博物館事務室職員
			氏名	阿部裕樹
1920年に制定された校歌の歴史について講義する。				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月13日	【メディア授業】キャンパスライフ	所属・役職	博物館事務室職員
			氏名	古俣達郎
学生たちの姿や視点から、明治大学の歴史について講義する。				
10	6月20日	【メディア授業】留学生とグローバル化（1）	所属・役職	文学部教授
			氏名	高田幸男
1回目は台湾からの留学生を中心に講義する。あわせて、今日の国際化の問題について講義する。				
11	6月27日	【メディア授業】留学生とグローバル化（2）	所属・役職	文学部教授
			氏名	高田幸男
2回目は韓国からの留学生を中心に講義する。				
12	7月4日	【メディア授業】留学生とグローバル化（3）	所属・役職	商学部教授
			氏名	三田剛史
3回目は中国からの留学生を中心に講義する。				
13	7月11日	【メディア授業】明治大学平和教育登戸研究所資料館	所属・役職	文学部教授
			氏名	山田朗
生田キャンパスはかつて陸軍登戸研究所の敷地であった。研究所と資料館に関する基礎的な事項を講義する。				
14	7月18日	【対面授業】総括	所属・役職	商学部教授
			氏名	三田剛史
本講座の意義を総括する。				
3 履修上の注意				
本講義は、1・14回目を除いて、メディア授業として実施する。各講義は指定する時間内に視聴するとともに、指定する時間内で小レポートを提出すること。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
教科書を読んでおくこと				
5 教科書				
明治大学史資料センター編『明治大学の歴史』DTP出版、2017年				
6 参考書				
図書館で閲覧できる参考書として、明治大学史資料センター編『白雲なびく遥かなる明大山脈 アジア編Ⅱ』（DTP出版、2024年）、同編『同 法曹編Ⅱ』（DTP出版、2023年）、同編『同 アジア編Ⅰ』（DTP出版、2023年）、同編『同 法曹編Ⅰ』（DTP出版、2022年）、同編『私学の誕生—明治大学の三人の創立者』（創英社／三省堂書店、2015年）、『明治大学百年史』全4巻（明治大学、1986～1994年）がある。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
Oh-o!Meijiを利用して回答・発信する。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
毎回のレポートで評価する。				
9 その他				
この講座は、明治大学について学ぶ絶好の機会であるから、多くの学生が受講し、自分自身が明治大学で学ぶ意義について考えてくれることを願っている。あわせて駿河台キャンパスでの開講となるが「明治大学の歴史Ⅱ」を受講することが望ましい。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
環境と政治・経済・社会 I			政治経済学部・大森正之	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	春学期	木	5
1 授業の概要・到達目標				
<p>地域規模から地球規模にいたる公害・環境問題について、明大の大学教員および他大学の教員による国際的な視野に立った講義以外に、環境問題に取り組んでいる新興企業のビジネス・パーソンから、直接「今そこにある環境問題」とその解決への実践を学ぶ機会を提供する。主に3-4年生からなる環境問題に関心のある受講生にとっては、環境問題と政治・経済・社会の接点の情報に多面的にアクセスするチャンスを広げ、進路選択に大きく役立つとともに、環境配慮的な市民かつ職業人への自己形成の知的な基礎を提供することができる。環境政策のプロシューマー（生産・消費者）になる基礎作りを受講生の到達目標とする。</p>				
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月10日	イントロダクション (講座の概要、成績評価方法等の説明)	所属・役職 氏名	政治経済学部 教授 大森正之
本講座の構成コンセプト、各講座の概要と講師について説明すると共に、受講上の注意事項、成績評価の方法について概説する。				
2	4月17日	人類への問い「水俣病」：その過去・現在・未来	所属・役職 氏名	水俣フォーラム・理事長 実川悠太
<p>「公害の原点」といわれる水俣病事件は、地球規模の環境問題にとってもまた「原点」というべき存在である。その一方で、発生確認より半世紀以上が経過した今日に至ってもこの事件は政治的社会的事件としての終息を見ず、メディアへの露出が続いている。それでも、環境を媒介として数万人を超す沿岸住民の生命と健康をうばったこの事件の基本的事実さえ説明には至っておらず、一般の水俣病認識は実体とかけ離れたものとなっているのである。講義では、まずこの事件の発生地域、原因企業、原因物質、被害者などの基本的事実について、研究成果を概説した上で、50年・100年におよぶ事件史を概観。これをもとに日本と世界におけるこの問題の今日の姿を浮かび上がらせる。さらに、21世紀を生きる私たち人類にとっての、「問い」としてこの事件の内実を描くことを試みる。</p>				
3	4月24日	放射能汚染の実態把握とその対策：環境番組作りの現場から	所属・役職 氏名	NHK仙台拠点放送局シニア・ディレクター 藤川正浩
<p>世界最悪レベルの放射能汚染を引き起こした東京電力福島第一原子力発電所の事故。いつ、どれだけの量の放射性物質が放出され、飲料水や食料はどれくらい汚染されたのか。そして住民はどれくらい被ばくしてしまっただけでなく、多国籍企業による石油開発や森林伐採を引き起こす環境破壊と向き合う途上国の人々、兵器の実験場や軍事施設の付近や、戦場に生きることを強いられた様々な国の市民たちにも目を向けてきた。民族や国を超えて広がる連帯を紹介し、環境問題を考えるための一つの視座を提供したい。</p>				
4	5月8日	アメリカの環境正義	所属・役職 氏名	政治経済学部 教授 石山徳子
<p>本講義は、アメリカ合衆国で発展を続ける環境正義運動について、その思想と歴史を紹介する。環境正義とは、人種、階級、国籍、ジェンダーなどを理由に弱い立場にある人々が、生活、労働、学習の場で、より大きなリスクを負担してきた不平等や差別を是正し、みんなが安全に暮らせる環境と、それを可能にする社会を追求する概念である。この運動の担い手は、国内の問題だけでなく、多国籍企業による石油開発や森林伐採を引き起こす環境破壊と向き合う途上国の人々、兵器の実験場や軍事施設の付近や、戦場に生きることを強いられた様々な国の市民たちにも目を向けてきた。民族や国を超えて広がる連帯を紹介し、環境問題を考えるための一つの視座を提供したい。</p>				
5	5月15日	欧州の農業環境問題—歴史と現状—	所属・役職 氏名	農学部 教授 市田知子
<p>欧州、特にドイツを中心とした農業環境問題について概説する。畜産廃棄物問題、グリフォサートなどの農薬の規制、動物福祉、有機農業の普及や環境保全型農業への補助金制度などに言及する。</p>				
6	5月22日	ワンヘルスの概念から感染症と環境を考える	所属・役職 氏名	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授 芳賀 猛
<p>ワンヘルス (One Health) とは、3つの健康、すなわち人・動物・環境の健康な状態は相互に密接な関係があり、真の健康とは、それらを総合的に良い状態にすること、という概念である。新型コロナウイルス感染症は人に甚大な被害をもたらしているが、その病原体は動物由来と言われる。今世紀、人口・食料・感染症は、人類共通の課題として、地球規模で学際的なアプローチが求められている。ワンヘルスの概念を念頭に、人間活動が環境や生態系に与える影響や人と動物との関係を、感染症の視点から振り返り、将来を展望したい。</p>				
7	5月29日	顔の見える電力と気候変動・サステナビリティ	所属・役職 氏名	株式会社再生可能エネルギー推進機構 代表取締役社長 三宅成也
<p>概要：電力業界は2016年の電力完全自由化と共に、企業や消費者が電気を選ぶ時代になりつつある。みんな電力は、生産者の「顔の見える電力」という新しい電力サービスを展開している。また、気候変動対策の重要性が高まる中で、企業が事業活動で消費する電力を全て再生可能エネルギーにシフトする「RE100」というイニシアティブが拡大している。講義では、企業や消費者が電気を選ぶことによりどのように社会に影響をもたらすのか実際の電力ビジネスの観点から考察する。</p>				
8	6月5日	モンゴルにおける環境問題と対策	所属・役職 氏名	商学部 教授 森永由紀
<p>モンゴル高原では寒冷で乾燥した気候で遊牧が3千年にわたって営まれてきた。1990年初頭の資本主義体制への移行により、大きな変化が起こり、環境問題もその影響を強く受けている。近年の主要な環境問題、①都市への人口集中による大気汚染・廃棄物問題②環境対策が不十分な中で経済成長による産業公害、③基幹産業である遊牧にとって重要な資源である草原の荒廃・頻発する干ばつ・ゾド（家畜が大量死する寒害）が混在している。講義では、自然環境の概略を述べ、現場をスライドと観測データを示して解説し対策について考察する。</p>				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月12日	静脈産業の歴史と資源循環の未来	所属・役職	株式会社JEMS（旧エジソン） 経営戦略室 室長
			氏名	栗井洋和
<p>「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の経済社会から、環境への負荷の少ない「循環型社会」へ。近年、日本のみならず世界全体で環境規制強化の動きがあり、環境市場は今後も大きく成長を続けていくと予測されます。その環境市場約100兆円の内、約4割を占めるのが「廃棄物処理・資源有効利用」領域であり、今この領域で大転換が進みつつあります。</p> <p>講義では、静脈産業の発展の歴史と、そこに存在する法規制についてわかりやすく説明します。また、廃プラスチック規制等、現在世界レベルで進む「廃棄物処理」から「資源循環」への転換の流れを、SDGs/ESGなどの社会背景を踏まえ解説します。併せて、「環境×IT」をキーワードに環境問題に挑むエジソンの最新の取組事例を紹介します。</p>				
10	6月19日	アメリカの自然思想：ソローとミュア	所属・役職	政治経済学部 教授
			氏名	柴崎文一
<p>ヨーロッパに原生林が失われていった一方で、アメリカには広大な自然環境が残されていた。新大陸の大自然と対峙した文学者や思想家は、その「自然」をどう捉えようとしたのだろうか。本時の講義では、フロントカントリー（里山的自然）とバックカントリー（野生の世界）という一対の自然観をもとに、『森の生活』を著したソローと「国立公園」の制定に尽力したミュアの足跡を辿って行く。アメリカの自然思想を語る時、エマソンの果たした役割が大きく取り上げられることが多いが、その認識が誤りであることを明示する。</p>				
11	6月26日	中国における環境問題と対策	所属・役職	国立環境研究所 上級主幹研究員
			氏名	一ノ瀬俊明
<p>急速な経済成長に伴い、エネルギー問題、大気汚染及び水質汚染を始め、中国における様々な環境問題が深刻化しており、環境対策に関する中国の取組姿勢が注目されている。これまで産業先進国が経験してきた“資源開発－経済発展－環境破壊”というパターンと異なり、中国では経済成長と環境破壊が同時に進んでいる。さらに、産業構造や経済状況などは、地域間に大きな格差があるため、環境問題の解決がより一層複雑化している。</p> <p>講義では、経済開発を起因とする汚染問題、土地利用問題、エネルギー問題の現状を実際のデータに基づき説明すると同時に、中国にとって今後の環境対策のあり方について解説する。特に、膨大な人口を抱えている中国では、如何にして経済成長と環境保全を両立させるか、その可能なアプローチは何か、具体的に考察する。</p>				
12	7月3日	韓国・台湾における環境問題と環境運動	所属・役職	明治大学名誉教授（文学部元教授）
			氏名	寺田良一
<p>日本、韓国、台湾は、欧米の先進工業国をモデルとして急速な工業化をめざした。国家による強権的な工業化の推進、その副産物としての環境問題（深刻な産業公害）とその被害者運動、社会の民主化と並行した環境運動の成長など、多くの共通点を持っている。韓国・台湾は、1980年代末以降の民主化の進展の中でこれらの環境問題が一斉に問題化した。それらを背景として、環境運動の成長が、民主化や市民社会の成熟を促した側面も特徴的である。講義の中では、被害構造、環境正義（公正）、問題構築といった環境社会学の観点を交えて説明していきたい。</p>				
13	7月10日	気候変動の激化と流域治水	所属・役職	愛国学院大学 人間文化学部 教授
			氏名	梶原健嗣
<p>日本、韓国、台湾は、欧米の先進工業国をモデルとして急速な工業化をめざした。国家による強権的な工業化の推進、その副産物としての環境問題（深刻な産業公害）とその被害者運動、社会の民主化と並行した環境運動の成長など、多くの共通点を持っている。韓国・台湾は、1980年代末以降の民主化の進展の中でこれらの環境問題が一斉に問題化した。それらを背景として、環境運動の成長が、民主化や市民社会の成熟を促した側面も特徴的である。講義の中では、被害構造、環境正義（公正）、問題構築といった環境社会学の観点を交えて説明していきたい。</p>				
14	7月17日	総括と試験	所属・役職	政治経済学部 教授
			氏名	大森正之
<p>全13回の講義を振り返り全体を総括する。そののち筆記試験を実施する。</p>				
3 履修上の注意				
<p>最低限、7割5分の出席と参加を必要とする。そのため、各回、TAが出席表とリアクションペーパーを配布回収する。</p>				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
<p>各講師・企業・団体の環境問題への取り組みについてあらかじめウェブサイトなどで情報を収集しておく。各講義時に講師が案内した資料や論文などについて、参照し復習する。</p>				
5 教科書				
なし				
6 参考書				
適宜、授業中に案内する。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
<p>各回のリアクションペーパーについて、次回以降の講義の前後にフィードバックを行う。</p>				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
<p>期末試験の成績で主に評価する。各講義の後半での質疑内容、終了時に提出してもらったリアクションペーパーを試験の成績に加味する。7割5部以下の出席率の受講者は、大幅な減点、単位未認定の対象となる。</p>				
9 その他				
<p>参考文献：宮永健太郎（2023）『持続可能な発展の話：「みんなのもの」の経済学』岩波新書 白井さゆり（2024）『環境とビジネス：世界で進む「環境経営」を知ろう』岩波新書</p>				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名		コーディネーター		
		学部・氏名		
環境と政治・経済・社会Ⅱ		政治経済学部・大森正之		
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	秋学期	木	5
1 授業の概要・到達目標				
<p>公害環境問題は、教科書や様々な文献で学習できるが、教員による講義以外に、環境問題に取り組んでいる多様な実務家、例えば弁護士、行政マン、そして特に、企業の「社会環境(CSR;ESG)部」などに所属するビジネス・パーソンから、直接「今ここにある環境問題」とその解決への実践を学ぶ機会は少ない。そこで、この講座は、環境問題の実務家による12講座を準備する。ビジネス・パーソンが所属する分野は、金融、製造、輸送、小売り、電気ガス、人材派遣など横断的に構成する。主に3-4年生からなる環境問題に関心のある受講生にとって、特に本講座群は、進路選択に大きく役立つものと思われる。そして環境ビジネスの分野における専門家を志向する受講生の育成を到達目標としたい。</p>				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月25日	イントロダクション (講座の概要、成績評価方法等の説明)	所属・役職 氏名	政治経済学部教授 大森正之
本講座の構成コンセプト、各講座の概要と講師について説明すると共に、受講上の注意事項、成績評価の方法について概説する。				
2	10月2日	環境問題と法曹：過去・現在・未来 (福島原発事故の今)	所属・役職 氏名	弁護士 保田行雄
我が国の環境問題は「公害」問題として現れた。戦後の高度経済成長政策にともなう環境汚染は、水俣病・イタイタイ病、四日市ぜんそく等の大規模公害事件を各地で引き起こした。そして2011年3月11日、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所のメルトダウン事故により放射能による究極の環境汚染事故が発生した。放射能汚染による住民の大量避難、社会的・経済的困難、避難を苦にした自死など深刻な問題が発生している。今後、被曝に伴う健康被害も考えられる状況で、かつての四大公害裁判等の教訓をもとに原発事故の解決における法曹の役割を考える。				
3	10月9日	日本の基幹産業における持続可能な社会への貢献	所属・役職 氏名	日本製鉄株式会社 環境政策企画部 小杉健
鉄は私たちの暮らしや、社会を支えています。日本製鉄は、鉄づくりを通して、広く社会の基盤を支えるという重要な役割を担っています。また、素材としての鉄の優位性を活かし、今後も世界で伸びゆく鉄の需要に応えながら、良好な地域生活環境の維持向上、廃棄物削減・リサイクルの促進、地球温暖化問題、さらには生物多様性の維持など、地域から地球規模に至るさまざまな環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献しています。本講座では、鉄の魅力、鉄鋼業の役割、そしてこの日本製鉄の環境経営について紹介します。				
4	10月16日	地球温暖化対策の進展：国際、国内の取組	所属・役職 氏名	元・環境省大臣審議官 小川晃範
地球温暖化問題は最大の環境問題とされているが、対策の合意、実施に多大な困難がある。これは、温暖化は化石燃料の利用が主要な原因であり、その対策にはエネルギー構造の見直しなどの大規模な取組が必要であるため、経済への影響、国際的な公平性などが問題となるためである。本講義では、気候変動枠組条約からパリ協定に至る国際的約束の進展、我が国における対策の進展について、主として環境省の観点から概観する。				
5	10月23日	地球をよくする金融、そのビジネスと貢献	所属・役職 氏名	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 フェロー (サステナビリティ) 吉高まり
1. 環境金融ビジネスとは？ 2. 環境金融からESG投資へ 3. ESG投資と気候変動 環境金融の背景とビジネス、及び昨今のESG投資の動向とそれに関わる気候変動について解説する。				
6	11月6日	日本の環境ビジネス市場と雇用の動向	所属・役職 氏名	EcoJob 代表取締役 根岸弥之
環境ビジネスの定義や分類は国によって少し異なるが、日本の環境省定義での環境ビジネス市場と雇用規模の最新推計 (2016年度) では、各104兆円、260万人超と過去最大で、今後も拡大傾向と言う。ただこの推計は広義の環境ビジネスの定義が基で、建築リフォームや電子機器リースまで算入、狭義な環境ビジネスの定義での市場雇用推計や環境事業者の実情とは異なる所もある。この講義では、環境ビジネスの定義と分類の基本から、日本の環境ビジネス各分野の市場及び雇用の動向、また政策に翻弄される再生可能エネルギー業界の現状等をお伝えする。				
7	11月13日	リコーグループの脱炭素社会に向けての企業の行動	所属・役職 氏名	合同会社SECA 代表 則武祐二
2016年のパリ協定発効以後、気候変動対策は大きく変化した。目指す社会も低炭素社会から脱炭素社会へと変化した。政府だけでなく、自治体、投資家の行動も大きく変わった。リコーは2003年から環境経営を掲げて行動してきたが、企業は自らの環境負荷低減だけではなく、事業構造の変革も含めて社会課題解決に向けて行動することが必要になっている。世界から見て、日本の企業の現状も踏まえて考えていく必要があると考える。				
8	11月20日	運び方改革による環境負荷低減とCSRの取組み	所属・役職 氏名	佐川急便株式会社 CSR推進部CSR推進課 竹下博士
1997年に開催された気候変動枠組条約締約国会議 (COP3) をきっかけに環境経営をスタートさせた佐川急便が、これまで取り組んできた物流改革による環境負荷軽減やCSR活動を紹介します。学識経験者・行政・企業による連携はこれまでも行われてきました。しかし、抜本的な環境対策のためには、消費者との連携がより重要となります。物流事業者と企業・行政の連携だけでは物流分野の環境保全対策は不十分であること、消費者の関心なくしては対策が進まないことを認識させ、消費者がどのようなことができるのか、併せて考察してもらいます。				

回	日程	テーマ	担当者				
9	11月27日	エネルギー、環境問題と自動車産業の在り方：Hondaの事例	<table border="1"> <tr> <td>所属・役職</td> <td>元・本田技研工業 経営企画統括部 環境企画部長 兼 安全企画部長</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>篠原道雄</td> </tr> </table>	所属・役職	元・本田技研工業 経営企画統括部 環境企画部長 兼 安全企画部長	氏名	篠原道雄
所属・役職	元・本田技研工業 経営企画統括部 環境企画部長 兼 安全企画部長						
氏名	篠原道雄						
自動車業界の環境取り組みは、大気汚染と排ガス対策に端を発しているが、当時と今の問題は本質的に異なる。当時は大気汚染という地域性の高いものが問題になっていた。現在の環境問題は、co2排出量の爆発的増加による気候変動というグローバルな問題を解決に導くという大きな課題である。本講座では自動車産業の環境対策と未来について、本田技研工業の事例を中心に①自動車の持続可能な発展のための課題②co2排出量の大幅削減を実現するには③次世代自動車戦略の軸となる電動化改革④自足可能なモビリティを目指して、という課題に言及する。							
10	12月4日	ファミリーマートの環境マネジメントシステム	<table border="1"> <tr> <td>所属・役職</td> <td>株式会社ファミリーマートサステナビリティ推進部 環境推進グループ</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>高橋哲</td> </tr> </table>	所属・役職	株式会社ファミリーマートサステナビリティ推進部 環境推進グループ	氏名	高橋哲
所属・役職	株式会社ファミリーマートサステナビリティ推進部 環境推進グループ						
氏名	高橋哲						
ファミリーマートは国内のコンビニエンスストア業界では最も古く、1973年9月に開店した実験店からスタートしました。その後日本全国、さらには海外へと歩みを進め、常にお客さまの暮らしを支える身近な存在として、「便利さ」の提供を求めて事業革新を続けてきました。生活が便利になることは、一方で環境へ影響を与えることも事実です。「便利さ」と「環境配慮」を両立させる為にこれまで取り組んできた「環境マネジメントシステム」をご紹介します、皆さんが今後社会人として生活する上でのヒントとして、少しでもお役に立てればと思います。							
11	12月11日	建設会社の環境活動	<table border="1"> <tr> <td>所属・役職</td> <td>前田建設工業株式会社CSR・環境部</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>大竹利幸</td> </tr> </table>	所属・役職	前田建設工業株式会社CSR・環境部	氏名	大竹利幸
所属・役職	前田建設工業株式会社CSR・環境部						
氏名	大竹利幸						
前田建設は経営計画にCSV経営No.1を掲げ、社会的環境課題である「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」を構築するため、社会とともに持続可能な発展をめざしています。ZEB（ネット・ゼロエネルギービル）の建設、建設副産物のリサイクル、国産材の利用を通じて森林の保全、インフラの運営や再生可能エネルギー事業への参画事例と併せ、官民をあげて取り組んでいる建設業界の環境活動について紹介します。							
12	12月18日	日本のエネルギー（電力）と環境問題	<table border="1"> <tr> <td>所属・役職</td> <td>東京電力ホールディングス株式会社 ESG推進室 副室長（環境担当部長）</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>高橋 浩之</td> </tr> </table>	所属・役職	東京電力ホールディングス株式会社 ESG推進室 副室長（環境担当部長）	氏名	高橋 浩之
所属・役職	東京電力ホールディングス株式会社 ESG推進室 副室長（環境担当部長）						
氏名	高橋 浩之						
私たちの日本という島国における、電力というエネルギー供給のあり方について、現在から未来まで皆さんと一緒に考えていくために必要な事項を紹介します。化石燃料使用による、資源・地球温暖化問題、自然エネルギーの長所短所、マイクログリッドと系統安定化技術、原子力発電をどうしていくべきか、電力システム改革など我々の未来を考える機会にしたいと考えます。							
13	1月8日	国内外の環境エネルギー情勢と天然ガス	<table border="1"> <tr> <td>所属・役職</td> <td>日本ガス協会企画・政策ユニット 国際グループ</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>吉田聡</td> </tr> </table>	所属・役職	日本ガス協会企画・政策ユニット 国際グループ	氏名	吉田聡
所属・役職	日本ガス協会企画・政策ユニット 国際グループ						
氏名	吉田聡						
液化天然ガス（LNG）が日本に輸入されて2019年で半世紀となる。今やLNGは世界の基幹エネルギーとなった。この半世紀、国内外のエネルギー、環境事情は大きく変貌している。特に昨今の気候変動問題は人類に課せられた大きな課題である。クリーンなエネルギーとして導入が進められてきた天然ガスが次の半世紀に向けてどのような役割を果たしていくのか、また、日本の持つ環境エネルギー技術が、世界のエネルギー需要の太宗の伸びが見込まれるアジア地域においてどのように貢献できるかについてお話をさせていただきます。							
14	1月15日	総括と試験	<table border="1"> <tr> <td>所属・役職</td> <td>政治経済学部教授</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>大森正之</td> </tr> </table>	所属・役職	政治経済学部教授	氏名	大森正之
所属・役職	政治経済学部教授						
氏名	大森正之						
全13回の講義を振り返り全体を総括する。そののち筆記試験を実施する。							
3 履修上の注意							
最低限、7割5分の出席と参加を必要とする。そのため、各回、TAが出席表とリアクションペーパーを配布回収する。							
4 準備学習（予習・復習等）の内容							
各講師・企業・団体の環境問題への取り組みについてあらかじめウェブサイトなどで情報を収集しておく。各講義時に講師が案内した資料や論文などについて、参照し復習する。							
5 教科書							
なし							
6 参考書							
適宜、授業中に案内する。							
7 課題に対するフィードバックの方法							
各回のリアクションペーパーについて、次回以降の講義の前後にフィードバックを行う。							
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと							
期末試験の成績で主に評価する。各講義の後半での質疑内容、終了時に提出してもらったリアクションペーパーを試験の成績に加味する。7割5分以下の出席率の受講者は、大幅な減点、単位未認定の対象となる。							
9 その他							
参考文献：宮永健太郎（2023）『持続可能な発展の話：「みんなのもの」の経済学』岩波新書 白井さゆり（2024）『環境とビジネス：世界で進む「環境経営」を知ろう』岩波新書							

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名		コーディネーター		
		学部・氏名		
アジア国際秩序の軍事再編と武器移転の連鎖		政治経済学部・須藤功		
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	春学期	火曜日	2時限
1 授業の概要・到達目標				
<p>19世紀のイギリス産業革命に端を発した世界の工業化において技術移転が大きな役割を果たしてきたことは周知の事実であるが、ほぼ同時期に始まった世界の軍事化において武器移転が及ぼしてきた影響についてはほとんど理解されていない。第二次世界大戦以降、武器取引は急速に拡大し複雑化し、現在、世界の武器貿易は冷戦後最大規模に達している。軍縮・軍備管理の実現には、武器移転とその世界的な負の連鎖についての理解が不可欠であるにもかかわらず、この分野に関するわれわれの知識はきわめて乏しい。</p> <p>この講義では、冷戦期に米ソ二大超大国が展開した経済援助と軍事援助がアジア諸国の兵器産業や防衛政策にどのような影響を及ぼしたかに注目して、軍事援助と武器移転、開発援助と技術移転、総力戦と軍需生産動員、兵器国産化と軍民転換、移民と頭脳流出など多岐にわたって議論を展開する。また、冷戦後の世界では国家間の戦争に加えて、政府と反政府勢力の間の内戦、あるいは非国家主体同士の紛争も拡大した。本講義では、そのような非国家主体間の「紛争の連鎖」をも視野に入れて、戦後アジア国際秩序の軍事再編を「武器移転の連鎖」と言う視点から考察し、軍縮と軍備管理を取り巻く現代世界の諸課題に対する歴史的・国際的な視座を養っていく。</p>				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月15日	イントロダクション (講座の概要、成績評価方法等の説明)	所属・役職 氏名	政治経済学部教授・コーディネーター 須藤 功
本講座では、両大戦間期から現代までの軍事援助と武器移転の歴史を、軍産複合体と地域経済・国民経済との連携に着目して考察する。とりわけ、戦後アメリカによる武器輸出、冷戦期における米ソの軍事援助とアジアにおける兵器国産化、さらには核兵器の拡散、そして、一方における軍縮世論と他方における武器移転の拡大。この講座ではこうした国際社会の現実を直視し、国際社会が安定と平和の道を開拓していくための方途を受講生諸君と共に講義を通して追究していく。				
2	4月22日	総力戦体制とは何か	所属・役職 氏名	研究・知財戦略機構 研究推進員(客員研究員) 白戸伸一
総力戦とは国家の総力を戦争に投入するものであり、世界史的には第一次世界大戦がそうだったとされている。日本の場合、国家総動員法の下で構築された戦時体制で本格的に形成されたと考えられる。近年、そのような体制が形成されつつあるという指摘もあり、改めてアジア・太平洋戦争期における総力戦体制からそれがどのようなものか歴史的に検証し、さらに連合国軍による占領下でのその解体と、冷戦・朝鮮戦争勃発を契機とした再軍備＝自衛隊成立の意味を検討する。				
3	4月29日	戦後日本における軍事工業の再建と武器「国産化」	所属・役職 氏名	研究・知財戦略機構 研究推進員(客員研究員) 白戸伸一
朝鮮戦争を契機として軍事工業＝防衛産業が再建され、米国や産業界の支援により自衛力の裏づけとして増強されてゆく。今日では日本の軍事力(GFP調査)は世界第7位とされているが、この産業が日本経済に果たす役割はどのようなものか、どのような企業が主な担い手となっているのかを、日本の防衛力整備過程と照合しながら解明する。また、産業界や政府により武器の「国産化」が求められてきたが、国内生産比率の上昇のみで「国産化」と言えるのか、また「専守防衛」をどのように捉えるべきかを検討しておきたい。				
4	5月13日	経済安全保障と食料安全保障		東京大学特任教授/名誉教授、放送大学客員教授 小野塚 知二
安全保障は外交や軍事のみのことからではなく、経済、食料、文化などの諸領域にも関わる。まず、経済安全保障と食料安全保障という概念を簡単に説明したうえで、それぞれの起源を探る。次に、日本の現状を他国と比較しながら考察して、日本の安全保障の脆弱性に論及する。第三に経済安全保障が科学・技術の国際公共財としての性格を帯てきた歴史を概観して、日本にとって望ましい安全保障は何かを考える手掛かりを確保する。				
5	5月20日	日米安保体制とNATOそれぞれにおける武器移転		東京大学特任教授/名誉教授、放送大学客員教授 小野塚 知二
第二次世界大戦後の日本はアメリカ合衆国との間に日米安全保障条約に規定された非対称な軍事同盟を維持してきた。こうした非対称な二国間同盟が七十年以上続くのは世界史的にも稀で、第二次世界大戦後の東アジアの特徴である。こうした東アジアの軍事同盟の状況を、多国間軍事同盟として最も長命で強大な北大西洋条約機構(NATO)とを比較して、それらが締結国間の武器移転に、広くはそれら国々の航空宇宙産業や内政にどのような影響を与えてきたかを概観する。				
6	5月27日	1920年代におけるドイツから日本への航空技術移転	所属・役職 氏名	文学部・兼任講師 西尾 隆志
史上初の国家総力戦となった第一次世界大戦では、ヨーロッパにおいて航空機が初めて本格的に軍事利用され、欧米の主要参戦国では新兵器である航空機の大量生産を可能とする航空機産業が戦時期に確立された。一方、同大戦を「非総力戦」として経験した日本では、大戦終結時点で航空機産業基盤は未確立であったが、1920年代を通じて日本の陸海軍および民間航空機製造業は、欧米から積極的に最新航空技術の導入を図り、日本航空機産業・航空戦力の基礎確立に邁進した。本講義では、20年代におけるドイツから日本への航空技術移転を当時の国際関係を踏まえて論じ、技術移転と航空機国産化との関係から戦間期「軍縮下の軍拡」の具体的な諸相を明らかにしていく。				
7	6月3日	1930年代および第二次世界大戦期におけるドイツから日本への航空技術移転	所属・役職 氏名	文学部・兼任講師 西尾 隆志
ドイツから日本への航空技術移転は、「軍縮下の軍拡」を特質とする1920年代のみならず、日独がヴェルサイユ＝ワシントン体制から離脱し公然たる航空軍備増強に邁進した30年代半ば以降の軍拡期、両国がイタリアも含めた日独伊三国同盟という公式の軍事同盟関係を形成するも、物理的な両国間の連絡手段が希薄化した40年代前半の第二次世界大戦期という各時代状況に即して、その規模・内実を大きく変容させながらも継続した。本講義では、日本航空機産業が「自立時代」を迎え多くの優秀国産機が登場した30年代、および日本側がドイツへの技術的依存を強めた第二次世界大戦期に、ドイツから日本にどのような航空技術がもたらされたのかを明らかにしていく。				
8	6月10日	超大国化するアメリカを支えた移民政策	所属・役職 氏名	政治経済学部・准教授 下斗米秀之
アメリカがイギリスに代わり政治・経済・軍事のあらゆる面で超大国化へと変貌していく大戦間期にあつて、特にアメリカ経済を押し上げていく決定的な理由のひとつに、アメリカ固有の移民政策の展開があつた。20世紀初頭まで、アメリカは事実上無制限に移民労働者を受け入れ、この潤沢な労働力が大量生産体制を支えた。しかし第一次大戦を経てアメリカを取り巻く社会経済状況は一変し、1924年移民法の成立をもって移民制限時代への移行は決定的となる。戦後に入ると、超大国としての地位を確立するにあたって、再び移民受入を拡大する政策に転換し、アジアやヒスパック系の移民が増加することになる。1980年代以降、非合法移民の問題や福祉負担への増大から、移民排斥運動が高まると、9.11テロを契機として、移民を厳しく取り締まる動きは決定的となる。「トランプの壁」は、移民排斥の象徴として、現代アメリカの最大の争点の一つとなっている。このように移民政策はアメリカの社会経済状況を映し出す鏡のような役割を果たしている。本講義では経済史及び労働経済における移民研究の成果を踏まえて移民政策の歴史を振り返り、アメリカ経済にとって移民とは何かを考察する。				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月17日	アメリカの高度人材育成と技術移転のグローバル・ネットワーク	所属・役職	政治経済学部・准教授
			氏名	下斗米秀之
今日のアメリカにおけるインド系の高度技能移民は、その高い経済力や社会的地位を背景に存在感を高めている。なぜアメリカにとってインドが高度人材の重要な供給源となったのか。本講義では、冷戦期のインドからアメリカへの高度専門技術者らの国際移動に注目し、インドから「頭脳流出」が起きた歴史的背景を明らかにする。冷戦期、欧米からの積極的な技術援助政策によって多数のインド人技術者が輩出された。しかし当時インドには、高度人材の受け皿となる産業的基盤が十分に整っておらず、インド人技術者など高度人材の一部は、アメリカ移民政策の転換の影響を受けて、即戦力としてアメリカに吸収される、「頭脳流出」を引き起こした。本講義では、高度人材の育成と技術移転という視点から、高度技能労働者の国際移動の構造を明らかにして、超大国アメリカのパワーの源泉に迫ることとしたい。				
10	6月24日	現代の戦争、その形態と傾向	所属・役職	政治経済学部・教授
			氏名	佐原 徹哉
統計的手法を用いて現代の戦争のトレンドを概説する。第二次世界大戦以降、国家間の戦争は殆ど起こらなくなり、代わって、内戦が激増したが、内戦の形態も国家権力の争奪が焦点だった冷戦期から、現代では領域支配を巡る争いが顕著となり、非国家主体の役割も重要性を増している。これが非戦闘員の被害の拡大と難民の増加をもたらしている。				
11	7月1日	米軍はなぜアフガニスタンから撤退したのか	所属・役職	政治経済学部・教授
			氏名	佐原 徹哉
アメリカは20年間、アフガニスタンに駐留したがなんの成果も上げずに撤退した。本講義では、米国のアフガン占領政策はなぜ失敗したのかを、イラク占領政策と比較しながら、考察する。特に、特殊部隊による「ゲリラ掃討戦」が住民の無差別殺戮を引き起こし、抵抗運動を激化させた問題に焦点を当てる。				
12	7月8日	第二次世界大戦とアフリカの関係	所属・役職	国際日本学部・教授
			氏名	溝辺 泰雄
第二次世界大戦は文字通り世界中の人々を巻き込む大戦争であり、アフリカの人々もその例外ではなかった。アフリカの人々は、「イギリス軍」や「フランス軍」の一員として前線に動員されただけでなく、軍需物資の生産など銃後で働くことも求められた。そして、自ら望むことなく「連合国」の一員とされたアフリカ兵士はインド=ビルマ(ミャンマー)戦線にも派遣され、「枢軸国」の日本軍との戦いに参加することになった。この回では、こうした第二次世界大戦期における日本とアフリカの「意図せざる戦い」の一端について学びを深めたい。				
13	7月15日	20世紀後半のアフリカにおける反核運動	所属・役職	国際日本学部・教授
			氏名	溝辺 泰雄
アフリカが脱植民地化期を迎えた20世紀半ばは、東西冷戦が深刻化した時期でもあった。米ソを中心とする核軍拡競争の過熱化に伴い、核兵器の脅威は脱植民地化期のアフリカにも及んだ。国際社会の反対にもかかわらず強行された1960年のフランスによるサハラ砂漠での原爆実験は、核兵器廃絶に対するアフリカ諸国の決意をより強固なものにした。この回ではサハラ以南アフリカで最初の独立を果たした西アフリカ・ガーナの政治指導者クワメ・ンクルマの活動に着目し、彼が中心メンバーの一人として関わったパンアフリカニズムと非同盟運動を通して、20世紀のアフリカがどのように植民地主義の撲滅と核なき世界の実現に向けて取り組んできたのかを学ぶ。				
14	7月22日	本講座の纏め-Q&Aと併せてー	所属・役職	政治経済学部教授・コーディネーター
			氏名	須藤 功
全体を通しての質疑応答の時間とする。この場での質問や意見表明の準備を毎回の授業のなかで可能な限り進めておくこと。各講師への質問があれば、後日回答をお願いする予定。				
3 履修上の注意				
受講生の関心を喚起する講義内容とするが、内容自体は決して易しいものではない。国際社会の極めて流動的かつ複雑な様相を独自のアプローチから肉迫する講義内容は受講生諸君には衝撃的かも知れない。同時に知的刺激に溢れた講座となろう。それだけに能動的主体的な姿勢で講義に臨んで欲しい。				
4 準備学習(予習・復習等)の内容				
可能な限り事前にプリント(電子ファイルを含む)を配布するので目を通してから受講することを期待したい。講師毎にミニレポートの提出を求める。				
5 教科書				
特に指定しない。				
6 参考書				
各回の講義担当者が紹介する。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
授業時間中、または後日クラスウェーブを利用して行う。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
授業への貢献度30%、提出物70%を踏まえ、総合的に評価する。				
9 その他				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
コントラクトブリッジで身につける論理的思考力			政治経済学部専任教授・勝 悦子	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
中野	2	春学期	火	3
1 授業の概要・到達目標				
1 コントラクトブリッジの基本を学び、最終回では競技としてのブリッジを経験する。 2 不完全情報を確率的に整理して最適解を論理的に導き出す(論理的) 思考力を鍛える。 3 国際的な教養を身につけ、社会活動の幅を広げる 4 パートナーシップ、チームワーク、コミュニケーションスキルを鍛える *目標ではないが、強い関心を持った学生には国際大会でのユース日本代表への道筋もあり、過去の履修生から履修翌年に日本代表に選出された学生が出ている。				
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月15日	イントロダクション (開講の挨拶、講座の概要、成績評価方法等の説明、講師紹介、ブリッジの紹介)	所属・役職 氏名	政治経済学部教授 勝悦子
(講義と実習) 1 4回に亘り取り組むことになるマインドスポーツとしてのコントラクトブリッジの歴史や世界観とトリックテイキングゲームの基本的なルールを説明する。実習によってカードの強さ、トリックをとることを体験する。				
2	4月22日	ミニブリッジで学ぶ論理的思考 1 (トリックの取り方)	所属・役職 氏名	(株)バリューHR 社外取締役 (公社)日本コントラクトブリッジ連盟理事 柳澤彰子
(講義と実習) ダミーの説明。勝てるトリックの数え方、またダミーと合わせてトリックをとるための初歩的なテクニック(アンブロック、エスタブリッシュなど)の説明をし、組み込みハンドによる実習をする。				
3	4月29日	ミニブリッジで学ぶ論理的思考 2 (切り札なしのプレイ)	所属・役職 氏名	早稲田大学非常勤講師 早稲田大学ゲームの科学研究所招聘研究員 並木亮
(講義と実習) ハンド価値の近似法とキーンナンバーについて説明し、HCPによる評価を理解させる。トリックを増やすテクニック(フィネス)を理解し、練習する。				
4	5月13日	ミニブリッジで学ぶ論理的思考 3 (切り札ありのプレイ)	所属・役職 氏名	早稲田大学非常勤講師 早稲田大学ゲームの科学研究所招聘研究員 並木亮
(講義と実習) ラフやドロートランプについて説明し、ルーザーの消し方を理解させる。実習を通じて、ダミーとのコミュニケーションを実感させる。				
5	5月20日	ミニブリッジで学ぶ論理的思考 4 (プレイのプラン)	所属・役職 氏名	早稲田大学非常勤講師 早稲田大学ゲームの科学研究所招聘研究員 並木亮
(講義と実習) プレイにあたって最初に計画を立てることの重要性、第2回～4回で説明したプレイテクニックをどのように使うかを説明する。自分とダミーのハンドを見て計画を立てる練習をする。				
6	5月27日	ミニブリッジで学ぶ論理的思考 5 (ハンドの価値の評価)	所属・役職 氏名	早稲田大学非常勤講師 早稲田大学ゲームの科学研究所招聘研究員 並木亮
(講義と実習) 目標とするトリック数を計算する上で必要となるHCP(ポイント)だけでは測れないハンドの価値の評価を理解し、より正確な目標設定と達成を目指す。				
7	6月3日	ブリッジで学ぶ論理的思考 1 (ビiddingシステムの考え方)	所属・役職 氏名	渋谷ブリッジセンター講師 原田裕巳
(講義と実習) オークションのルールとスコア体系について説明し、ゲームの目的を理解させる。				
8	6月10日	ブリッジで学ぶ論理的思考 2 (1 スターハンドのビidding)	所属・役職 氏名	渋谷ブリッジセンター講師 佐藤牧子
(講義と実習) 1スターハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月17日	ブリッジで学ぶ論理的思考3 (スートフィットの期待値、バランスハンドのビidding)	所属・役職	渋谷ブリッジセンター講師
			氏名	佐藤牧子
(講義と実習) バランスハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。				
10	6月24日	ブリッジで学ぶ論理的思考4 (2 スターハンドのビidding)	所属・役職	渋谷ブリッジセンター講師
			氏名	佐藤牧子
(講義と実習) 2スターハンドのオープンとリビッドについて説明し、意味を理解させる。				
11	7月1日	ブリッジで学ぶ論理的思考5 (競り合いのビidding、売るか買うかの判断と確率計算、論理的な推論の練習)	所属・役職	(株) バリュールHR 社外取締役 (公社) 日本コントラクトブリッジ連盟理事
			氏名	柳澤彰子
(講義と実習) オーバーコールとブリエンプトを説明し、コンペティティブなビッドを理解させる。実習を通じて、競り合いとスコアの関係を実感させる。				
12	7月8日	ブリッジで学ぶ論理的思考6 (ディフェンスの考え方、パートナーとの無言のコミュニケーション、確率計算と推論の練習)	所属・役職	(株) バリュールHR 社外取締役 (公社) 日本コントラクトブリッジ連盟理事
			氏名	柳澤彰子
(講義と実習) ディフェンスの約束事とセオリーを説明し、意味と役割を理解させる。実習を通じて、ディフェンスにおけるコミュニケーションの大切さと効果を実感させる。				
13	7月15日	ビiddingとプレイの総復習	所属・役職	四谷ブリッジセンター講師
			氏名	日野雄之
(講義と実習) プレイテクニック、ビッドをレビューする。スラムアプローチについて説明し、高得点の狙い方を理解させる。ホールドアップやアボイダンスなどについて解説し、実習を通じて、高等テクニックの威力を実感させる。				
14	7月22日	実戦と総括 (チーム対抗戦)	所属・役職	コーディネーター
			氏名	勝悦子
(実習) 競技会形式の実習を行い、成長を実感させる。ハンドレビューを通じて実戦の結果を振り返り、総合的な理解と知識の定着を図る。これからもブリッジが学べる環境を紹介する。				
3 履修上の注意				
初回から最終回まで同じ2人でペアを組み、そして2ペアによる(同じ)4人のグループで学習する。内容は積み重ねであるので、欠席をすると以降の授業についていけなくなり、他の受講者に迷惑がかかることを認識すること。やむを得ず休む場合は、事前(前の授業の時まで)に必ず相談し、また欠席した授業の分を自己責任のもとにキャッチアップすること。ブリッジはゲームではあるが、「考えること」を重視する内容であるので、「ゲーム=お遊び」の感覚をもって受講しないこと。				
4 準備学習(予習・復習等)の内容				
資料をよく読み、最低自分自身がプレイした演習のハンドを必ず復習してポイントを理解すること。(20~30分程度) 宿題として出されたプリントに取り組み、よく考える習慣を身に着けること。(30分程度)				
5 教科書				
毎回プリントを用意。(プリント、ハンドコピー、宿題などを保管する20袋のクリアフォルダーの準備を推奨)				
6 参考書				
清水映樹『ゼロからのコントラクトブリッジ』、『基礎からのコントラクトブリッジ』(星雲社)など。講師に相談のこと。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
宿題の答案を採点し、解答資料を配布する				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
レポート試験：40% (第13回目に試験問題を配布。第14回目に提出した答案で授業内容全般の理解度を評価する。 平常点評価：40% (授業への参加状況、授業に対する積極性および講義内容の理解度を実習中に評価する。3回以上欠席した場合は不合格とする。) その他：20% (宿題の取組、正答率など)				
9 その他				
初回に4人のグループ分けを行う。友人同士のペア、チーム構成を優先。この4人がチームであり、最終回までグループ学習を行う。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
ASEAN Economy and Politics - focusing on Thailand and Vietnam 〔メディア授業 (オンデマンド型)〕			学部・氏名	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
Online Video Lecture	2	Fall Semester	—	—
1 授業の概要・到達目標				
This course is designed to focus on current business, economic, political, and social issues in Thailand and Vietnam through online video lectures. The course was so popular, with about 800 students from all schools taking it in AY2024, that we will offer it again in AY2025 with the same members. The lectures will be delivered by four experts from our partner universities in Thailand and Vietnam. As the language delivered will be English, students with a sufficient level of English are encouraged to enroll in this course. There will be four sets of quizzes for you to take at the end of each lecturer's three classes. The goal of this course is to provide students with a basic understanding of the current economic and political situation and challenges facing the two countries, and to help students understand the growing economic and political importance of the region to Japan.				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月22日	Introduction (Explanation of course outline, grading policy, etc.)	所属・役職	Professor, School of Political Science and Economics
			氏名	TAKEDA Takumi
The first lecture will introduce the four lecturers of the course, provide an overview of the course, explain the expected assignments, how your questions will be answered, and how you will be graded.				
2	9月29日	Business and Economy in Thailand (1)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Economics, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏名	Dr. TANAMEE, Danai
What do you think of Thailand's economy: the origin of the 1997 Asian financial crisis, a major recipient of FDI from Japan, a flood of Japanese cars, many high-rise buildings in Bangkok, a tourism powerhouse, a middle-income trap, a widening income gap, a rapidly declining birthrate, etc.? The three classes will examine the country's current situation from different perspectives.				
3	10月6日	Business and Economy in Thailand (2)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Economics, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏名	Dr. TANAMEE, Danai
Dr. TANAMEE's second lecture will delve deeper into the broad themes outlined above.				
4	10月13日	Business and Economy in Thailand (3)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Economics, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏名	Dr. TANAMEE, Danai
Dr. TANAMEE's third lecture will elaborate and finalize his explanation of the above topics. A quiz will be given after the lecture. Answers are due in one week.				
5	10月20日	Thai Politics and Society (1)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Social Sciences, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏名	Dr. NGARMKHAM, Nathiya
The political situation in Thailand is anything but stable. Since 1932, when Thailand became a constitutional monarchy, there have been 19 coup attempts. What is at the root of all this, and where is the country headed under the strong influence of China? The three classes will first introduce the history of Thailand and then examine the country's current political situation, diplomacy and social issues from different perspectives.				
6	10月27日	Thai Politics and Society (2)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Social Sciences, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏名	Dr. NGARMKHAM, Nathiya
Dr. NGARMKHAM's second lecture will delve deeper into the broad themes outlined above.				
7	11月10日	Thai Politics and Society (3)	所属・役職	Lecturer, Faculty of Social Sciences, Srinakharinwirot University, Thailand
			氏名	Dr. NGARMKHAM, Nathiya
Dr. NGARMKHAM's third lecture will elaborate and finalize her explanation of the above topics. A quiz will be given after the lecture. Answers are due in one week.				
8	11月17日	Business and Economy in Vietnam (1)	所属・役職	Lecturer, Faculty of International Relations, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏名	Dr. TRAN, Khang Nguyen
Vietnam has continued to develop rapidly with the introduction of Doi Moi in 1986, and the introduction of foreign capital, resulting in a booming manufacturing industry. The average age of the population is 33.3 years as of 2023, and Japanese companies continue to make inroads into the country. The three classes will discuss the current state of the Vietnamese economy and its prospects.				

回	日程	テーマ	担当者	
9	11月24日	Business and Economy in Vietnam (2)	所属・役職	Lecturer, Faculty of International Relations, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏名	Dr. TRAN, Khang Nguyen
Dr. TRAN's second lecture will delve deeper into the broad themes outlined above.				
10	12月1日	Business and Economy in Vietnam (3)	所属・役職	Lecturer, Faculty of International Relations, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏名	Dr. TRAN, Khang Nguyen
Dr. TRAN's third lecture will elaborate and finalize his explanation of the above topics. A quiz will be given after the lecture. Answers are due in one week.				
11	12月8日	Vietnamese Politics and Society (1)	所属・役職	Senior Lecturer, Faculty of Urban Studies, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏名	Dr. SON, Tung Thanh
Vietnam is a socialist country with one-party rule by the Communist Party. While the economy is growing, it is necessary to focus on the disparities between urban and rural areas, poverty among ethnic minorities, problems in the informal sector, underdeveloped urban infrastructure, transportation problems and so on. The three classes will identify these issues and explore how to solve them.				
12	12月15日	Vietnamese Politics and Society (2)	所属・役職	Senior Lecturer, Faculty of Urban Studies, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏名	Dr. SON, Tung Thanh
Dr. SON's second lecture will delve deeper into the broad themes outlined above.				
13	12月22日	Vietnamese Politics and Society (3)	所属・役職	Senior Lecturer, Faculty of Urban Studies, University of Social Sciences and Humanities, Vietnam National University
			氏名	Dr. SON, Tung Thanh
Dr. SON's third lecture will elaborate and finalize his explanation of the above topics. A quiz will be given after the lecture. Answers are due in one week.				
14	1月19日	Summary	所属・役職	Professor, School of Political Science and Economics
			氏名	TAKEDA Takumi
The final lecture of this course will summarize the previous lectures by the four lecturers to ensure a solid understanding of the economy, business, politics, and society of Thailand and Vietnam.				
3 履修上の注意				
This course is delivered via online video lectures in English. Therefore, students with a sufficient level of English are encouraged to take this course. In addition, students should ensure that they are able to take the course online. On-demand videos will be made available to students by 9:00 a.m. each Monday according to the schedule above.				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
It is strongly recommended that each student conduct their own research on the topics presented in the syllabus.				
5 教科書				
Not specified.				
6 参考書				
Not specified.				
7 課題に対するフィードバックの方法				
There will be four sets of quizzes for you to take at the end of each lecturer's three classes, after the 4th, 7th, 10th, and 13th classes. Each of your score will be posted on Oh-o! Meiji system without your name. The discussion section on Oh-o! Meiji system will be open 24/7. The four experts will answer your questions and comment on Oh-o! Meiji system whenever necessary.				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
The total score of the four quizzes will be your grade (100%). Please note that the quizzes are due in one week and no answers will be accepted after the deadline.				
9 その他				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
大学博物館の現場を実見する			文学部・駒見和夫	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	秋学期	月	2
1 授業の概要・到達目標				
96年の歴史を持つ本学の博物館は、収蔵資料の充実や利用者サービスで大学博物館トップクラスの評価を得ており、その存在が明治大学の教育・研究活動を特色付けている。この講座では、学芸業務のケーススタディー、最先端の施設・設備の実見、アクティブラーニング型の課題制作（展示評価）などを通じて、博物館とその活動が大学の教育・研究活動において果たしている役割について理解を深めることを目的とする。				
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月 22日	イントロダクション（講座の概要、成績評価方法等の説明）／博物館の役割と機能	所属・役職 氏名	コーディネーター 駒見和夫
近代のヨーロッパで成立したミュージアムの概念を紹介し、国際的なミュージアムの認識とわが国の博物館法での博物館定義を示して、博物館の目的と機能について解説する。またその比較から日本の博物館の特徴を述べる。そのうえで大学博物館の位置づけを示すとともに現在の博物館の多様な様子の一端を紹介し、これからの博物館の方向性と望むべきあり方を展望する。				
2	9月 29日	わが国における大学博物館の現状と明治大学博物館の歴史／期中課題（展示評価レポート）の告知	所属・役職 氏名	博物館事務室・学芸員 外山 徹
大学博物館の収蔵資料は、教育・研究活動の過程で学術資源として収集された資料が中心となるが、学外から受贈した個人コレクション、大学史関係資料、大学の教育理念に基づく資料など、その多岐にわたる性格について大学博物館全般の動向を検討する。そして、96年を数える歴史をもち私立大学では最も古い附属館の1つである明治大学博物館の歴史を概観する。				
3	10月 6日	博物館資料の形成1（刑事関係文献・歴史資料）	所属・役職 氏名	博物館事務室・学芸員 日比佳代子
1929年に設立された刑事博物館のこれまでの歩みと、戦前・戦後の資料収集の方針や活動内容について論じる。刑事器物・古文書から構成される刑事部門の収蔵品体系を理解した上で、常設展示室で実際に資料を見ながら刑事部門の代表的な収蔵品について解説を加える。				
4	10月 13日	博物館資料の形成2（商品関係資料：新素材標本から伝統的工芸品へ）	所属・役職 氏名	博物館事務室・学芸員 外山 徹
商学部教員の研究グループによって1951年に設立された商品研究所が設置した展示施設「商品陳列館」をルーツに持つ展示室。当初は原材料標本や貿易商品、商品の製造工程を展示の眼目としたが、1950年代後半の地方物産品の収集を経て、非常に幅広い概念である“商品”の中でも、我が国の伝統的工芸品を収集・展示・研究の対象とするようになった経緯について解説する。				
5	10月 20日	博物館資料の形成3（考古資料：旧石器～縄文）	所属・役職 氏名	博物館事務室・学芸員 島田和高
考古部門は、「明大考古学」の教育・研究の成果を、展示を通して体系的に公開している。1949年の岩宿遺跡発掘にはじまる「明大考古学」は、無言の遺物や遺跡から先史時代人の営みと文化の変遷を読み解いてきた。講義では、旧石器時代から縄文時代にわたるコレクションの形成を理解した上で常設展示を解説し、展示を「読み解く」作業を行う。				
6	10月 27日	博物館資料の形成4（考古資料：弥生～古墳）	所属・役職 氏名	博物館事務室・学芸員 忽那敬三
日本列島における稲作の開始を追った調査で発掘された、壺形土器をはじめとする土器群からは、西から東へ稲作とともに土器の形が伝わっていくことがわかる。銅鐸・銅矛といった青銅器などは、技術革新をダイナミックに語る資料である。米作りの導入という生業の転換と、強い権力を持つ王の登場という弥生から古墳にかけての歴史の大きな変化を紹介する。				
7	11月 10日	博物館資料の保管と整理（考古資料・古文書資料）	所属・役職 氏名	博物館事務室・学芸員 日比佳代子・忽那敬三
考古資料は、地中に埋まっていたものを掘り出し、土を洗い落とし、破損部分をつなぎ合わせて元の形に戻すという作業を経て初めて記録及び展示を行うことができる。破片からわかる特徴や、保管や展示が可能な状態に整理する方法を学ぶ。また、刑事部門が収蔵する古文書がどのように整理され目録化されていくのか、実際の古文書をみながら古文書整理の方法論について学び、古文書を保存・利用する前提として、どのような活動が行われているのかを知る。				
8	11月 17日	博物館の施設・設備	所属・役職 氏名	博物館事務室・学芸員 島田和高
博物館の施設・設備は、収集・保存、調査・研究、教育・普及という主要な機能に対し、最適な環境を用意する必要から一般の建築物とは異なった特殊な装置が随所に施されている。講義では、普段、一般来館者の立ち入りが制限されている収蔵部門や資料研究のための施設、また、来館者が普段目にする展示室や教室などにも備えられている様々な“しかけ”について実見する。				

回	日程	テーマ	担当者	
9	11月 24日	生涯学習と友の会活動	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏名	外山 徹
生涯学習社会の到来とともに、博物館はその機会を提供する機関として位置付けられた。そうした潮流の中から生まれた博物館の友の会活動、ボランティア活動の進展について考察する。また、近年、博物館は学習活動を通じたコミュニティ形成の場としても考えられるようになっており、明治大学博物館における友の会活動を事例に生涯学習の場としての博物館利用の具体相を紹介する。				
10	12月 1日	考古部門常設展の企画立案から制作まで／課題に対する講評1（弥生・古墳展示）	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏名	忽那敬三
博物館は現在3ヶ年計画で常設展示の刷新に取り組んでいる。2025年3月に完了した「考古」の展示を事例に、展示の原案、企画、調査・研究、新規展示資料の収集活動、展示列品計画など、展示刷新までの準備過程を紹介し、大学博物館における展示活動の意義について考える。また、期中課題である展示評価レポートの内、弥生・古墳展示分について講評する。				
11	12月 8日	考古資料の発掘と調査・研究（旧石器時代研究）／期中課題に対する講評2（旧石器・縄文展示）	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏名	島田和高
現在の気候・植生・動物相とは異なる自然環境に適応していた氷河期の人類活動と歴史に焦点を当てる。ホモ・サピエンスの拡散や氷河時代の動植物や気候について、最新の研究データを紹介するとともに、明治大学博物館と明治大学黒耀石研究センターが取り組む先史時代のヒト・資源環境系研究（生活物資の開発とその変化）の成果を解説する。また、期中課題である展示評価レポートの内、旧石器・縄文展示分について講評する。				
12	12月 15日	古文書資料の調査・研究と資料公開／期中課題に対する講評3（刑事展示）	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏名	日比佳代子
博物館は膨大な数の資料を持っているが、ただ持っているだけではそれらの貴重な資料は生きてこない。調査・研究を行って資料の性格を明らかにし、学術利用に適した形で資料情報を提供したり、展示などのより分かりやすい表現で市民向けに公開したりする事が必要である。ここでは、収蔵資料を素材にして、博物館における古文書の調査・研究のあり方について論じる。また、期中課題である展示評価レポートの内、刑事展示分について講評する。				
13	12月 22日	伝統的工芸品産業の調査・研究／課題に対する講評4（商品展示）	所属・役職	博物館事務室・学芸員
			氏名	外山 徹
「伝統」とは「古くから伝わるもの」「昔のまま」という解釈でよいのだろうか。今日に継承されている伝統的工芸品は、その時々、社会的ニーズに適応し得たものが残るべくして残ってきたものである。商品部門が研究課題として、近代から現代へかけての社会情勢の変化における、商品としての伝統的工芸品の進化の状況について解説する。また、期中課題である展示評価レポートの内、商品展示分について講評する。				
14	1月 19日	総括 ふりかえりと意見交換	所属・役職	コーディネーター
			氏名	駒見和夫
前回までの全13講の内容についてふりかえり、受講の成果を受講者間で共有化する。印象に残った点、受講によって新たに得られた知見について、受講者各人が個別に口頭発表し、今後、博物館・美術館とどのような関わりを持ってゆくべきかを討論する。				
3 履修上の注意				
積極的に外部の博物館・美術館に関する見聞を広めるようにすること。 平常点を重視するので10回以上の出席を被評価資格とする。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
駿河台キャンパス・アカデミーコモン地下2階にある博物館常設展示室の3部門の展示をあらかじめ見学し内容を理解しておくこと。授業に関わる印刷物をあらかじめOh-o!Meijiクラスウェブに掲載するので、当該回の内容に目を通しておくこと。				
5 教科書				
授業のそのつど必要に応じて印刷物を配布する。				
6 参考書				
倉田公裕・矢島國雄『新編 博物館学』東京堂出版、1997 駒見和夫『だれもが学べる博物館へ』学文社、2008 明治大学博物館『常設展示ガイドブック』明治大学博物館、2016改訂版				
7 課題に対するフィードバックの方法				
期中課題（第2回授業時に提示する展示評価レポート）に対し第10～13回授業で講評をおこなう。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
期末レポート（期中課題を修正・再提出するもの）74%、授業各回のコメントペーパー記入による平常点26%。				
9 その他				
第7回「博物館資料の保管と整理」では汚れてもよい服装とするか、またはエプロンを持参すること。手が荒れやすい学生はゴム手袋を用意すること。また、ハウスダスト・アレルギーの心配のある学生はマスクを着用すること。施設の実見、また、収蔵資料の取扱いの関係から受講定員を36名とする。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
登戸研究所から考える戦争と平和			文学部・山田 朗	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
生田	2	春学期	木	1
1 授業の概要・到達目標				
<p>明治大学生田キャンパスは、陸軍登戸研究所の跡地に立地している。この研究所が何故に設置され、そこではどのような兵器の開発が秘密裏に行われていたのかを多角的に検証する。登戸研究所の活動を知ることは、戦争には必ず存在する裏面（一般に秘匿され報道されない側面）から戦争の全体像を捉え直すことであり、戦争と科学技術との関係をあらためて検証することでもある。登戸研究所の全体像を伝え、戦争と平和、戦争と科学技術の関係性、過去の歴史を直視し、歴史の記憶を継承する取り組みのあり方について主体的に考える機会にしたい。登戸研究所と資料館に関する基礎的な知識を修得し、戦争と平和の関係について冷静に判断する能力を養うことを到達目標とする。</p>				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月10日	講座の概要、成績評価方法等の説明／平和創造のために戦争と登戸研究所を学ぶ意義	所属・役職 氏名	文学部教授 山田 朗
<p>平和を創造するためには、平和を破壊する国際的な緊張状態や戦争そのものの原因・構造・結果を知っておく必要がある。陸軍登戸研究所がかかわった〈秘密戦〉という分野は、戦争の裏面・暗部といえるところである。注目をあびないが、戦争には必ずこういった側面がともなうという点では、戦争の本質、国際政治の内実を示しているともいえる。</p>				
2	4月17日	登戸研究所と科学者・技術者たち	所属・役職 氏名	登戸研究所資料館 展示専門委員 渡辺 賢二
<p>登戸研究所は、陸軍科学研究所が母体につくられた。第一次世界大戦から学んだ陸軍は科学を武器に活用するために優秀な科学者・技術者をそこに動員した。とりわけ登戸研究所はそのなかで秘密戦を担当する研究所だったため、日本国内の各大学から研究者、技術者などが勤務することとなり、同時に官・軍・産・学の共同プロジェクトが築かれた。その実相を考えたい。</p>				
3	4月24日	登戸研究所の秘密戦 (1) 風船爆弾と電波兵器	所属・役職 氏名	登戸研究所資料館 展示専門委員 渡辺 賢二
<p>登戸研究所の研究・開発した兵器に風船爆弾がある。敗色が濃くなった日本は秘密兵器として、和紙の気球を水素ガスでふくらましたものを偏西風にのせてアメリカ本土に飛ばそうとした。爆弾としては、当初は生物兵器を使用することで登戸研究所で開発した。その他登戸研究所では電波兵器の開発も行っていた。こうした秘密兵器をどう開発したか考えたい。</p>				
4	5月8日	登戸研究所の秘密戦 (2) スパイ用品と生物化学兵器	所属・役職 氏名	登戸研究所資料館 展示専門委員 渡辺 賢二
<p>登戸研究所は陸軍中野学校出身の特務機関の要員が必要とする秘密兵器を研究・開発していた。第一科では無線機や盗聴器などの物理的な兵器、第二科では生物化学兵器や秘密カメラなどを開発していた。そしてこれらの兵器を使用しての防諜・諜報・謀略・宣伝などの作戦が展開された。こうした研究がどのような人によって、どう開発されたかを考えたい。</p>				
5	5月15日	登戸研究所の秘密戦 (3) 偽札製造と偽札作戦	所属・役職 氏名	登戸研究所資料館 展示専門委員 渡辺 賢二
<p>登戸研究所で最も秘密にされていたのは第三科であった。このセクションは、板べいで囲まれ、他の科員にも秘密にされていた。ここでは日中戦争で泥沼化したことを打開するために中国国民政府の法幣の偽造紙幣を製造し使用した。その額45億元であった。どのような目的で、どのような形で使用したか、中国側はそれにどう対応したか考えたい。</p>				
6	5月22日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ① 沖縄戦から米軍基地問題	所属・役職 氏名	国際日本学部客員講師 師井 勇一
<p>第6回～第9回は、「戦争と社会～過去と現在をつなぐ」と題して、登戸研究所で扱われている戦争の過去の遺産がどのように現代の社会問題につながっているのかを考える。今年度は沖縄と核兵器問題をおもに取り上げ、戦争と平和の関係性を判断する能力を養っていききたい。第6回は、沖縄戦の教訓である「軍隊は住民を守らない」歴史的経験から、米軍基地の存続と集中の実相、そして「命どう宝」の思想に支えられた平和への想いと行動を振り返る。</p>				
7	5月29日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ② 日米安保体制と憲法九条	所属・役職 氏名	国際日本学部客員講師 師井 勇一
<p>戦後75年以上経っても軍事基地の重圧下にある沖縄に、本当の意味での「戦後」はあるのだろうか。こうした状況をつくりだしている日米安保体制を戦後の「戦争」（朝鮮戦争、ベトナム戦争、対テロ戦争）の文脈に置き、日本国憲法の平和主義（とりわけ九条）との関係を考える。「平和」という目的と、それに至る手段の整合性を考えていく中で、軍事力や戦争で達成する（とされる）平和とはどのようなものなのか、軍産複合体や「日米安保ムラ」の利害関係</p>				
8	6月5日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ③ ヒロシマ・ナガサキから核兵器禁止条約へ	所属・役職 氏名	国際日本学部客員講師 師井 勇一
<p>2021年1月、50か国の批准を受けて、核兵器禁止条約が発効した。唯一の被爆国である日本は、この条約に参加していない。アメリカの「核の傘」に守られている、と言われるが、それは具体的にどのようなことなのか。核抑止論の本質である「威嚇」のもつ限界をさまざまな角度から考えていく。また、化学兵器や生物兵器などの大量殺戮兵器を禁止する国際条約の流れを振りかえることで、核兵器禁止条約のもつ可能性を探る。</p>				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月12日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ④ 被爆者による反核運動のこれまでとこれから	所属・役職 氏名	国際日本学部客員講師 師井 勇一
核抑止論（そして軍備増強を正当化する抑止力論一般）を支持する現実政治の圧倒的な力に対して、市民がどのように平和創造に関われるのか、被爆者による反核運動を例に考える。可能であれば、長年運動に関わってこられている被爆者の方のお話を直に伺い、彼らの想いを受け止め、それをどのように継承できるのかを考える時間にしたい。				
10	6月19日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(1)：日本軍の軍事思想と兵器	所属・役職 氏名	文学部教授 山田 朗
登戸研究所は陸軍の〈秘密戦〉用の兵器・資材を開発した機関である。そこで開発された兵器・資材には、日本陸軍のどのような軍事思想が反映しているのか。日露戦争によって形成された陸軍の軍事思想の〈基本路線〉（歩兵中心・少数精鋭・攻勢主義）とそれを補完する〈補助手段〉の関係性、〈補助手段〉としての〈秘密戦〉兵器のあり方について考察する。				
11	6月26日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(2)：日本軍の秘密戦の歴史	所属・役職 氏名	文学部教授 山田 朗
近代日本における〈秘密戦〉の歴史について日清・日露戦争期からアジア太平洋戦争敗戦までを検証する。とりわけ、諜報要員による人的諜報（情報収集）・謀略（破壊・暗殺工作）に焦点をあて、1935-36年頃を契機とする世界的な〈秘密戦〉の活発化の中で、日本陸軍がどのような兵器・資材開発と人材養成に力をいれたのかを確認する。				
12	7月3日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(3)：民間人と産業の動員	所属・役職 氏名	文学部教授 山田 朗
〈秘密戦〉は、民間人や一般企業と無縁な分野のように思われるが、風船爆弾の製造には多くの女学生が動員されたことから分かるように、実際には多くの民間人・企業が動員された。本講では、「紙と戦争」に焦点をあてて風船爆弾の製造に動員された民間人や一般企業の実態に迫り、そのようなことを可能にした国家総動員体制について迫りたい。				
13	7月10日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(4)：証拠隠滅と戦後	所属・役職 氏名	文学部教授 山田 朗
敗戦直後、登戸研究所を始めとする軍施設では、大量に書類が焼却され、製造された兵器・資材が破壊・廃棄された。これは、多分に連合軍側に知られることを不利とされる情報・物的証拠の隠滅工作であった。しかし、米軍の尋問を受けた登戸研究所の多くの研究者たちは、情報提供とひきかえに免責され、場合によっては米軍内であらたに「任務」が与えられた。これらのことについて検証する。				
14	7月17日	総括：登戸研究所から考える戦争と平和	所属・役職 氏名	文学部教授 山田 朗
授業の総括として、登戸研究所から戦争と平和について考察する。				
3 履修上の注意				
講義途中の入室・退室は原則として認めない。私語が甚だしい場合など、退席してもらうことがある。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
事前にテキストを読んで、事実関係と論点を整理しておくこと。また、期末レポート提出までに、生田キャンパス内の平和教育登戸研究所資料館を見学し、その展示内容について把握しておくこと。				
5 教科書				
山田朗・渡辺賢二・齋藤一晴『登戸研究所から考える戦争と平和』（芙蓉書房、2011年）、山田朗・師井勇一編『平和創造学への道案内』（法律文化社、2021年）				
6 参考書				
明治大学平和教育登戸研究所資料館編『陸軍登戸研究所〈秘密戦〉の世界』（明治大学出版会、2012年）、その他の参考文献は、必要に応じて講義の際に紹介・解説する。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
課題を出した場合には、Oh-o!Meijiによってフィードバックする。質問に対する回答も同様である。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
期末レポート（60％）と平常点（40％）によって評価する。				
9 その他				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
シェイクスピアの現代的魅力			文学部・井上 優	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
和泉	2	春学期	金	5
1 授業の概要・到達目標				
<p>劇作家シェイクスピア(1564-1616)が400年前のロンドンの劇場のために書き下ろした劇作品群は、時代を超えて現代でも愛読され、言語の壁も飛び越えて世界各地で上演が行われています。シェイクスピアの研究や上演に携わるさまざまな人々を講師に招いてその魅力の源を探るのがこの授業の目的です。</p> <p>また、この授業の受講生の中から有志を募って毎年秋に行っているシェイクスピア上演プロジェクト(明治大学シェイクスピアプロジェクト)では、今年度、『冬物語』を上演する予定ですので、それを前提に講座を設定しています。</p>				
2 授業内容(日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月 11日	講座の概要、成績評価方法等の説明 および劇作家・演劇人シェイクスピアの概要の説明	所属・役職 氏名	文学部教授 井上 優
<p>受講生の皆さんが「シェイクスピアをまったく知らない学生たちである」という前提で、この講座のイントロダクションをかねて、シェイクスピアとはいかなる作家で、どのような作品を残したのか、またいかにその彼の生きていた時代を超えて現代に至るまで愛され続けているかを講義します。また、この講座を受けるにあたっての準備について話していきたいと考えていますので、受講を考えている学生は必ず出席するようにしてください。</p> <p>【講師紹介】井上は文学部教授。本講座およびシェイクスピアプロジェクトのコーディネーターでもある。専門はヨーロッパ演劇史・演劇理論。</p>				
2	4月 18日	シェイクスピアの悲劇の楽しみ	所属・役職 氏名	開智国際大学教授 安田 比呂志
<p>ある国語辞典は、「悲劇」を「悲惨なできごとを描いた演劇」と定義している。しかし、この定義だけでは、常に人々の心を魅了する「悲劇」の魅力を知ったことにはならないであろう。本講義では、「悲劇」の魅力について考えることを目的とし、「悲劇」が本来持ち得る魅力について考える。その上で、シェイクスピアの特に四大悲劇が持つ独自性や魅力について考える。</p> <p>【講師紹介】安田比呂志先生は開智国際大学教授。専門はシェイクスピア・イギリス演劇。</p>				
3	4月 25日	シェイクスピアの歴史劇の楽しみ	所属・役職 氏名	元青山学院大学教授 狩野 良規
<p>シェイクスピアの歴史劇は全10編、イングランド中世末期に起こったバラ戦争という内乱(1455-85)とその原因になった事件に取材した作品がほとんどです。よそ様の国の歴史でもあり、日本人には馴染みが薄いかもかもしれませんが、実はシェイクスピアの悲劇も喜劇も、その原型は歴史劇に見出せます。シェイクスピアの作家性を考える際に避けては通れないイングランド史劇の魅力について講義します。</p> <p>【講師紹介】狩野良規先生は元青山学院大学教授。専門はイギリス文学・演劇・映画。</p>				
4	5月 9日	シェイクスピアのロマンス劇の楽しみ	所属・役職 氏名	文学部教授 井上 優
<p>『冬物語』はシェイクスピアの最晩年の作品のひとつで、ロマンス劇というジャンルでくくられる作品群の一つです。このロマンス劇の魅力がどういうところにあるのか、具体的に探っていきます。なお、この日に『冬物語』の内容に関する小テストを行う予定です。</p>				
5	5月 16日	朗読で聞く『冬物語』の世界	所属・役職 氏名	東京シェイクスピアカンパニー 江戸 馨
<p>言葉の音楽性、想像力を掻き立てるドラマ展開など、シェイクスピア劇以上に朗読に適したテキストはありません。俳優さんたちの声を通して聞くと、キャラクターたちの姿が立体的に浮かび上がってきます。その様子をお楽しみください。</p> <p>【講師紹介】江戸馨先生は劇団東京シェイクスピアカンパニー主宰。シェイクスピアの本格上演のほか、朗読公演も</p>				
6	5月 23日	シェイクスピアの翻訳——『冬物語』の場合 論家	所属・役職 氏名	翻訳家・演劇評 松岡 和子
<p>シェイクスピア全作品の翻訳に取り組んできた経験から、シェイクスピアの英語を日本語に移し替える場合、どのような配慮が必要かを考察します。</p> <p>【講師紹介】松岡和子先生は演劇評論家・翻訳家。2021年シェイクスピア作品全翻訳を完成された。</p>				
7	5月 30日	シェイクスピア喜劇の楽しみ	所属・役職 氏名	文学部教授 井上 優
<p>シェイクスピア作品を題材とした映画は多数あります。しかし、何故か喜劇作品には成功作が多くありません。それはなぜでしょうか。その観点からシェイクスピア喜劇の面白さに迫っていききたいと思います。</p>				
8	6月 6日	『冬物語』の上演① イギリスの場合	所属・役職 氏名	商学部准教授 今野 史昭
<p>『冬物語』のイギリスにおける上演史の概説を行います。核時代の舞台上で、この劇はどのように上演されてきたのかを概観します。</p> <p>【講師紹介】今野史昭先生は本学商学部専任准教授。専門はイギリス文学・イギリス演劇。</p>				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月 13日	『冬物語』の映画	所属・役職	東京工業大学准教授
			氏名	小泉 勇人
『冬物語』の映画化作品の魅力を、“アダプテーション”という分析の視点から探ります。 【講師紹介】小泉勇人先生は東京工業大学准教授。専門はシェイクスピア、イギリス演劇。シェイクスピアの現代の翻案作品も含めての映画化作品を主に研究している。				
10	6月 20日	『冬物語』を読み解く（仮）	所属・役職	東京大学教授
			氏名	河合 祥一郎
『冬物語』に見て取れる界観について読み解いていきます。 【講師紹介】河合祥一郎先生は東京大学教授。シェイクスピアの研究のほか、翻訳や演劇評論、実際の上演活動も行っている。				
11	6月 27日	シェイクスピアの問題劇の楽しみ	所属・役職	文学部教授
			氏名	井上 優
シェイクスピア作品には「悲劇・喜劇・歴史劇」のシンプルな分類から洩れてしまうサブジャンルが、後世研究者によって規定されました。そのうちの一つが「問題劇」というジャンルですが、作品としては不人気で上演もあまりありませんでした。しかし、このジャンルは特に今日的な面白みを持っていて、近年見直しが進んでいます。その魅力を概観します。				
12	7月 4日	『冬物語』を読んでみよう	所属・役職	俳優・ナレーター
			氏名	西村 俊彦
舞台のために書かれたシェイクスピアのセリフの魅力は、何より実際に声に出して読んでみることで味わえるものです。授業の形態上限界はありますが、可能な限り多くの人に、『冬物語』のセリフ・場面を実際に声に出してもらい、そこから立ち上がる情景を体感してもらいます。 【講師紹介】西村先生は俳優・ナレーターであり、明治大学リパティ・アカデミー講師も務める。				
13	7月 11日	『冬物語』の上演②：宝塚版『冬物語』について	所属・役職	国際日本学部兼任講師
			氏名	松尾 ひかり
宝塚歌劇ではシェイクスピアを原作とした作品が多く存在します。その上演の魅力を、『冬物語』を題材にした作品を中心に読み解いていきます。 【講師紹介】松尾ひかり先生は、明治大学国際日本学部兼任講師。ドイツ語圏を中心としたミュージカルの研究が専門。				
14	7月 18日	総括	所属・役職	文学部教授
			氏名	井上 優
春学期全体の内容を、試験の形式で振り返ります。前半に試験を行い、後半の時間を振り返り、答え合わせの時間とし、春学期全体の講義の要点を振り返っていきます。				
3 履修上の注意				
8回以上出席しないと試験の受験資格はありません。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
開講後に教科書を購入のうえ、しっかりと読んでおくこと。5月以降の授業の理解につながります。また、授業にはテキストを持参し、読み返すようにしてください。				
5 教科書				
『冬物語』（ちくま文庫）が望ましい。場合によっては白水社Uブックスでも可とする。				
6 参考書				
適宜指示する。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
最後の振り返りの回に質問・疑問に対応します。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
平常点を50パーセント評価します。ただし、上記のように8回以上出席しないと試験の受験資格はありません。試験の成績を50点満点とし、平常点とあわせて100点満点で評価します。試験は持ち込み可とします。				
9 その他				
秋学期には、受講者有志による明治シェイクスピア・プロジェクトにより『冬物語』の上演を予定しています。本講座の受講生の中からも出演者・スタッフを募ります。関心のある学生の積極的な参加を求めます。また、劇場で行われるシェイクスピアを授業内でも案内しますので、ぜひ積極的に体験してください。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
登戸研究所から考える戦争と平和			文学部・山田 朗	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	秋学期	木	2
1 授業の概要・到達目標				
<p>明治大学生田キャンパスは、陸軍登戸研究所の跡地に立地している。この研究所が何故に設置され、そこではどのような兵器の開発が秘密裏に行われていたのかを多角的に検証する。登戸研究所の活動を知ることは、戦争には必ず存在する裏面（一般に秘匿され報道されない側面）から戦争の全体像を捉え直すことであり、戦争と科学技術との関係をあらためて検証することでもある。登戸研究所の全体像を伝え、戦争と平和、戦争と科学技術の関係性、過去の歴史を直視し、歴史の記憶を継承する取り組みのあり方について主体的に考える機会にしたい。登戸研究所と資料館に関する基礎的な知識を修得し、戦争と平和の関係について冷静に判断する能力を養うことを到達目標とする。</p>				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月25日	講座の概要、成績評価方法等の説明／平和創造のために戦争と登戸研究所を学ぶ意義	所属・役職 氏名	文学部教授 山田 朗
<p>平和を創造するためには、平和を破壊する国際的な緊張状態や戦争そのものの原因・構造・結果を知っておく必要がある。陸軍登戸研究所がかかわった〈秘密戦〉という分野は、戦争の裏面・暗部といえるところである。注目をあびないが、戦争には必ずこういった側面がともなうという点では、戦争の本質、国際政治の内実を示しているともいえる。</p>				
2	10月2日	登戸研究所と科学者・技術者たち	所属・役職 氏名	登戸研究所資料館 展示専門委員 渡辺 賢二
<p>登戸研究所は、陸軍科学研究所が母体につくられた。第一次世界大戦から学んだ陸軍は科学を武器に活用するために優秀な科学者・技術者をそこに動員した。とりわけ登戸研究所はそのなかで秘密戦を担当する研究所だったため、日本国内の各大学から研究者、技術者などが勤務することとなり、同時に官・軍・産・学の共同プロジェクトが築かれた。その実相を考えたい。</p>				
3	10月9日	登戸研究所の秘密戦 (1) 風船爆弾と電波兵器	所属・役職 氏名	登戸研究所資料館 展示専門委員 渡辺 賢二
<p>登戸研究所の研究・開発した兵器に風船爆弾がある。敗色が濃くなった日本は秘密兵器として、和紙の気球を水素ガスでふくらましたものを偏西風に乗せてアメリカ本土に飛ばそうとした。爆弾としては、当初は生物兵器を使用することで登戸研究所で開発した。その他登戸研究所では電波兵器の開発も行っていた。こうした秘密兵器をどう開発してたか考えたい。</p>				
4	10月16日	登戸研究所の秘密戦 (2) スパイ用品と生物化学兵器	所属・役職 氏名	登戸研究所資料館 展示専門委員 渡辺 賢二
<p>登戸研究所は陸軍中野学校出身の特務機関の要員が必要とする秘密兵器を研究・開発していた。第一科では無線機や盗聴器などの物理的な兵器、第二科では生物化学兵器や秘密カメラなどを開発していた。そしてこれらの兵器を使用しての防諜・諜報・謀略・宣伝などの作戦が展開された。こうした研究がどのような人によって、どう開発されたかを考えたい。</p>				
5	10月23日	登戸研究所の秘密戦 (3) 偽札製造と偽札作戦	所属・役職 氏名	登戸研究所資料館 展示専門委員 渡辺 賢二
<p>登戸研究所で最も秘密にされていたのは第三科であった。このセクションは、板べいで囲まれ、他の科員にも秘密にされていた。ここでは日中戦争で泥沼化したことを打開するために中国国民政府の法幣の偽造紙幣を製造し使用した。その額45億元であった。どのような目的で、どのような形で使用したか、中国側はそれにどう対応したか考えたい。</p>				
6	11月6日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ① 沖縄戦から米軍基地問題	所属・役職 氏名	国際日本学部客員講師 師井 勇一
<p>第6回～第9回は、「戦争と社会～過去と現在をつなぐ」と題して、登戸研究所で扱われている戦争の過去の遺産がどのように現代の社会問題につながっているのかを考える。今年度は沖縄と核兵器問題をおもに取り上げ、戦争と平和の関係性を判断する能力を養っていききたい。第6回は、沖縄戦の教訓である「軍隊は住民を守らない」歴史的経験から、米軍基地の存続と集中の実相、そして「命どう宝」の思想に支えられた平和への想いと行動を振り返る。</p>				
7	11月13日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ② 日米安保体制と憲法九条	所属・役職 氏名	国際日本学部客員講師 師井 勇一
<p>戦後75年以上経っても軍事基地の重圧下にある沖縄に、本当の意味での「戦後」はあるのだろうか。こうした状況をつくりだしている日米安保体制を戦後の「戦争」（朝鮮戦争、ベトナム戦争、対テロ戦争）の文脈に置き、日本国憲法の平和主義（とりわけ九条）との関係を考える。「平和」という目的と、それに至る手段の整合性を考えていく中で、軍事力や戦争で達成する（とされる）平和とはどのようなものなのか、軍産複合体や「日米安保ムラ」の利害関係にも注目しつつ考察を深めていく。</p>				
8	11月20日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ③ ヒロシマ・ナガサキから核兵器禁止条約へ	所属・役職 氏名	国際日本学部客員講師 師井 勇一
<p>2021年1月、50か国の批准を受けて、核兵器禁止条約が発効した。唯一の被爆国である日本は、この条約に参加していない。アメリカの「核の傘」に守られている、と言われるが、それは具体的にどのようなことなのか。核抑止論の本質である「威嚇」のもつ限界をさまざまな角度から考えていく。また、化学兵器や生物兵器などの大量殺戮兵器を禁止する国際条約の流れを振りかえることで、核兵器禁止条約のもつ可能性を探る。</p>				

回	日程	テーマ	担当者	
9	11月27日	戦争と社会～過去と現在をつなぐ④ 被爆者による反核運動のこれまでとこれから	所属・役職	国際日本学部客員講師
			氏名	師井 勇一
核抑止論（そして軍備増強を正当化する抑止力論一般）を支持する現実政治の圧倒的な力に対して、市民がどのように平和創造に関われるのか、被爆者による反核運動を例に考える。可能であれば、長年運動に関わってこられている被爆者の方のお話を直に伺い、彼らの想いを受け止め、それをどのように継承できるのかを考える時間にしたい。				
10	12月4日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(1)：日本軍の軍事思想と兵器	所属・役職	文学部教授
			氏名	山田 朗
登戸研究所は陸軍の〈秘密戦〉用の兵器・資材を開発した機関である。そこで開発された兵器・資材には、日本陸軍のどのような軍事思想が反映しているのか。日露戦争によって形成された陸軍の軍事思想の〈基本路線〉（歩兵中心・少数精鋭・攻勢主義）とそれを補完する〈補助手段〉の関係性、〈補助手段〉としての〈秘密戦〉兵器のあり方について考察する。				
11	12月11日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(2)：日本軍の秘密戦の歴史	所属・役職	文学部教授
			氏名	山田 朗
近代日本における〈秘密戦〉の歴史について日清・日露戦争期からアジア太平洋戦争敗戦までを検証する。とりわけ、諜報要員による人的諜報（情報収集）・謀略（破壊・暗殺工作）に焦点をあて、1935-36年頃を契機とする世界的な〈秘密戦〉の活発化の中で、日本陸軍がどのような兵器・資材開発と人材養成に力をいれたのかを確認する。				
12	12月18日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(3)：民間人と産業の動員	所属・役職	文学部教授
			氏名	山田 朗
〈秘密戦〉は、民間人や一般企業と無縁な分野のように思われるが、風船爆弾の製造には多くの女学生が動員されたことから分かるように、実際には多くの民間人・企業が動員された。本講では、「紙と戦争」に焦点をあてて風船爆弾の製造に動員された民間人や一般企業の実態に迫り、そのようなことを可能にした国家総動員体制について迫りたい。				
13	1月8日	登戸研究所と日本軍の秘密戦の実態(4)：証拠隠滅と戦後	所属・役職	文学部教授
			氏名	山田 朗
敗戦直後、登戸研究所を始めとする軍施設では、大量に書類が焼却され、製造された兵器・資材が破壊・廃棄された。これは、多分に連合軍側に知られることを不利とされる情報・物的証拠の隠滅工作であった。しかし、米軍の尋問を受けた登戸研究所の多くの研究者たちは、情報提供とひきかえに免責され、場合によっては米軍内であらたに「任務」が与えられた。これらのことについて検証する。				
14	1月15日	総括：登戸研究所から考える戦争と平和	所属・役職	文学部教授
			氏名	山田 朗
授業の総括として、登戸研究所から戦争と平和について考察する。				
3 履修上の注意				
講義途中の入室・退室は原則として認めない。私語が甚だしい場合など、退席してもらうことがある。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
事前にテキストを読んで、事実関係と論点を整理しておくこと。また、期末レポート提出までに、生田キャンパス内の平和教育登戸研究所資料館を見学し、その展示内容について把握しておくこと。				
5 教科書				
山田朗・渡辺賢二・齋藤一晴『登戸研究所から考える戦争と平和』（芙蓉書房、2011年）、山田朗・師井勇一編『平和創造学への道案内』（法律文化社、2021年）				
6 参考書				
明治大学平和教育登戸研究所資料館編『陸軍登戸研究所〈秘密戦〉の世界』（明治大学出版会、2012年）、その他の参考文献は、必要に応じて講義の際に紹介・解説する。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
課題を出した場合には、Oh-o!Meijiによってフィードバックする。質問に対する回答も同様である。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
期末レポート（60％）と平常点（40％）によって評価する。				
9 その他				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
明治大学の歴史 I			文学部・高田 幸男	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
中野	2	春学期	金	4
1 授業の概要・到達目標				
<p>明治大学は1881(明治14)年に、明治法律学校として創立され、140年をこえる歴史をもっている。明治大学は、どういう人たちによってどのような理念のもとで創立され、どのように継承されてきたのか、また、どのように現在の「個を強くする大学」の理念にいたっているのか。そして、その間にどのような人材を生み出してきたのか。本講座では、明治大学の歴史を近代日本の歩みのなかで検証すると同時に、明治大学が培ってきた特色を考えていく。将来、社会人となる学生が、本講義をうけることによって、自分にふさわしい社会的な活躍の場がどこにあるか考えるきっかけになってほしい。本講座では、講義ごとに異なる視点から、明治大学の歴史を考える。明治大学をより深く理解することにより、その知的・人的等さまざまな「資源」を活用し、学生生活や卒業後の社会生活をより豊かにすることを目標とする。</p>				
2 授業内容(日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月11日	【対面授業】イントロダクション	所属・役職	文学部教授
			氏名	高田 幸男
講座の概要、成績評価方法等について説明する。				
2	4月18日	【メディア授業】映画界と校友たち	所属・役職	農学部教授
			氏名	松下 浩幸
映画界で活躍した(または現在活躍する)明治大学の卒業生を監督・俳優を中心に紹介し、その業績を考察する。				
3	4月25日	【メディア授業】阿久悠と阿久悠記念館	所属・役職	政治経済学部教授
			氏名	富澤 成實
明治大学卒業生で作詞家・作家として顕著な業績を遺した阿久悠氏について講義する。				
4	5月9日	【メディア授業】専門部女子部と三淵嘉子	所属・役職	法学部教授
			氏名	村上 一博
2024年前期連続テレビ小説「虎に翼」の主人公のモデルとなった三淵嘉子をはじめ、明治大学女子部・法学部出身の女性法曹や、明治大学が女性法曹養成機関のパイオニアとなった点について講義する。				
5	5月16日	【メディア授業】明治大学の創立者	所属・役職	文学部教授
			氏名	野尻 泰弘
明治大学の3人の創立者たちの生涯や業績について講義する。				
6	5月23日	【メディア授業】明治大学平和教育登戸研究所資料館	所属・役職	文学部教授
			氏名	山田 朗
生田キャンパスはかつて陸軍登戸研究所の敷地であった。研究所と資料館に関する基礎的な事項を講義する。				
7	5月30日	【メディア授業】明治大学の歴史・学部の歴史(明治・大正・昭和戦前)	所属・役職	法学部教授
			氏名	村上 一博
明治・大正・昭和戦前期までの明治大学と学部の歴史について講義する。あわせて明治大学の建学理念について講義する。				
8	6月6日	【メディア授業】明治大学の歴史・学部の歴史(昭和戦後・平成・令和)	所属・役職	博物館事務室職員
			氏名	古俣 達郎
昭和戦後から今日に至るまでの明治大学と学部の歴史について講義する。				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月13日	【メディア授業】留学生とグローバル化（1）	所属・役職	文学部教授
			氏名	高田 幸男
1回目は台湾からの留学生を中心に講義する。あわせて、今日の国際化の問題について講義する。				
10	6月20日	【メディア授業】留学生とグローバル化（2）	所属・役職	文学部教授
			氏名	高田 幸男
2回目は韓国からの留学生を中心に講義する。				
11	6月27日	【メディア授業】留学生とグローバル化（3）	所属・役職	商学部教授
			氏名	三田 剛史
3回目は中国からの留学生を中心に講義する。				
12	7月4日	【メディア授業】キャンパスライフ	所属・役職	博物館事務室職員
			氏名	古俣 達郎
学生たちの姿や視点から、明治大学の歴史について講義する。				
13	7月11日	【メディア授業】明治大学校歌	所属・役職	博物館事務室職員
			氏名	阿部 裕樹
1920年に制定された校歌の歴史について講義する。				
14	7月18日	【対面授業】総括	所属・役職	文学部教授
			氏名	高田 幸男
本講座の意義を総括する。				
3 履修上の注意				
本講義は、1・14回目を除いて、メディア授業として実施する。各講義は指定する時間内に視聴するとともに、指定する時間内で小レポートを提出すること。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
教科書を読んでおくこと				
5 教科書				
明治大学史資料センター編『明治大学の歴史』DTP出版、2017年				
6 参考書				
図書館で閲覧できる参考書として、明治大学史資料センター編『白雲なびく遙かなる明大山脉 アジア編Ⅱ』（DTP出版、2024年）、同編『同 法曹編Ⅱ』（DTP出版、2023年）、同編『同 アジア編Ⅰ』（DTP出版、2023年）、同編『同 法曹編Ⅰ』（DTP出版、2022年）、同編『私学の誕生—明治大学の三人の創立者』（創英社／三省堂書店、2015年）、『明治大学百年史』全4巻（明治大学、1986～1994年）がある。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
Oh-o!Meijiを利用して回答・発信する。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
毎回のレポートで評価する。				
9 その他				
この講座は、明治大学について学ぶ絶好の機会であるから、多くの学生が受講し、自分自身が明治大学で学ぶ意義について考えてくれることを願っている。あわせて駿河台キャンパスでの開講となるが「明治大学の歴史Ⅱ」を受講することが望ましい。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
環境人文学 I ローカルスタンダードをデザインする			理工学部・鞍田 崇	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	春学期	水	4
1 授業の概要・到達目標				
<p>地球環境問題をはじめ、現代の社会問題は、多様性を損ない画一化へと邁進するグローバル化の「ひずみ」といえます。ひずんだ社会を変革する道筋を考えるのが「環境人文学」のねらい。でも、どうすればよいか。すでに多くの取り組みがなされています。何より多くの人が問題に気がついています。でも、動こうとしない。問うべき点はここにあります。人々を社会変革へといざなう駆動力となるもの、それをここでは、地域社会への共感を促す「ローカルスタンダード」の確立と、そうした共感の端緒となる「インティマシー」という感性に求めます。本学はこのうち前者を扱い、そもそもなぜいまローカルかを考えます。*インティマシーは秋学期に扱います。</p>				
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月 16日	なぜいまローカルか？	所属・役職	ソトコト編集長 / コーディネーター
			氏名	指出 一正 / 鞍田 崇
<p>「ローカルスタンダード」は、地域固有でありかつ普遍的な価値。地域に徹底的にこだわることで、むしろ域外の人々からも共感される普遍性を獲得する、そういう意味です。しかしなぜいまローカルなのでしょう。20年前「ロハス」という言葉を紹介し、代表的なエコマガジンと目されてきた『ソトコト』は、2012年から「ソーシャル」をエコと並ぶ基軸とし、現在は「関係人口」と「サステナビリティ」「ウェルビーイング」の視点を踏まえ、ローカルな現場の様々な取り組みの紹介・分析を手がけてきました。今後こうした動向はどこへ向かうのか。編集長の指出さんといっしょに考えます。</p>				
2	4月 23日	ごみからひもとくローカルスタンダード	所属・役職	BIG EYE COMPANY Chief Environmental Officer
			氏名	大塚 桃奈
<p>ごみ箱へ捨てたごみは、果たしてどこへ行くのだろうか。ごみの行き先をたどると、暮らしの中に潜むあらゆる選択肢が浮かんでくる。日々何気なく捨てているごみを見つめ直すことは、実は自分の生活を見つめ直すことかもしれない。そう考えた大塚桃奈さんは、2020年春に大学卒業と同時に、縁もゆかりもなく、四国一小さな徳島県上勝町で働くことを選択しました。上勝町は、日本で初めて「ゼロ・ウェイスト宣言」を発表した自治体で、そこに新たに誕生した「上勝町ゼロ・ウェイストセンター（WHY）」の取り組みに共感したからといます。なぜごみを捨てるのかとともに、これからの働き方生き方を考えていきたいとおもいます。</p>				
3	4月 30日	地表を路上へ、まちへ	所属・役職	関西学院大学建築学部 准教授
			氏名	石樽 督和
<p>つねにどこかで再開発が行われ、巨大なもの集合体へと変わり続ける東京の都市空間のなかにも「ヒューマンスケール」な場所があります。遠景として現れる巨大な再開発ビルに対して、近景として私たちが「いとおしさ」を感じ、集うのは時間のなかで生まれた空間です。石樽督和さんは、そんな都市空間の可能性を探ってきました。焼け跡となった東京の地表のなかに人々が路上を見出しひらいた闇市を起源とし、今も残るいくつかの場所から、「触れること」のできる都市空間について考えます。</p>				
4	5月 7日	衣服と人の関係を考える	所属・役職	unisteps 共同代表
			氏名	鎌田 安里紗
<p>衣食住という言葉もあるように、人の生活において欠かせない存在である衣服。その生産過程で自然環境や労働者にかかる負荷や大量生産・消費・廃棄が問題となっています。一方で、衣服が作られる現場に足を運ぶと、その工程の美しさや工夫の積み重ねに、ものを生み出すことの尊さを感じます。衣服とどのように関わっていけば、私たちの生活や未来が健康やかであるのか、共に考える時間を持てればと思います。</p>				
5	5月 14日	民俗と建築にまつわる工芸	所属・役職	美術家 京都精華大学芸術学部准教授
			氏名	中村 裕太
<p>これまで「民俗と建築にまつわる工芸」という視点から、陶磁器、タイルなどの学術研究と作品制作を行ってきました。また「アウト・オブ・民藝」では、民藝運動の周縁に位置する人物、物品、出版社に注目し、そのネットワークを相関図によって浮かび上がらせてきました。歴史に埋もれた事物を掘り起こし、その当時の社会動向に結び合わせてみると、これまで見過ごされてきた価値を発見することができます。本講義では、そうした作品制作の方法についてお話します。</p>				
6	5月 21日	「ロクなもの」、その後	所属・役職	生活用品と器の店 ロク
			氏名	橋本 和美
<p>「生活用品と器 ロク」。京都・聖護院、メタボ岡崎という古いマンションの1階に、そのお店はありました。ものを選ぶ行為は自分との相性を判断する行為でもあり、自分は何を大切に考える人なのか、買った物はそれを知る行為のひとつ。つねにこのスタンスをだいにされてきたからでしょうか、自然で風通しのよい雰囲気がいっつも「ロク」にはありました。店主の橋本和美さんをお招きし、この場所でのめざされたこと、感じてこられたことをうかがいます。</p>				
7	5月 28日	創造社会における創造の美—民藝とパターンランゲージを手がかりに	所属・役職	慶応義塾大学総合政策学部 教授
			氏名	井庭 崇
<p>民藝運動を展開した哲学者柳宗悦とパターン・ランゲージを提唱した建築家クリストファー・アレグザンダーの美。近年、両者への関心を深め、独自の視点を展開されている井庭崇さんの議論をうかがいながら、これからの社会における創造の美について考えます。そこから見えてくる「創造社会」の実際をみなさんと一緒に考えていけたらうれしいです。</p>				
8	6月 4日	手のひらの旅—民藝とデザインの可能性	所属・役職	matohu まとう 共同主宰
			氏名	堀畑 裕之 / 関口 真希子
<p>「日本の美意識が通底する新しい服の創造」をコンセプトにした服飾ブランドmatohu(まとう)。2018年にファッションショーの発表を取りやめ、全国の産地をめぐってその土地の人、手仕事、風土、歴史などを紹介するドキュメンタリー動画「手のひらの旅」へとシフトしました。そのリアルな旅を通して出会った工芸と現代に大切な気づきについて、デザイナー本人が動画や服をお見せしながらお話します。</p>				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月 11日	コンヴィヴィアルな山水郷	所属・役職	日本総研 創発戦略センター シニアスペシャリスト
			氏名	井上 岳一
日本列島の各地にある山と水と人の恵み豊かな地域を、井上岳一さんは「山水郷」と呼んで注目しています。今、山水郷を目指す若者が増えています。彼・彼女らは、かつてあった山と水と人の豊かな関係性を回復させ、新たな価値を生み出し始めています。なぜ山水郷を目指す若者が増えているのでしょうか。この先にはどんな社会が待っているのでしょうか。井上さん自身が関わってこられた多くの事例をうかがいながら、みなさんと共に考えてゆきたいと思います。				
10	6月 18日	土壌もデザインしてみる	所属・役職	建築家 宮城大学事業構想学群 特任助教
			氏名	貝沼 泉実
2050年には世界人口の約7割が都市に居住し、3割が暮らすカントリーサイドには、急激な変化が起こるとされています。貝沼泉実さんは都市とカントリーサイドの両側面を持つ仙台に身を置く立場から、様々なプロジェクトを通して、地域におけるデザインの可能性を模索しています。ここで求められるデザインは、必ずしも型があるものではなく、空間や中身以前の、土壌から耕す必要があるものもあります。表面的でなく、根っこの部分から空間を見るときはどういうことか、そこで求められるデザインの質とはどのようなものなのか。貝沼さんのお話を通して、いっしょに考えていきましょう。				
11	6月 25日	庭の話——これからの「場」をどう設計するか	所属・役職	批評家 planets 編集長
			氏名	宇野 常寛
インターネットはSNSプラットフォームの登場により、社会の基礎インフラとして定着しました。しかしその強すぎる力は人類を解放すると同時に縛り付けてもいます。では、どうすればいいのか？そうした問題意識に立ちながら現代社会と対峙されている宇野常寛さんと一緒に、この問題を実空間/サイバースペースの双方から考えていきます。				
12	7月 2日	日本のまちで屋台が踊る	所属・役職	カモメ・ラボ代表 橋ノ上ノ屋台共同店主
			氏名	今村 謙人
仮設で実験的である屋台。昔から見るような屋台ではなく、もっと軽やかに屋台をひく人が増えています。屋台をやることで見えてくる新しい暮らしや働き方、社会のルールや人間の寛容性。屋台が「いる」ことで見えてくるまちの魅力や可能性。明日は「いない」かもしれない仮設的な屋台だからこそ見えてくるものがあります。そんなふうになら屋台を引く今村謙人さんといっしょに、小さな屋台での実践を通して見えてくる今後の社会やまちの姿を考えていけたらと思っています。				
13	7月 9日	生活を語ることばについて	所属・役職	詩人
			氏名	大崎 清夏
詩はいつも、身近な自然や動物に、隣の人の声に、もの言わぬ建物や街並みに、徹底的に耳をすますところから始まります。今年度は、奥能登国際芸術祭の一環として催された朗読劇「珠洲の夜の夢」の創作にまつわるエピソードを中心に、「生活を語ることば」のヒントを民話や神話の中に探る方法についてお話できればと考えています。				
14	7月 16日	ローカルの先へ	所属・役職	graf 代表 / コーディネーター
			氏名	服部 滋樹 / 鞍田 崇
「ローカル」が創造性を喚起していた時代はすでにおわったのかもしれませんが、すくなくとも「ローカル」という選択肢があることは、すでにデフォルトになっているのはまちがないでしょう。そういう状況のなかで、あえてなおも「ローカル」にこだわるのはなぜか。いち早く「ローカル」に注目し、かずかずのプロジェクトを実現してきたgrafの服部滋樹さんといっしょに、その先を探ります。				
3 履修上の注意				
これまであたりまえと思込んでいたことに縛られない柔軟な思考をもって受講してもらえたらうれしいです。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
特に前もって準備する必要はありませんが、各回とも講義後半で、ショートディスカッションをしますので、そこでの積極的な参加を期待します。				
5 教科書				
鞍田崇著『民藝のインティマシー 「いとおしさ」をデザインする』（明治大学出版会、2015）				
6 参考書				
適宜、授業内で指示します。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
各回の授業内レポートについて、毎回講師と相談して優秀賞をセレクトし、選考理由とあわせて全体講評を共有します。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
授業内レポート60%、平常点40%。 *授業内レポート：各回講師からテーマを出してもらいますので、任意に10件選択して書くこと。最終〆切は7月末日。 *平常点：講師に届けるレポート提出期間は毎回2週間としますので、その期間内の提出頻度を参考に判断します。				
9 その他				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
環境人文学Ⅱ インティマシーをデザインする			理工学部・鞍田 崇	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	秋学期	水	4
1 授業の概要・到達目標				
<p>現代社会のひずみを克服し社会を変革する道筋を考えるのが、「環境人文学」のねらい。人々を社会変革へと誘う駆動力となるものとして、春学期には、地域社会に寄せられる共感の深化とともに確立される「ローカルスタンダード」に注目しましたが、本学期はそもそもなぜ共感なのかについて「インティマシー」という感性を手がかりに考えます。現代では、社会にせよ個人生活にせよ、ともすると他所事・他人事になってしまいがち。それらをあらためてリアルなまなざしのもとに我が事として取り戻す契機となるのがインティマシーです。辞書的には「親密さ」と訳されますが、むしろ「いとおしき」という方がふさわしい。そうした感性を培うにはどうすればよいのか、そもそもインティマシーとは何なのか。本講義では、様々な視点から考えていきます。</p>				
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月 24日	いまなぜインティマシーか	所属・役職	写真家 / コーディネーター
			氏名	田村 尚子 / 鞍田 崇
<p>インティマシーとは何よりもまず感情です。感情は、図と地の関係でいえば、地にあたるもの。表立って意識されるものというよりは、何かしようとする際にたえず背景として随伴しているものではないでしょうか。そういうものの実際を知り、またそれを深めていくにはどうすればよいのか。今回はシリーズ初回として、本講座の概要説明とともに、写真家の田村尚子さんをお迎えし、手がけられてきた活動をうかがいながら、いまなぜインティマシーなのか、その社会背景についても一緒に考えていきます。</p>				
2	10月 1日	心の動きと言葉	所属・役職	東京外国語大学・大東文化大学 非常勤講師
			氏名	水内 智英
<p>イライラしたり喜んだり、わたしたちの生活は心の動きとともにあります。では、そのような心の活動はどのように言葉で表現されるのでしょうか。心的現象はボールが転がったり、コップが割れたりする現象の言語化とおなじような仕組みで表現されるのでしょうか。言語学の視点から、心理現象を表す「動詞」に焦点を当て、いくつかの言語で観察される特徴を整理するなかで、心と言葉のつながりについて考えます。</p>				
3	10月 8日	複雑な世界に参加するためのデザイン	所属・役職	京都工芸繊維大学工芸科学部 デザイン科学域 准教授
			氏名	川上 夏林
<p>デザインのあり方はいまだ大きく見直されようとしています。非常に複雑で解決法が見当たらない課題(Wicked problem)の山積や、社会と技術との相互影響関係への着目を背景に、これまでデザインの理解や方法の前提とされてきた「人間中心」のデザイン観(Human Centered Design)に対し、様々な疑義が聞かれるようになってきました。そこには、モノや人や自然や社会技術の関係をどう捉えるべきかといった、今後のデザインを大きく問い直す観点が見え隠れしています。「複雑な世界に関わるためのデザイン」を手がかりに、今後のデザインのありようを探ります。</p>				
4	10月 15日	異種と共に生きる芸術と思想	所属・役職	秋田公立美術大学アーツ&ルーツ専攻 准教授
			氏名	石倉 敏明
<p>現代の芸術実践は、異なる境遇に生きるもの同士が、互いの異質性や専門性を解消せずに複数の歴史を共有し、共生する「共異体の知恵」を探究しています。この講義ではローカルとグローバルの対立を超えて、新しいエコロジーと芸術を結びつける現代のさまざまな取り組みを紹介し、「良く＝あること(Well-being)」から「良く＝成ること(Well-becoming)」への芸術的転回を考察します。</p>				
5	10月 22日	益子とともに	所属・役職	陶芸家
			氏名	濱田 友緒
<p>民藝運動を牽引したひとり、陶芸家濱田庄司。彼の孫にあたる濱田友緒さんは、庄司が手がけた焼き物を受け継ぐとともに、拠点である益子の町との連携をさまざまに探ってもおられます。その契機となった「濱田庄司登り窯復活プロジェクト」では、地域に住むつくり手や支援者の協力のもと、東日本大震災で倒壊した登り窯を修復し窯焚きを復活させました。「土地のあり方」「人の繋がり」をキーワードに、民藝のこれからをうかがいます。</p>				
6	11月 5日	ずっと働いているようで、ずっと遊んでいるような生き方	所属・役職	編集者 MUESUM 代表
			氏名	多田 智美
<p>編集者の多田智美さんが主宰するMUESUMでは、アートやデザイン、福祉、地域など、さまざまな分野のプロジェクトに携わり、「出来事の生まれる現場からアーカイブまで」をテーマに、書籍やフリーペーパー、WEB、展覧会やプロジェクト、イベントなどの企画・編集を手がけています。「編集とは、夜空に瞬く星をつなぎあわせて星座を名づける仕事」と捉え、すでにある魅力や価値と出会い、それらを紡ぐことで、新たな物語を生み出すことを大切に、日々「編むこと」「伝えること」と向き合い、さまざまなパートナーと協働される中で感じてこられたことをうかがいます。</p>				
7	11月 12日	政治参加と参加型デモクラシー	所属・役職	NO YOUTH NO JAPAN 代表理事
			氏名	能條 桃子
<p>20代の投票率が3割台、圧倒的高齢男性中心の政治、多くの若者が社会を変えられるなんて思えない日本。能條桃子さんは、デンマーク留学をきっかけにこの現状を変えたいと思うようになり、21歳の時に「NO YOUTH NO JAPAN」を立ち上げ、今も模索し続けています。皆さんは投票に行きますか？友達と政治の話をしますか？ここでは、そんな身近な話題からひとときつつ、一緒に政治・社会とわたしたちの距離と関わり方を考えたいと思います。</p>				
8	11月 19日	あらためて手と心の関係について	所属・役職	木工デザイナー
			氏名	三谷 龍二
<p>「インティマシー」とは、自分と大切なものを繋ぐロープのような存在を、掴むことといえます。変化の激しい時代の流れの中で、ともすると見失いかねない、そんなロープを掴むための手がかりを、近年の手仕事の動向から考えていきます。機械生産と手仕事の大きな違いは、直に素材（自然）に触れ、手を動かして物を作ることであり、いわば手と心が直接つながっていること。手が介在するからこそ見いだされる、「小さな気づき」というのがあります。そうして、そのような小さなところから、世界は変わることもある。そうした変化が求められているのが、いまだと思うのです。</p>				

回	日程	テーマ	担当者	
9	11月 26日	親しさの形	所属・役職	画家
			氏名	塩谷歩波
<p>銭湯の内部を描いた「銭湯図解」が話題となり、TBS「情熱大陸」など多くのメディアに取り上げられた塩谷歩波さん。建物施設を実測して、アイソメトリックと呼ばれる建築図法で空間を立体的に描いていく独自の手法について解説いただくとともに、ただ建物内を描くだけでなく、そこにいる人々にもちよとしたストーリーを見出し描きこむそのまなざしについてうかがいます。</p>				
10	12月 3日	素であることの痛み	所属・役職	書家
			氏名	華雪
<p>であることは簡単なことではありません。何より頭はすでに知識でいっぱい、それをどう取っ払うか。たとえば、ジョン・レノンはソロ活動を「裸」の写真で始めました。スティーブ・ジョブズは学生に「馬鹿」になることを求めました。いずれも挑発的・反抗的な態度から自らの原点に立ち返るふるまい。と同時に、それは、纏いつけていた表皮を剥ぎとり、ときにヒリヒリするような、触覚的な皮膚感覚を研ぎ澄ますことでもあります。いとおしさとしてのインティマシーの根っこには、そんな痛みへの感覚があります。慣習化した文字の世界を手がかりに、華雪さんとともに、考えていきます。</p>				
11	12月 10日	DESIGN EAST で目指したこと	所属・役職	デザイナー UMA DESIGN FARM 代表
			氏名	原田 祐馬
<p>2010年、当時30代になったばかりの若者達のはじめたデザインイベント、「DESIGN EAST」。大阪で開催されながら、あえて「EAST」としたのは、世界のデザイン界とのコミュニケーションの場とすることを目的としたからといます。ここから数多くの議論が生まれ、確実に新たな世代が登場していきました。数々の変遷を経て、2025年、クロージングを迎えることになったこのイベントは何だったのか。中心メンバーのひとりである原田祐馬さんにうかがいます。</p>				
12	12月 17日	オープンドialogueの世界	所属・役職	精神科医 など
			氏名	星野 概念
<p>精神科医療の現場を越えて、多くの人々が注目する「オープンドialogue」。その世界を牽引する若手のひとりである星野概念さんから、その意義と可能性をうかがいます。</p>				
13	1月 14日	色から生まれる関係性 ～出会いとこころ	所属・役職	美術作家
			氏名	植田 志保
<p>対話を通して個人の思い出とこれからの意識を映す即興描画や、公共空間で滞在制作など。独自の目線で「色」に注目してきた植田志保さんは、自身の活動を“色のすること”と題されています。その表現活動のお話しを通して、日常をつくらしている景色とはなにか、わたしたちの心へ日々どう降り積もっているのか、一緒に思い巡らせていきます</p>				
14	1月 21日	インティマシーの先へ	所属・役職	東京大学大学院総合文化研究科 教授 / コーディネーター
			氏名	梶谷 真司 / 鞍田 崇
<p>人と人、人と物が「一緒にいる」とはどういうことなのだろうか？ 一緒にいるために、何が必要なのだろうか？ 共感や愛着、相互理解や寛容さが求められることが多いが、だとしたら、共感できない、理解できない、許容できない相手（物）とは、一緒にいられなくなってしまう。哲学とデザインの交差するところから見えてきた「共にいる場」の可能性について考える。それはインティマシーの先を見ることでもある。</p>				
<p>3 履修上の注意</p> <p>これまであたりまえと思い込んでいたことに縛られない柔軟な思考をもって受講してもらえたらうれしいです。</p>				
<p>4 準備学習（予習・復習等）の内容</p> <p>特に前もって準備する必要はありませんが、各回とも講義後半で、ショートディスカッションをしますので、そこでの積極的な参加を期待します。</p>				
<p>5 教科書</p> <p>鞍田崇著『民藝のインティマシー 「いとおしさ」をデザインする』（明治大学出版会、2015）</p>				
<p>6 参考書</p> <p>適宜、授業内で指示します。</p>				
<p>7 課題に対するフィードバックの方法</p> <p>各回の授業内レポートについて、毎回講師と相談して優秀賞をセレクトし、選考理由とあわせて全体講評を共有します。</p>				
<p>8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと</p> <p>授業内レポート60%、平常点40%。 *授業内レポート：各回講師からテーマを出してもらいますので、任意に10件選択して書くこと。最終〆切は7月末日。 *平常点：講師に届けるレポート提出期間は毎回2週間としますので、その期間内の提出頻度を参考に判断します。</p>				
<p>9 その他</p>				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
先端医療概論			理工学部・工藤寛之	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
生田	2	秋学期	水	5
1 授業の概要・到達目標				
iPS細胞や医療ロボットなど、近年の医療技術は飛躍的に発展しており、これまで治療困難とされていた病気に対する治療が可能となってきている。本講座では、医学を専門としない学生に対し、先端的な医療の現状に関する複数のトピックスを、聖マリアンナ医科大学の協力を得て医療現場の最前線で活躍する講師陣がわかりやすく解説し、医工連携をはじめとした医学と理工学・農学との連携の現状を理解する。				
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月 24日	イントロダクション (講座の概要、成績評価方法等の説明)	所属・役職	コーディネーター
			氏名	工藤 寛之
講座の概要、先端医療について学ぶための背景、明治大学における医工連携の現状などについて解説する。また各回の授業の進め方、成績評価について説明する。				
2	10月 1日	出生前診断・周産期医学 ～超音波断層法による臨床診断から基礎的研究まで～	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 周産期発生病態解明学分野 大学院教授
			氏名	長谷川 潤一
妊娠・分娩に関わる産科医療において超音波検査はなくてはならないものである。昨今の、一般的な出生前診断の臨床的手法から、これらの機器を用いた発生や病態を明らかにする研究まで解説する。				
3	10月 8日	医療におけるAI・ICT	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 大学院医学研究科 医療情報処理技術応用研究分野 大学院教授
			氏名	小林 泰之
将来、医師が人工知能を活用して診断・治療方針の決定を行う時代が来ることは間違いなく、医学・医療は飛躍的に進歩するとともに、医師が時間的・精神的余裕を獲得することにより医療の原点“人を癒す”に立ち返ることができる。人工知能が医療を変革することによる最大の勝者が患者さんであることは間違いなく。				
4	10月 15日	小児けいれん性疾患における臨床神経生理学的検査と臨床の実際	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 小児科学 教授
			氏名	宮本 雄策
小児期（特に1歳から3歳）は最もけいれんを起こしやすい時期であり、5-10%で何らかのけいれんを経験する。けいれんは大脳皮質の神経細胞の過剰発射（興奮）に由来する筋の不随意収縮であり、けいれんの既往を持つ小児に対しては、脳波をはじめとした臨床神経生理学的検査が行われることが多い。小児けいれん性疾患に対する臨床神経生理学的検査について解説し、臨床の実際についても紹介する。				
5	10月 22日	造血器腫瘍の治療	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科学 主任教授
			氏名	新井 文子
医学の進歩により、不治の病といわれていた造血器腫瘍、白血病、リンパ腫の患者の多くが「寛解」を得ることができるようになった。本講義では、従来の抗がん剤から最先端の分子標的薬まで、造血器腫瘍の治療について広く学ぶ。				
6	11月 5日	早期診断・早期治療のために ー遺伝性疾患の拾い上げ検査ー	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 臨床検査医学 教授
			氏名	右田 王介
先天性遺伝性の疾患を診断をすることは適切な医療の提供に必要である。近年の治療や対応が可能となった様々な疾患に対する早期診断を目指したハイリスク・スクリーニング、新生児スクリーニングなどによる積極的な拾い上げ検査の実際を紹介する。このような検査がもたらす倫理社会的な問題とともに、今後の動向について概説する。				
7	11月 12日	反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)が切り拓く脳機能障害治療の未来	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 リハビリテーション医学 主任教授
			氏名	佐々木 信幸
かつては脳は可塑性のない器官とされていたが、近年それが否定され、より積極的に脳機能を改善させるニューロリハビリテーションという分野が発展している。その中心の一つであるrTMSは、大脳皮質局所を外的に調整することにより様々な脳機能障害を改善させる新たな治療的技術である。脳卒中麻痺や高次脳機能障害、そしてコロナ後遺症におけるBrain fogまで、これまでの常識では考えられない発展性の高い次世代の治療技術を紹介する。				
8	11月 19日	腸内細菌叢メタゲノミクスの臨床応用について	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 免疫学・病害動物学 特任教授
			氏名	清水 潤
腸内細菌叢メタゲノミクスは、菌ゲノムを次世代シーケンサーで網羅的に探索し、その種類・機能を明らかにする研究分野である。腸内細菌叢が生体に多大な影響を及ぼしていることを明らかにしつつある。最新の研究結果と、検討中の臨床応用方法を紹介する。				

回	日程	テーマ	担当者	
9	11月 26日	光刺激の感受・細胞応答機構の解明と、骨折・骨粗鬆症治療機器への応用	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 難治性疾患病態制御学 大学院教授
			氏名	遊道 和雄
非薬物・低侵襲的アプローチとして、光刺激に対する細胞応答に注目し、特定条件の光照射によって細胞内光応答蛋白の活性を修飾し、疾患患部の細胞活性を制御して治療に結びつける非薬物・低侵襲的な次世代光治療技術の研究開発を紹介する。				
10	12月 3日	生体イメージング技術を用いた病態解明への挑戦 -生命現象を可視化しその謎に迫る-	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 免疫学・病害動物学 主任教授
			氏名	宮部 斉重
免疫細胞の遊走は体内へ侵入した病原体を駆除するために重要な生体防御機構である。しかし、免疫細胞が組織へ異常遊走すれば、自己免疫疾患などが惹起される。従来の形態学的手法では細胞の動きを捉えることが不可能であり、免疫細胞の異常遊走による疾患誘導メカニズムは不明であった。近年、リアルタイムに細胞動態を解析することが可能な生体イメージング技術の発達により、生命現象を可視化することが可能になった。本講義では生体イメージングの紹介ならびに本技術を用いた将来の基礎医学研究に関する展望について紹介したい。				
11	12月 10日	乳癌診療の進歩と実際	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科学 主任教授
			氏名	津川 浩一郎
乳癌は日本人女性で最も罹患率の高いがん種である。手術、放射線治療、薬物療法など治療法が進歩し、さらにバイオマーカー、遺伝子検査などによる個別化医療も発展しつつある。最新のトピックスから、その進歩と実際について概説する。				
12	12月 17日	ゲノム情報に基づくがんの診断・治療：基礎から最先端まで	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 バイオインフォマティクス学 大学院教授
			氏名	山本 博幸
日本国民の2人に1人が、がんに罹患し、3人に1人が、がんで死亡する。一方で、がんや個人のゲノム情報に基づく個別化医療の時代を迎えつつある。ゲノム解析の基礎から、バイオメディカルインフォマティクスを用いた最先端解析まで、がんの6割を占める消化器がんを中心に概説し、診断・治療・予防への実用例を紹介する。				
13	1月 14日	アンチ・ドーピング	所属・役職	聖マリアンナ医科大学 スポーツ医学 主任教授
			氏名	藤谷 博人
近年、スポーツ界におけるドーピングの問題は社会的にも注目されている。本講義では、ドーピングの定義、検査様式、禁止薬物、禁止方法、そしてアンチ・ドーピング活動の最新の情報を交え解説する。				
14	1月 21日	総括	所属・役職	コーディネーター
			氏名	工藤 寛之
3 履修上の注意				
履修前提科目などは無い。初心者でもわかりやすい講義内容である。講義中には術中写真やビデオ等の視聴も含む。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
特に定めない				
5 教科書				
特に定めない				
6 参考書				
特に定めない				
7 課題に対するフィードバックの方法				
個別に対応する。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
平常点を50点満点、レポートの課題を50点満点として評価を行い、60点以上の者を合格とする。				
9 その他				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
データサイエンスAI概論 [メディア授業]			理工学部・崎濱栄治	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
なし（オンデマンド配信）	2	秋学期	-	-
1 授業の概要・到達目標				
<p>現代は複雑なデータが高度に大量に流通する時代を迎えている。そのなかで、日常生活のなかの様々な分野でデータサイエンスや人工知能がカギを握ると言われている。本講座では、これらデータサイエンスや人工知能についてリテラシーレベルで最新知見を得ることを目標とする。また、そのうえで重要となる、人工知能に関する倫理・法整備、情報セキュリティなどの諸問題についての基本的な知識を得ることを目標とする。</p> <p>関係する分野について、大学の専門家、企業の実務家に講演を依頼し、オムニバス形式の講座とする。</p>				
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月26日	イントロダクション (講座の概要、成績評価方法等の説明) 身近なデータサイエンス	所属・役職	理工学部 特任講師
			氏名	崎濱栄治
<p>イントロダクションとして講義の全体概要について触れます。皆さんが日常的に利用しているスマートフォンを例に取り上げ、データサイエンスAIが生活の一部として組み込まれていることを感じてもらいます。検索行動、ECサイトでの購買行動、SNSなど身近な事例を通してデジタルマーケティングを軸としてデータサイエンスAIがどのように活用されているか考えていきます。</p>				
2	10月3日	デジタルマーケティングの基本	所属・役職	株式会社CRAFT 代表取締役
			氏名	辻井良太
<p>Instagram、X(旧Twitter)、LINE、Facebook、TikTokといったSNSにおける広告やインターネットにおける広告は日常生活の一部になっています。また、これらの広告はユーザーの行動を分析し適切かつ効果的な配信を可能にするため、データサイエンス・AI技術は欠かせません。本講義では、普段、ユーザーとして目にするこれら広告を、広告主の観点から改めて見直し、デジタルマーケティングの基本的な考え方を身に着けます。</p>				
3	10月10日	自動運転と法律・倫理	所属・役職	多摩大学経営情報学部 専任講師、名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 客員准教授
			氏名	樋笠堯士
<p>自動運転の世界では、ついに2023年4月から、「レベル4」の無人運転が開始されました。事故時に誰が責任を取るかということも問題ですが、システムであるAIが、二者択一のようなジレンマ状況に陥った際にいかなる挙動をとるのか、AIが人命を選択するようになります。AIを使った分野のなかで、もっとも身近で生命に関わる自動運転の世界で、どのような規制がなされるか、どのような問題があるのか、国際状況や日本の現状を学びながら、法的・倫理的な社会的課題である「トロロク問題」の現実的な着地点を模索する講義です。自動運転のような人工知能の倫理問題を扱うため、我々人間の思考や文化、法律に立ち戻り、どこまでの意思決定が許されるのかを考え、権利や責任についての思考を養います。</p>				
4	10月17日	AI活用とELSI	所属・役職	信州大学医学部公正研究推進講座助教、一般財団法人公正研究推進協会客員研究員
			氏名	樋笠知恵
<p>2000年代に始まった第3次AIブームにおけるAI技術の目覚ましい革新により、AIは「人間」の知的活動を含む作業の多くを代替できるようになり、AIは多くの人々にとって身近なものとなった。他方、教育・研究、ビジネスなどの幅広い分野でAIが活用される中、それと関連する様々なELSI（倫理的課題（Ethical Issues）、法的課題（Legal Issues）、社会的課題（Social Issues））が指摘されていることも事実である。</p> <p>本講義では、AIを利用する者が避けて通れないELSI、例えば、プライバシー権侵害、差別、著作権侵害、誤りの混入リスクが、AIを利用する人々が直面する具体的な問題であることを認識し、AIを利用する際の留意点を学ぶ。</p>				
5	10月24日	経済学による意思決定データのデータサイエンス	所属・役職	株式会社サイバーエージェント、主席データサイエンティスト
			氏名	安井翔太
<p>世の中のDX化が推進されたことにより、ビジネスや行政など、社会の様々な場所においてデータが蓄積されるようになり、データサイエンスの重要性が高まってきました。しかし、人間の意思決定に関連したデータは、従来のデータサイエンスの想定している仮定を満たすことはほとんどありません。経済学は人間の意思決定を対象とした分野であり、このような意思決定に関連したデータを扱う上での方法論や注意点を整理してきました。本講義では、意思決定に関連するデータを取り扱う難しさやその方法に加え、計算機科学などの分野で発展してきた機械学習との技術的な融合に関して紹介します。</p>				
6	11月7日	中央省庁におけるデータサイエンティスト～データを作る、データを使う	所属・役職	財務省財務総合政策研究所 研究官
			氏名	吉元宇楽
<p>近年、政策の中でデータや分析結果を活用するEBPM（エビデンスに基づく政策決定）が盛んに取りざたされています。官公庁におけるEBPMはデータや分析を利用するだけでなく、データを作るところから始まります。その最たるものがGDPです。一方で、それらのデータや指標を作り、その結果を分析し、解釈することは容易ではありません。本講義では、GDPにも使われている統計データ「法人企業統計」の集計を所管する財務総研に勤める研究官が世の中でも目にする事が多く、自らも活用できる「政府のデータ」について、その作られ方から活用方法まで紹介します。</p>				
7	11月14日	自動車メーカーにおけるデータサイエンスの活用事例	所属・役職	株式会社スバル IT戦略本部 デジタルイノベーション推進部
			氏名	小川秀樹
<p>自動車業界は100年に1度の変革期と言われております。代表的な変化として①ガソリン車（内燃機関）からEVへのシフト②コネクティッドデバイスへの変化の二つがあります。この講義では、日本の基幹産業である自動車製造業におけるデータ活用の取り組みについて実例を踏まえ、ビジネス視点で考察することにより、これからの日本を背負う皆様にデータサイエンスが、日本が世界と戦う力になることをお伝えさせていただきます。</p>				
8	11月21日	自動車・モビリティの未来とデータサイエンス	所属・役職	カリフォルニア大学バークレー校ハース経営大学院ハース・エグゼクティブ・フェロー 株式会社K&Aソリューションズ代表取締役
			氏名	桑島浩彰
<p>世界のモビリティ産業ではいま、データサイエンスを活用した、最終ユーザーの価値を高めるためのサービス開発と基盤整備が、猛烈な勢いで進められています。この講義では、世界各国の自動車メーカーや自動車部品メーカー、また半導体やセンサーメーカーによる、データサイエンスを活用したモビリティサービスのケーススタディおよび基盤整備の状況を概観した上で、モビリティ産業の将来について議論します。</p>				

回	日程	テーマ	担当者	
9	11月28日	データサイエンスの社会実装	所属・役職	日本電気株式会社 サポートサービス事業部門長
			氏名	山中豊
データサイエンス・AI技術の社会実装されることで、一般消費者の生活がより便利・豊かになることが期待されている。日本電気における取り組み事例を通して、現在・未来におけるデータサイエンス・AI技術の活用方法を考える。				
10	12月5日	エンターテインメントとデータサイエンス	所属・役職	関西大学総合情報学部准教授
			氏名	山西良典
音楽制作で活用されるボーカロイド、コミックにおけるキャラクターデザインを題材としてエンターテインメント分野におけるAI研究の最前線について理解を深める。情報処理とエンタメの概説(UMLでの情報整理、ペイズでの可視化、NLPでの分析)を目指す。				
11	12月12日	データと知識の民主化のために欠かせないデータリテラシー	所属・役職	Exploratory, inc. CEO
			氏名	西田勘一郎
データサイエンスとビッグデータが可能にするのは知識の民主化だ。これは教科書やメディアなどから得られる知識ではない。答えが明らかでない時、自らが探索し、真実に迫っていくことで得られる知識だ。コロナ、気候変動、国際情勢、これからやってくるであろうリセッションなど、どれも私達の毎日の生活に密接に関わることだが、様々な情報が飛び交い、明らかな答えがない。しかしそんなとき、自分の仮説を立て、自らデータを集め、分析することで自分自身の新しい知識を導き出すことができる。そのためには、データから知見を導き出すための能力であるデータリテラシーが必要となる。この講義では受講者のデータリテラシーを上げるために、具体的な例を元に解説、実演する。				
12	12月19日	身近なデータサイエンス	所属・役職	理工学部 特任講師
			氏名	崎濱栄治 (コーディネーター)
みなさんの学生生活に関連する題材をテーマに、さまざまな角度から可視化、解釈を実際に行います。興味・関心をもってもらえるよう、テーマはできるかぎり新しいものを選択します。				
13	1月9日	サイバーセキュリティ分野におけるAI活用技術	所属・役職	サイバーリゾーン合同会社 グローバルSOC APAC SOCマネージャー
			氏名	渡邊弘実
昨今のサイバー攻撃は高度化・巧妙化が進んでいます。従来のセキュリティ対策は、パターンマッチングを行なってマルウェア感染や不正通信を検知してきましたが、このようなパターンマッチングの対策では、攻撃パターンを少し変えただけで、検知をすり抜けてしまいます。そこでAIを使った次世代型のセキュリティ対策が注目を集めています。AIを使った検知ロジックでは、類似度計測によってマルウェアの亜種を検知したり、異常検知ロジックによりゼロデイ攻撃を発見するなどの事例を紹介します。				
14	1月16日	ESGにおけるデータ活用 総括	所属・役職	フューチャ・ジャパン・アセッド・マネージメント シニアヴァイスプレジデント お茶の水女子大学ジェンダー・ダイバーシティ・研究部・研究員
			氏名	福田智美
現在のESGを取り巻く社会的背景について理解の促進を図ります。ESG、SDGs、サステナビリティ経営などの言葉を最近では多く耳にするとします。日本企業がどのようなESG経営を行い、機関投資家はどのようにそれら进行评估しているのか？企業が行う情報開示を中心に「計量テキスト分析」等の手法を用いたデータを活用し読み解くことで、「企業価値向上に資するESG経営」を考えるヒントを探ります。				
3 履修上の注意				
オンデマンド配信による授業なので、オンラインで受講できる環境を確保すること。 小テストは期限内に必ず終えること。				
4 準備学習 (予習・復習等) の内容				
シラバスで提示された話題について、自分なりに調査してみることを強く勧める				
5 教科書				
特に定めない				
6 参考書				
特に定めない				
7 課題に対するフィードバックの方法				
各回の感想や質問について授業内で取り上げる場合がある。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
毎回の講義のあとに小テストを実施する。 また、意見・感想の提出を求める。				
9 その他				
授業実施日の12時頃に教材等を配信予定				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
明治大学の歴史 I			松下浩幸	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
生田	2	春学期	金	4
1 授業の概要・到達目標				
<p>明治大学は1881(明治14)年に、明治法律学校として創立され、140年をこえる歴史をもっている。明治大学は、どういう人たちによってどのような理念のもとで創立され、どのように継承されてきたのか、また、どのように現在の「個を強くする大学」の理念にいたっているのか。そして、その間にどのような人材を生み出してきたのか。本講座では、明治大学の歴史を近代日本の歩みのなかで検証すると同時に、明治大学が培ってきた特色を考えていく。将来、社会人となる学生が、本講義をうけることによって、自分にふさわしい社会的な活躍の場がどこにあるか考えるきっかけになってほしい。本講座では、講義ごとに異なる視点から、明治大学の歴史を考える。明治大学をより深く理解することにより、その知的・人的等さまざまな「資源」を活用し、学生生活や卒業後の社会生活をより豊かにすることを目標とする。</p>				
2 授業内容(日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月11日	【対面授業】イントロダクション	所属・役職	農学部教授
			氏名	松下浩幸
講座の概要、成績評価方法等について説明する。				
2	4月18日	【メディア授業】阿久悠と阿久悠記念館	所属・役職	政治経済学部教授
			氏名	富澤成實
明治大学卒業生で作詞家・作家として顕著な業績を遺した阿久悠氏について講義する。				
3	4月25日	【メディア授業】専門部女子部と三淵嘉子	所属・役職	法学部教授
			氏名	村上一博
2024年前期連続テレビ小説「虎に翼」の主人公のモデルとなった三淵嘉子をはじめ、明治大学女子部・法学部出身の女性法曹や、明治大学が女性法曹養成機関のパイオニアとなった点について講義する。				
4	5月9日	【メディア授業】映画界と校友たち	所属・役職	農学部教授
			氏名	松下浩幸
映画界で活躍した(または現在活躍する)明治大学の卒業生を監督・俳優を中心に紹介し、その業績を考察する。				
5	5月16日	【メディア授業】明治大学平和教育登戸研究所資料館	所属・役職	文学部教授
			氏名	山田朗
生田キャンパスはかつて陸軍登戸研究所の敷地であった。研究所と資料館に関する基礎的な事項を講義する。				
6	5月23日	【メディア授業】明治大学の歴史・学部の歴史(明治・大正・昭和戦前)	所属・役職	法学部教授
			氏名	村上一博
明治・大正・昭和戦前期までの明治大学と学部の歴史について講義する。あわせて明治大学の建学理念について講義する。				
7	5月30日	【メディア授業】明治大学の歴史・学部の歴史(昭和戦後・平成・令和)	所属・役職	博物館事務室職員
			氏名	古俣達郎
昭和戦後から今日に至るまでの明治大学と学部の歴史について講義する。				
8	6月6日	【メディア授業】明治大学の創立者	所属・役職	文学部教授
			氏名	野尻泰弘
明治大学の3人の創立者たちの生涯や業績について講義する。				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月13日	【メディア授業】明治大学校歌	所属・役職	博物館事務室職員
			氏名	阿部裕樹
1920年に制定された校歌の歴史について講義する。				
10	6月20日	【メディア授業】キャンパスライフ	所属・役職	博物館事務室職員
			氏名	古俣達郎
学生たちの姿や視点から、明治大学の歴史について講義する。				
11	6月27日	【メディア授業】留学生とグローバル化（1）	所属・役職	文学部教授
			氏名	高田幸男
1回目は台湾からの留学生を中心に講義する。あわせて、今日の国際化の問題について講義する。				
12	7月4日	【メディア授業】留学生とグローバル化（2）	所属・役職	商学部教授
			氏名	三田剛史
2回目は韓国からの留学生を中心に講義する。				
13	7月11日	【メディア授業】留学生とグローバル化（3）	所属・役職	商学部教授
			氏名	三田剛史
3回目は中国からの留学生を中心に講義する。				
14	7月18日	【対面授業】総括	所属・役職	農学部教授
			氏名	松下浩幸
本講座の意義を総括する。				
3 履修上の注意				
本講義は、1・14回目を除いて、メディア授業として実施する。各講義は指定する時間内に視聴するとともに、指定する時間内で小レポートを提出すること。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
教科書を読んでおくこと				
5 教科書				
明治大学史資料センター編『明治大学の歴史』DTP出版、2017年				
6 参考書				
図書館で閲覧できる参考書として、明治大学史資料センター編『白雲なびく遥かなる明大山脈 アジア編Ⅱ』（DTP出版、2024年）、同編『同 法曹編Ⅱ』（DTP出版、2023年）、同編『同 アジア編Ⅰ』（DTP出版、2023年）、同編『同 法曹編Ⅰ』（DTP出版、2022年）、同編『私学の誕生—明治大学の三人の創立者』（創英社／三省堂書店、2015年）、『明治大学百年史』全4巻（明治大学、1986～1994年）がある。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
Oh-o!Meijiを利用して回答・発信する。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
毎回のレポートで評価する。				
9 その他				
この講座は、明治大学について学ぶ絶好の機会であるから、多くの学生が受講し、自分自身が明治大学で学ぶ意義について考えてくれることを願っている。あわせて駿河台キャンパスでの開講となるが「明治大学の歴史Ⅱ」を受講することが望ましい。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
労働講座企画委員会寄付講座「職場のリアルから働き方を考える講座」			経営学部・早川佐知子	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	秋学期	木曜	3限
1 授業の概要・到達目標				
<p>本授業は4構成で展開する。第一に「これまでの人事労務管理の意義や役割」を議論する。そして新しい働き方や労働環境の多様化を把握するために、第二に「職場改革（マイノリティーの人々の働き方）」、第三に「働き口の多様化（仕事に求める目的意識の変化、やりがいの変化）」、第四に「仕事の社会的役割・意義の変化（エッセンシャル・ワーク）」について議論する。これまでの日本企業の人事労務管理の意義を理解しながら、他方で従来の働き方の限界、制度疲労を把握する。そして新たな働き方の出現、働くことに関する意識の変化、多様化等について議論する。こうした目的のために、現場で働く実務家の方々が講義し、実際の社会（組織）で起きている現象（課題）について取り上げる。受講生それぞれが、これまで得てきた専門分野に関する知識を活かして、これらを活用する能力及びより実践的な知識・技能を身に付けることを到達目標とする。</p>				
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月25日	イントロダクション	所属・役職 氏名	経営学部・准教授 早川佐知子
<p>イントロダクションでは、講座全体の概要を紹介し、講義の進め方と履修上の注意点、成績評価等について説明する。次に、日本の労働の現場で今何が起きているのか、どのような変化が起きているのかなど、現在の日本の労働市場について紹介する。また、必要に応じてグループワークを行う可能性がある。</p>				
2	10月 2日	「OB・OGの働く現場」	所属・役職 氏名	連合東京中央南部ブロック地域協議会事務局 吉松龍一
<p>組合員から労働相談を受けている労働組合の専門家から、働き方や職場で遭遇した問題について紹介、講義を行う。特に近年、問題になっている長時間労働や仕事と育児の両立について学ぶ。</p>				
3	10月 9日	「人事労務管理の現場～人事部マネージャーが語る職場のリアル」	所属・役職 氏名	運輸業界人事総務部マネージャー 神谷篤史
<p>現役の人事部マネージャーをゲストに迎え、職場のリアルについてお話しいただく。日本企業で働くとはどのようなことなのか。人事部は就活生のどこをみて採用を決めているのか。入社後のキャリアはどのように定めているのか。社員のどこをみて賃金や昇進を決めているのだろうか。これらについて紹介・解説しながら、日本企業の雇用慣行についてリアルな姿を学ぶ。</p>				
4	10月 16日	「賃金交渉」のイオンリテール労組	所属・役職 氏名	イオンリテールワーカーズユニオン中央執行政策 中川紀子
<p>イオングループ主要労組のイオンリテールワーカーズユニオンは、23年の春闘（賃上げ交渉）において、正社員組合員の平均賃金1万5,061円（5.03%）増、短時間組合員であるパートタイム労働者の時給71.9円（7.0%）増という大幅な賃上げを達成し、業界全体に大きなインパクトを与えた。このような賃上げは、なぜ、どのようにして実現したのであるか？労働組合の賃金交渉を中心テーマとしながら、労働組合の活動について学ぶ。</p>				
5	10月 23日	「中小企業で働くということ」	所属・役職 氏名	JAM副書記長 川野英樹
<p>職場における長時間労働やさまざまな問題の解決に向けた労働組合の活動について紹介する。企業別・産業別に組織された労働組合は、解決への大きな役割を担っている。産業別労働組合「JAM」には、機械・金属産業を中心に大企業や中小企業で働く労働者35万人が結集する。同組合で長年にわたり活動してきた講師が、働く現場で蔓延する長時間労働の解決事例について具体的に紹介する。</p>				
6	11月 6日	「マイノリティの人々：LGBTQ」	所属・役職 氏名	プレカリアートユニオン委員長 清水直子
<p>プレカリアートユニオンは2015年からLGBTQ労働相談に対応してきた。「SOGIハラ」による休職を余儀なくされた労働者の復職を実現し、労災申請のサポートを行って「SOGIハラ」による労災認定をかちとり、「アウトティング」問題を当事者ととも解決してきた。また、「労働相談応援ライブ」を開催し、その様子をユーチューブで流すことで社会的普及に努めている。こうした事例等について紹介する。</p>				
7	11月 13日	「マイノリティの人々：外国人労働者」	所属・役職 氏名	NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク事務局次長 安藤真起子
<p>外国人が働きながら技術を学ぶ「技能実習制度」は、外国人労働者の受入れ拡大を行ってきた。しかし2023年に公表された政府の有識者会議の報告書では、長時間労働や賃金の未払いなどのトラブルのほか、職場での暴力といった人権侵害の訴えが絶えないとの実態を明らかにしている。長年にわたりこの問題に取り組んできた講師が、外国人労働者に関する最新の实態について紹介する。</p>				
8	11月 20日	ワークショップ・ディスカッション	所属・役職 氏名	沖縄大学・専任教授 石川公彦
<p>前半（第2回から第7回）の講義内容をもとにテーマを設定し、いくつかのグループに分かれることを想定しワークショップ・ディスカッションを行う。各受講生がこれまで習得してきた専門知識を活かしながら、ワークショップ・ディスカッションを通じて、労働の現場での課題の把握とそれに対する課題解決を検討し、実践的な知識・技能を身に付けることを目指す。</p>				

回	日程	テーマ	担当者	
9	11月 27日	「多様な働き方：フリーランス」	所属・役職	早稲田リーガルコモンズ 法律事務所/弁護士
			氏名	川上資人
クラウドワークやフリーランスなど雇用によらない働き方について取り上げる。世界ではライドシェアやシェアリング・エコノミーが拡大し、その代表的な企業としてウーバーやリフトなどが有名である。自分らしく自由で、育児や介護と両立する働き方というイメージが先行するなか、労働の現場から浮上する労働災害などの問題と使用者責任について考える。				
10	12月 4日	「社会問題に取り組む働き方 (NPO/NGO)」	所属・役職	NPO団体はたらくしろくま代表
			氏名	青木久美子
香川県を拠点として活動するNPO団体「はたらくしろくま」は、「はたらく」ことに焦点を合わせながら、個人・企業・地域がともに豊かになる社会を目指して、講演会や各種ワークショップ、読書と対話の会、さまざまな支援活動を展開している。そのユニークな活動をご紹介いただきながら、社会問題に取り組む働き方について考える。				
11	12月 11日	「エッセンシャルワーク～児童福祉の現場から子ども支援を考える」	所属・役職	熊本市児童相談所
			氏名	吉弘恵莉子
児童虐待の報道をたびたび目にする現在である。今回は、熊本市の児童養護施設で働く職員より、現状と課題を紹介する。				
12	12月 18日	「エッセンシャルワーク～消防職員の活動と地方自治体の責任」	所属・役職	函館市北消防署指揮係
			氏名	藤木亜純
消防職員は24時間勤務で働いている。火災・救急・救助の現場活動はもちろん、地震、風水害等の自然災害にも対応している。訓練も危険と隣合わせの仕事であり、装備や設備が十分でなければ、職員の安全さえも危うくなる。また、チームワークで業務にあたることから、職場の雰囲気づくりも大切であり、職員が団結し、現場の声を行政に反映させる必要があるが、日本の消防職員には労働組合権がすべて認められていない。その現状を打開するために設立された全国消防職員協議会の役割と、消防職の特性から労働組合の必要性を考察する。				
13	1月 8日	「エッセンシャルワーク：水害から地域住民の命を守る」	所属・役職	自治労本部公営企業局長
			氏名	福永 浩二
近年、地震や台風、豪雨などの大規模災害が増加している。災害が発生すると人々の生活に大きな支障をきたすが、特に、水道・下水道などのライフラインは、生命や健康を守ることにつながるため、早期に日常生活を再開できるように行政機関は平時から施設の耐震化などの災害対策を行っている。安心・安全・安定をめざす水道・下水道事業の取り組みとそこで働く労働者の取り組みを紹介し、公共サービスのあり方について考察する。				
14	1月 15日	ワークショップ・ディスカッション	所属・役職	沖縄大学・専任教授/明治大学経営学部・専任准教授
			氏名	石川公彦/早川佐知子
後半（第8回から第13回）の講義内容をもとにテーマを設定し、いくつかのグループに分かれることを想定しワークショップ・ディスカッションを行う。各受講生がこれまで習得してきた専門知識を活かしながら、ワークショップ・ディスカッションを通じて、労働の現場での課題の把握とそれに対する課題解決を検討し、実践的な知識・技能を身に付けることを目指す。				
3 履修上の注意				
本授業では、グループ・ワーク、グループ・ディスカッションを行います。そのため、授業に出席の上、質問や議論に積極的に参加すること。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
毎回の講義テーマに関する新聞記事や経済雑誌等で、現状を事前に把握すること。また、授業後は、働く環境や職場の問題点など各講義のポイントについて整理すること。				
5 教科書				
教科書は特に使用しません。ただし、毎講義ごとにレジュメ・各資料等を配布します。				
6 参考書				
特に使用しません。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
フィードバックは、必要に応じて次週以降の授業内で全体に対して行います。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
リアクションペーパー（56点＝各4点×14回）および学期末レポート（44点）によって成績評価します。				
9 その他				
ワークショップ・ディスカッションの円滑な運営のために、履修者を100名以内とする（抽選方式）。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書（シラバス）

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
変化する社会のコミュニケーションを考える ～広告と言葉の役割～			経営学部・戸村佳代	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	秋学期	金	2限
1 授業の概要・到達目標				
<p>建築デザインの会社が、農業や教育の分野に手を広げ、地域社会全体を作り変えようとしている。広告会社のマーケティングが、零細企業の細部に入り込み、ヒット製品を作り出す仕組みをつくっている。事業の多角化、DX化が急速に進む中、これまでの枠組みでは考えられない分野に進む企業が増えている。インターネットサービスのハイブリッド化は生き馬の目を抜く勢いである。この変化の中で、課題となるのがコミュニケーションだ。専門分野が異なり、背負う文化、価値観も違う人々とのように言葉を交わし、情報の受発信をしていくか。いかなる産業であれ、最後に問われるのはコミュニケーションの品質である。</p> <p>本講座は、広告、広報のプロフェッショナル、事業領域を拡大する建築デザイナー他、多岐にわたる領域の専門家が、今まさに動いている「現場」から社会を洞察し、日頃取り組んでいるコミュニケーションの向上について語る。領域は広く、国家の広報戦略から中小企業や農業、子ども教育の現場まで。様々な場面で、何を、どのように語り、どのような成果を生み出しているかを講義し、学生の日常に必要な基礎的なコミュニケーション力を上げる方法を考える。広告やマーケティングに関心を持つ学生のみならず、言葉に関心を持つ学生、社会でのコミュニケーションの実態を知りたい学生に、ぜひ受講してもらいたい。</p> <p>日々の「話す」「聞く」「書く」能力の向上に加え、商品開発や地域を開発するためのコミュニケーション能力を身につけるとともに、新しい世の中の仕組みや仕事のあり方を見て、社会を洞察する目を養うことを目標とする。</p>				
2 授業内容（日程・テーマ・担当者）				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月26日	イントロダクション	所属・役職	コーディネーター
			氏名	戸村 佳代
講座の概要、成績評価方法等の説明				
2	10月3日	私たちのコミュニケーションはどこにいるのか	所属・役職	(株) SmileWords スピーチライター
			氏名	藁田吉昭
印刷会社が、食品産業に乗り出す。通信会社が、金融、コンビニ業界に力を入れる。IT化、グローバル化が進む中、既存の枠を超え、重層的に産業の領域が広がっています。このような環境下で、専門領域、ネットリテラシー、世代格差などにコミュニケーションの違いが、大きな課題になっています。本講義は、学生には、把握しにくい現在企業や行政が抱えるコミュニケーションの課題を説明。同時に、皆さんの将来ビジョンに役立つ情報を提供します。スピーチライターが行う講義ですので、誰にも理解しやすい平易な言葉を使って語ります。皆さんも積極的に発言してください。				
3	10月10日	言葉を受発信するチカラ	所属・役職	(株) SmileWords スピーチライター
			氏名	藁田吉昭
前回の講義を受けて、具体的に情報を受発信する力を養います。ネットがコミュニケーションの中心になった今、チャットで仕事が進行する機会が増えました。効率は上がるように見えますが、実際は、世代や価値観によって短い言葉の解釈にズレが生じトラブルが続発しています。また、リモートワークが増えたため、リアルな場での会議、商談、プレゼンが劣化。生成AIの弊害も見え出し、コミュニケーションが混沌としてきています。こうした中で、的確に情報を受発信する方法を講義します。既存の枠組みが崩れ、あらゆる専門分野、階層の人々が参入してくる時代に負けないコミュニケーションスキルを学びましょう。				
4	10月17日	見えない本音をつかむインサイト思考 ～顧客起点でコミュニケーションを考える スキルを学ぶ～	所属・役職	(株) 電通 戦略プランナー
			氏名	阿佐見綾香
この授業では、広告やマーケティングの現場で重要視される「インサイト」をテーマに学びます。「インサイト」とは、「人を動かす隠れたホンネ」を指し、データの表層だけでなく、顧客の隠れたホンネを捉えて活用することで、突破口となるアイデアを生み出せます。講義では、自分の感覚が捉えた違和感を掘り下げて言語化してインサイトに変え、それを起点に新しいコミュニケーションやアイデアを生み出す「インサイト思考」を、実際の事例やフレームワークを用いて解説します。				
5	10月24日	建築設計の対話型コミュニケーション	所属・役職	(株) 類設計室経営統括部 経営戦略課 課長
			氏名	山根教彦
建築設計は未来を設計する仕事です。関わる人々の「いま」から「未来」への想いを可視化してコミュニケーションを深め、今まだないものを形にします。そして顧客や地域の人々と「共に創る設計プロセス」によって愛され続ける施設づくりを行ってきました。中央区本の森ちゅうおうをはじめとする図書館や、学校、企業のオフィスなどの実践事例を通じて、問いの設計や場づくりといった「対話型コミュニケーション設計の手法」をお伝えします。これは建築設計の現場だけでなく、商品企画のプロセスや教育現場の活性化などあらゆる場面でも活かせる手法です。				
6	11月7日	専門性×専門性が生み出す力	所属・役職	(株) 類設計室経営統括部 経営戦略課 課長
			氏名	山根教彦
建築設計は未来を設計する仕事です。関わる人々の「いま」から「未来」への想いを可視化してコミュニケーションを深め、今まだないものを形にします。そして顧客や地域の人々と「共に創る設計プロセス」によって愛され続ける施設づくりを行ってきました。中央区本の森ちゅうおうをはじめとする図書館や、学校、企業のオフィスなどの実践事例を通じて、問いの設計や場づくりといった「対話型コミュニケーション設計の手法」をお伝えします。これは建築設計の現場だけでなく、商品企画のプロセスや教育現場の活性化などあらゆる場面でも活かせる手法です。				

回	日程	テーマ	担当者	
7	11月14日	ファシリテーション	所属・役職 氏名	(株)博報堂コンサルティング プロジェクトマネージャー 岡田庄生
「アイデア」は、チームでの議論から生まれる。議論を円滑に進めるには、ファシリテーションと呼ばれるスキルが必要だ。この講義では、チームのコミュニケーションを活性化する方法について学ぶ。特に、ファシリテーションにおいて重要なスキルである「質問」について取り上げ、参加者のやる気と知識を引き出す言葉について考える。				
8	11月21日	スタートアップ流「MVP」コミュニケーション設計論	所属・役職 氏名	(株)令和トラベル 機械学習/生成AIチーム リーダー 宮田 大督
本講座では、急速に変化するデジタル社会における効果的なコミュニケーションの設計と実践について、インターネット業界で長年プロダクトマネージャーとしてサービス企画・開発を行ってきた講師が、最新の知見と実務のアプローチを共有します。特に、スタートアップ企業で用いられるMVP (Minimum Viable Product) の考え方を中心に、様々な業界で応用がきく情報設計手法を紹介します。				
9	11月28日	広報の言葉	所属・役職 氏名	(株)博報堂 顧問 立谷光太郎
広告やいわゆるピーアール（PR）といわれている宣伝PRと広報は違います。その違いについて、言葉に対する考え方や視点、言葉だけではない世論との関係から説明します。そして、広報の視点から報道機関をどのように見ているのか、報道に対して広報パーソンはどのように対応するのかについて、具体的な例を提示しながら説明します。この講義を通じて、広告と広報の違い、報道や世論に対する分析的な視点を知ってもらいたいと思います。				
10	12月5日	商品と企業の言葉の連携と情報設計の基本	所属・役職 氏名	(株)博報堂 顧問 立谷光太郎
広告を通じて商品・サービスを市場に展開する中で、その企業市場だけではなく、社会の中でどう見せるか、この商品・サービスと企業との関係、市場と社会の関係のつくり方を、広報戦略の設計という視点で説明します。広告と広報をどう連携させるか、そのための情報発信のタイミング、世論の分析とメディアの選択、言葉の選択などについて、できるだけわかりやすく、具体的に示すことで、情報戦略設計の基本を知ってもらいたいと思います。				
11	12月12日	国の言葉と広告会社	所属・役職 氏名	(株)博報堂 顧問 立谷光太郎
国内外で政策を円滑に推進するために、国は様々なレイヤーを通じてコミュニケーション活動を展開します。何気なく見ている政治関連の報道、政策や制度を、私たちは国民として見たり、感じたり、利用したり、反発したりします。ここでは、実際に情報を発信する国側の主体者と国民の間にあるコミュニケーションを事例を通じて説明し、各レイヤーにおける広告会社あるいは社員の活動や役割について紹介します。				
12	12月19日	課題レポートの書き方	所属・役職 氏名	(株)SmileWords スピーチライター 藁田吉昭
21世紀も四半世紀が過ぎました。20世紀的な産業の枠が崩れ、様々な仕事が集散していく世界。その中で、あなたが起業し、未来の仕事を作るとしたら、どのような分野でどんな内容なものをめざすか。21世紀の半ばに向けて、可能性のある仕事をレポートにまとめてもらいます。また、その仕事を世間に知らしめるためにどのようなコミュニケーションを立案するかも考えてください。この講義でレポートに書くポイントをしっかりと解説していきます。自由な発想で未来の仕事を作ってください。				
13	1月9日	人と社会を動かす『別解』の発想	所属・役職 氏名	(株)博報堂PROJECT_Vega エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター 近山知史
「あたりまえ」なことは、ずっと「あたりまえ」だと思っていないですか。いいえ、時代や場所が変われば「あたりまえ」はあっさり変わります。たとえば「ダイバーシティ/多様性」という言葉を日常的に使っている日本人は、30年前にひとりもいませんでした。そして、「あたりまえ」を変えるのは、他でもない私たち人間です。つまり、あなたにもこの時代の「あたりまえ」を変えることができます。今よりもっと素敵な「あたりまえ」を、想像しに來ませんか。実際のクリエイティブ事例を参考にしながら、あなたの人生と世界を変える必殺の発想法を伝授します。				
14	1月16日	総括・課題回収	所属・役職 氏名	コーディネーター 戸村 佳代
最終課題レポートの確認、アンケート、他				
3 履修上の注意				
<ul style="list-style-type: none"> (1) 遅刻は厳禁。私語・スマホを慎むこと。 (2) 授業毎に提出するミニレポート（リアクションペーパー）は平常点として採点の対象となる。 (3) 毎回出席を確認する。欠席数が5回以上の場合は、単位取得が極めて困難となる。やむを得ない理由で欠席の場合、所定の「欠席等理由届」に証明書類等を添付して提出すること。（原則として、欠席から2週間以内に提出） (4) 春学期の履修登録期間に履修登録を行う。履修登録希望者多数のために抽選を行った場合には、秋学期での履修登録削除も新規登録も認められない。 				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
各授業のミニレポートとして、クラスウェブ「アンケート」機能を使ってリアクションペーパーを提出する。（授業翌日20時〆切）リアクションペーパーに対して各講師がOh-o!Meijiに講評をアップロードするので、各自でその内容を確認すること。				
5 教科書				
特に指定しない。（授業毎に担当講師が資料を配付する）				

回	日程	テーマ	担当者
6 参考書			
<p>阿佐見綾香 (2021) 『電通現役戦略プランナーの ヒットをつくる「調べ方」の教科書 あなたの商品がもっと売れるマーケティングリサーチ術』 (PHP研究所)</p> <p>阿佐見綾香 (2024) 『センスのよい考えには、型がある 感覚を言語化するインサイト思考』 (サンマーク出版)</p> <p>岡田庄生 (2020) 『プロが教えるアイデア練習帳』 (日経BPマーケティング)</p> <p>ひきたよしあき (2024) 『ひと目でわかる、すぐに身につく [イラスト図解] 5日間で言葉が「思いつかない」「まとまらない」「伝わらない」がなくなる本』 (大和出版)</p>			
7 課題に対するフィードバックの方法			
<p>Oh-o!Meijiのクラスウェブ「アンケート」機能を使って提出したミニレポート (リアクションペーパー) に対して、全体の講評を行う。特に必要な場合には個別のフィードバックも行う。</p> <p>リアクションペーパーで寄せられた質問には各授業の講師が個別にフィードバックする。</p>			
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと			
<p>平常点(リアクションペーパーとして提出するのミニレポート) : 40%</p> <p>※各講義毎にミニレポートとしてリアクションペーパーを提出する</p> <p>※欠席理由届の提出がない場合、その回の授業の平常点は0点になるので注意すること</p> <p>最終課題レポート : 60%</p>			
9 その他			
<p>ミニレポート (平常点の採点対象) として「リアクションペーパー」の提出を講義毎に義務付ける。</p> <p>リアクションペーパー未提出 (欠席理由届提出の日を除く) が5回以上の場合には単位を与えないので注意すること。</p>			

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
明治起業家学2025 ～起業はキャリアの選択肢～			経営学部 岡田浩一	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	春学期	火曜	5限
1 授業の概要・到達目標				
<p>授業の概要：本講座で、起業家の講演を聴き、起業に必要な知識を学び、様々な起業の実態、スタートアップの現状を学ぶことで、大企業志向ばかりではなく、進取の精神をもって起業することも自身のキャリアにおける選択肢の一つとなること理解するとともに、そのために必要な最低限の知識や行動について知り、理解できるように講義を進めていきます。</p> <p>到達目標：本講座は、起業についての意識の醸成につなげるとともに、本講座履修者どうしの人間関係を深め、明治大学における起業コミュニティの基盤形成につなげることも目指しています。</p>				
2 授業内容				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月15日	本講座の意義と全体説明	所属・役職	経営学部教授
			氏名	岡田浩一
明治大学の卒業生で、国家資格である中小企業診断士資格をもって活躍されている方々が組織した「明治大学中小企業診断士紫紺会」の寄付講座として「起業」をキーワードに現役明大生たちのマインドセットを目指す講座です。就職活動にたいして、あまり意識されていない起業ですが、起業をもっと身近に感じられるように本講座全体の概要について説明をします。				
2	4月22日	起業家登壇 ～起業家が考えるアントレプレナーシップ～	所属・役職	アビュ(株)代表執行役員CEO代表取締役
			氏名	山野智久
レジャー産業とDXを掛け合わせることをテーマとした遊びの予約サイト「アソビュー！」と観光・レジャー・文化施設向けパーティカルSaaS「ウラカタシリーズ」を展開する企業を立ち上げた経験をベースに起業にかかわるマインドセットなどについてお話しいただきます。				
3	4月29日	起業に向けて ～イントロダクションと自己理解～	所属・役職	(株) アイコンテック代表取締役
			氏名	吉野太佳子
起業家の実体験やスタートアップの現状を学びながら、起業をキャリアの一つとして考える基礎的な視点を養います。また、自身の価値観や強みを深く理解することで、起業に必要な準備や行動の第一歩を掴むことを目指します。				
4	5月13日	日本の企業文化と経営 ～グローバルな視点から～	所属・役職	三好グローバル・コンサルティング代表
			氏名	三好康司
企業文化は、企業の成功と持続可能な成長において欠かせない要素であり、経営者の考えや企業の歩んできた歴史が反映され、形成されるものである。日本経済を成長に導いてきたわが国企業の企業文化の事例、およびグローバルな視点から海外の企業文化の事例を確認し、比較検証することで、今後の起業家にとっての企業文化の方向性を考えます。				
5	5月20日	起業に求められる思考力と企画力 ～創造的思考、デザイン思考、ロジカルシンキングなど～	所属・役職	中郡久雄中小企業診断士事務所代表
			氏名	中郡久雄
社会が安定し、市場が予測可能な環境においては、目的に対して最適な手段（原因）を論理的に追求することが有効なアプローチとなります。しかし、不確実性の高い市場環境では予測には限界があり、異なる問題解決のアプローチが求められます。本講では、不確実な状況下で優れた成果を上げた起業家たちを研究して導き出された、問題解決のための論理・思考プロセスである「Effectuation」を紹介し、それを起業や新規事業開発のヒントとして活用する方法を考察します。				
6	5月27日	ビジョン策定とビジネスモデルの設計 ～マネタイズのポイント～	所属・役職	(株)アミゼクスアライアンス代表取締役
			氏名	田守 順
起業での成功を左右する事前のビジョン策定に向けての留意点（起業する際の自己検証、起業三大ポイント、起業までの流れ、起業にあたっての実務ポイント）の解説をし、実務から見えて来た起業成功へのポイント解説とマネタイズを踏まえたビジネスモデルの設計を講義します。さらに、実務へ向けた対象事例を紹介し、起業のヒントに繋がる最近のキーワード解説など実学的内容で受講生のモチベーションアップの一翼を担うようにします。				
7	6月3日	起業家登壇 ～ビジネスモデルの重要性～	所属・役職	mederi(株) 代表取締役
			氏名	坂梨亜里咲
スマホからでも簡単にできるオンライン診療サービスをもって感謝の安心につながる医療を提供するビジネスモデルを構築し、社会的課題解決ともいえるビジネスを立ち上げた経験に基づく起業家としてのお話をさせていただきます。				
8	6月10日	起業と人材育成 ～リーダーシップとチームビルディング～	所属・役職	社会保険労務士法人HRM総合事務所代表
			氏名	奥瀬 円
起業家としてのリーダーシップの在り方と、チームを効果的に育成・運営するためのチームビルディングの重要性を学びます。成功する起業家に求められるスキルやマインドセットを紹介するとともに、実際の事例を交えながら、メンバーのモチベーション向上や目標達成に向けた戦略を検討します。リーダーとしての自己認識を深め、起業や組織運営に役立つ実践的な知識とスキルを身につけることを目指します。				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月17日	マーケティング戦略を考える ～販路開拓～	所属・役職	㈱アイコンテツ 代表取締役
			氏名	吉野太佳子
マーケティングの基本概念を学びながら、ターゲット顧客の設定や販路開拓の具体的な方法について考察します。自らの商品やサービスをどのように市場に届けるかを、実践的な視点で学び、戦略的な思考を養うことを目指します。				
10	6月24日	多様な起業形態を知る ～第2創業、副業・兼業起業など～	所属・役職	全国商工会連合会事務局長
			氏名	佐々木 淳
現代社会において、起業の形態は従来の「新規事業の立ち上げ」だけでなく、多様化しています。本講座では、以下のような多様な起業形態について理解を深めます。①第2創業：既存の企業を基盤に新たな事業を展開する形態、②副業・兼業起業：本業を持ちながら新しいビジネスに挑戦する形態、③社会起業：社会課題の解決を目的とした事業本講では、起業の基本的なプロセスを学ぶとともに、学生で会社を起業するなど個々のキャリアやライフスタイルに適した起業形態を選択するための視点を提供します。				
11	7月1日	資金戦略と財務管理の重要性を知る	所属・役職	城北信用金庫コミュニケーション開発事業部
			氏名	中林 徹
本講では、起業における「資金戦略」と「財務管理」の重要性について学びます。資金調達方法（デットファイナンス、エクイティファイナンス、クラウドファンディング、補助金活用）と財務管理の基礎を解説し、地域金融機関の現状や役割、起業家支援の手法を実務経験に基づいて具体的に紹介します。学生が起業を現実的なキャリア選択肢として捉え、資金戦略や財務管理の実践的な知識を習得することを目指します。				
12	7月8日	法律と知的財産にかかわる知識の必要性を知る	所属・役職	東京都よろす支援拠点コーディネータ
			氏名	土田 哲
起業家が知っておくべき法律の基本について解説します。 (1) 企業に関わる基本的な法律：会社設立、契約を中心に解説します。(2) リスク管理に関わる基本的な法律：知財管理、消費者保護、労働者保護を中心に解説します。(3) 会社成長に関わる基本的な法律：資金調達を中心に解説します。 (4) 質疑応答：講義内容に関する質疑応答。必要に応じて、相談先を紹介します。				
13	7月15日	起業促進の動向 ～大学発の起業からみる今日の動向～	所属・役職	KCGコンサルティング㈱代表取締役
			氏名	柳 義久
中小企業診断士紫紺会の会長である柳義久氏にコーディネートいただき、「明治ビジネスチャレンジ」など起業促進の取り組みや学生起業にかかわるテーマを軸として、今日の起業について総合的なお話をいただきます。				
14	7月22日	全体の総括	所属・役職	経営学部教授
			氏名	岡田浩一
全体のまとめをするとともに、起業が求められている日本社会の現状を再確認しながら、従来の起業家に関する研究の流れについて紹介しておくようにします。				
3 履修上の注意				
起業してみたい人、起業について知りたい人、そもそも起業とは何かが分からない人など様々なレベル感があると思いますが、起業というキーワードで広く知識を得てもらい、自身のキャリア形成の一つとして起業を知ってもらうことが主なので、起業コンサルティング的な授業ではありません。起業を知るために経営学の基礎的な知識を持つておくことを推奨します。また、この講座を通じて、起業に関心のある学生たちのコミュニティが形成されることも目指しています。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
各回ごとのメインテーマとなっていることについての基礎的な知識を得るようにしておくこと、授業の理解度が上がるので、各自で調べておくことを勧めます。				
5 教科書				
中小企業診断士紫紺会が作成する資料を毎回提供します。				
6 参考書				
明治大学ビジネススクール編（2024）『スタートアップビジネス：MBA講座』同文館出版。 そのほか各回毎に関連する参考書を紹介します。				
7 課題に対するフィードバックの方法				
Oh-o!Meijiを使ってレポートに対して個別にコメントします。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
各回出席者に課すレポートを総合して評価します（レポート100％）。				
9 その他				
特になし				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
連合寄付講座：働くということと労働組合			経営学部・山崎 憲	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
駿河台	2	春学期	水	3
1 授業の概要・到達目標				
現代の労働組合の実像や労働現場が直面する課題等について、現場第一線の労働組合役員から学生にダイレクトに伝える。これにより、労働組合や労働運動などに対する正しい理解を醸成する。				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月 16日	イントロダクション	所属・役職	コーディネーター
			氏名	山崎 憲
講座の概要、成績評価方法などの説明の後、日本における労働組合と連合の歴史を説明する。				
2	4月 23日	a：【開講の辞】 連合寄付講座で明治大学の皆さんに学んでほしいこと b：【課題提起】 「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて	所属・役職	日本労働組合総連合会(連合)事務局長
			氏名	清水 秀行
2000年から現在に至るまで、千葉県教職員組合(千葉県教組)、日本教職員組合(日教組)および連合において労働運動に従事。これまで労働運動に関与した経験を踏まえ、働くうえで必要な知識を身につけられるよう授業を展開する。				
3	4月 30日	【ケーススタディ①】 労働時間の短縮に向けた取り組み	所属・役職	生保労連中央副執行委員長
			氏名	金田 裕之
2006年から2023年まで、日本生命保険相互会社にて生命保険関連の実務経験を有する。また、2023年から現在に至るまで、日本生命労働組合および全国生命保険労働組合連合会(生保労連)において労働運動に従事。これまでの企業別労働組合および産業別労働組合での経験から、労働時間短縮の取り組みについて具体的事例を交えて紹介し、働くうえで必要な知識が身につけられるよう授業を展開する。				
4	5月 7日	【ケーススタディ②】 男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	所属・役職	J P 労組中央執行委員 労働政策局 関連子会社担当部長
			氏名	浅香 朋子
2009年から2021年まで、株式会社かんぼ生命にて生命保険関連の実務経験を有する。また、2021年から現在に至るまで、J P 労組において労働運動に従事。これまでの産業別労働組合での経験から、男女がともに働きやすい職場づくりについて具体的事例を交えて紹介し、働くうえで必要な視点を学ぶ。				
5	5月 14日	【ケーススタディ③】 非正規雇用労働者の組織化と処遇改善に向けた取り組み	所属・役職	伊藤ハム労働組合中央執行委員長
			氏名	立花 正貴
10年間、伊藤ハム労働組合にて労働組合活動の実務経験を有する。同労働組合での経験から、非正規雇用労働者の組織化と処遇改善の社会的意義や今後の展望について具体的事例を交えて紹介し、働くうえで必要な思考力が身につけられるよう授業を展開する。				
6	5月 21日	【ケーススタディ④】 公務労働の現状と公共サービスの役割	所属・役職	自治労総合企画総務局長
			氏名	八巻 由美
2016年から現在に至るまで、福島市役所職員労働組合および全日本自治団体労働組合(自治労)において労働運動に従事。これまでの職員団体および産業別労働組合での経験から、公務労働の現状と公共サービスの社会的役割や今後の展望について具体的事例を交えて紹介し、働くうえで必要な思考力が身につけられるよう授業を展開する。				
7	5月 28日	【ケーススタディ⑤】 デジタル化の進展に伴う課題と労働組合の役割	所属・役職	KDDI労働組合中央執行委員長
			氏名	春川 徹
2010年から現在に至るまで、KDDI労働組合および情報産業労働組合連合会(情報労連)において労働運動に従事。これまでの企業別労働組合および産業別労働組合での経験から、デジタル化の社会的役割や今後の展望について具体的事例を交えて紹介し、デジタル化への対応に必要な思考力が身につけられるよう授業を展開する。				
8	6月 4日	【ケーススタディ⑥】 いま働く現場で何が起きているのか ～職場における課題と労働組合の役割～	所属・役職	連合中央労働相談センター局長
			氏名	森 啓記
2007年から現在に至るまで、近畿日本ツーリスト労働組合、サービス・ツーリズム産業労働組合総連合会(サービス連合)および連合において労働運動に従事。これまで労働運動に関与した経験を踏まえ、働くうえで必要な知識を身につけられるよう授業を展開する。				

回	日程	テーマ	担当者	
9	6月 11日	【課題への対応①】 雇用と生活を守る取り組み	所属・役職	J AM副書記長
			氏名	川野 英樹
1989年から現在に至るまで、日鍛バルブ労働組合、日本労働組合総連合会山口県連合会（連合山口）、ものづくり産業労働組合のJ AMおよびその地方組織であるJ AM山陰において労働運動に従事。これまでの企業別労働組合、産業別労働組合および地方連合会での経験から、雇用と生活を守る取り組みの社会的意義や今後の展望について具体的事例を交えて紹介し、働くうえで必要な思考力が身につけられるよう授業を展開する。				
10	6月 18日	【課題への対応②】 労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み	所属・役職	連合労働条件・中小地域対策部長
			氏名	長江 彰
2013年から現在に至るまで、日本労働組合総連合会（連合）事務局において労働運動に従事。これまで同事務局で春季生活闘争や最低賃金政策など労働諸条件の維持・向上に向けた取り組みに関与した経験を踏まえ、働くうえで必要な視点を身につけられるよう授業を展開する。				
11	6月 25日	【課題への対応③】 国際労働運動の役割 ～グローバルイノベーションへの対応～	所属・役職	国際労働組合総連合（ITUC）会長
			氏名	郷野 晶子
約30年間、U Aゼンセン、日本労働組合総連合会（連合）、TWARO（国際繊維被服皮革労組同盟アジア太平洋地域組織）、インダストリアル・グローバルユニオン並びにILO（国際労働機関）において国際労働運動に従事。これまで国際労働運動に関与した経験を踏まえ、国際労働運動の社会的役割や今後の展望について具体的事例を交えて紹介し、グローバルイノベーションへの対応に必要な思考力が身につけられるよう授業を展開する。				
12	7月 2日	【課題への対応④】 すべての働く者のための取り組み ～働く仲間を支える労働金庫とこくみん共済coop～	所属・役職	一般社団法人全国労働金庫協会常務理事 全国労働者共済生活協同組合連合会常務執行役員
			氏名	芦川 和人 坂本 隆浩
芦川氏は11年間、静岡県労働金庫、労働金庫連合会および労働金庫協会にて労働金庫関連の実務経験を有する。坂本氏は36年間、全国労働者共済生活協同組合連合会（こくみん共済coop）にて労働者共済事業関連の実務経験を有する。両氏の労働金庫並びにこくみん共済coopでの経験から、労働者自主福祉事業の社会的役割や今後の展望について具体的事例を交えて紹介し、働くうえで必要な思考力が身につけられるよう授業を展開する。				
13	7月 9日	【修了講義】 労働者を取り巻く職場の現状と課題 ～労働組合の果たすべき役割とは～	所属・役職	公益社団法人教育文化協会理事長
			氏名	相原 康伸
1990年から2021年まで、トヨタ自動車労働組合、全トヨタ労働組合連合会、全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連）および連合において労働運動に従事。これまで労働運動に関与した経験を踏まえ、働くうえで必要な視点を身につけられるよう授業を展開する。				
14	7月 16日	総括	所属・役職	コーディネーター
			氏名	山崎 憲
これまでの講義についての論点整理を行うとともに、受講者は感想を書いて提出する。				
3 履修上の注意				
毎回の講義にはリアクションペーパーの提出が必須になります。				
4 準備学習（予習・復習等）の内容				
労働組合の活動は日本企業のみならず、日本の政治、経済、社会、文化とあらゆることにかかわりがあります。常日頃から、新聞、ニュース等の時事問題に触れるようにしてください。				
5 教科書				
必要があるときは講義内で指示します。				
6 参考書				
山崎憲『はたらくことを問い直す』岩波書店、2014年 小熊英二『日本社会のしくみ』講談社、2019年 稲葉振一郎『市民社会論の再生：ポスト戦後日本の労働・教育研究』春秋社、2024年 久米郁男『労働政治 戦後政治のなかの労働組合』中央公論社、2005年				
7 課題に対するフィードバックの方法				
必要に応じて講義のなかで行います。				
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと				
毎回のリアクションペーパー70%、全体を通じた感想30%				
9 その他				
日本の大企業の従業員は2023年時点で39.8%が労働組合員となっています。中小零細企業の多くには労働組合がありません。こうした現状は大学3年生から就職活動をむかえる学生のみなさんにとっても無縁ではありません。これからの働き方にとって何が求められるのか、つかみとってください。				

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
ダイバーシティ&インクルージョンと日本社会			国際日本学部 山脇啓造	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
中野	2	秋学期	火曜	3限
1 授業の概要・到達目標				
この講座では、ダイバーシティ&インクルージョン経営を担当する企業関係者やダイバーシティ&インクルージョンの取り組みを進める自治体の担当者等を講師に迎え、具体的な実践例を伺い、取り組みの現状と課題について多様な観点から論じる。そのうえで、現代社会において、ダイバーシティ&インクルージョンを進める意義や背景への理解を深めることを目的とする。				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	9月23日	イントロダクション	所属・役職	コーディネーター
			氏名	山脇 啓造
講座のテーマやその背景、到達目標を示し、各回の担当講師の略歴と講義概要を紹介する。また、成績評価方法の説明を行う。				
2	9月30日	成長戦略としてのダイバーシティ経営の推進	所属・役職	経済産業省経済社会政策室
			氏名	芳賀諒太
経済産業省は、企業におけるイノベーションを通じた価値創造を目的として、多様な人材をいかし、その能力が最大限発揮できる機会を提供する「ダイバーシティ経営」を推進している。成長戦略として企業がダイバーシティ経営を推進することの意義を論じる。				
3	10月7日	丸井グループのダイバーシティ&インクルージョン	所属・役職	丸井グループ人事企画・多様性推進課長
			氏名	後藤 久美子
丸井グループは、「すべてのひとがしあわせを感じられるインクルーシブで豊かな社会を共に創る」のミッションのもと、「D&I」推進に取り組んでいる。「お客様」と「社員」のダイバーシティを両輪で推進しており、その取り組みと成果そして課題を論じる。				
4	10月14日	ANAグループ ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョンの取り組み	所属・役職	全日本空輸DEI推進部
			氏名	小川 絵里子
人財こそが最大の資産であり、グローバル競争を勝ち抜く差別化の源泉と考え、グループ社員一人ひとりの可能性や個性の最大発揮を目指した多様な人財育成を進めているANAグループ。同グループが進めている“Diversity, Equity, Inclusion”の取り組みと成果そして課題について論じる。				
5	10月21日	楽天主義とダイバーシティ	所属・役職	楽天グループ上級執行役員
			氏名	黒田 真二
楽天は、1997年の創業からイノベーションの力を信じ大切にしており、「グローバル イノベーション カンパニー」になることをビジョンに掲げている。このイノベーションの触媒がダイバーシティである。楽天におけるダイバーシティ推進の意義とこれまで直面してきた課題や成果、そしてこれからの展望について論じる。				
6	10月28日	小さくてもキラリー中小企業だからこそできるヒト・ファーストのダイバーシティ	所属・役職	吉村代表取締役
			氏名	橋本 久美子
ダイバーシティは目的ではなく結果である。今、貢献してくれている社員が働き続けるために、一緒に知恵を絞りつつ新しい制度や働き方を作ってきた。社員数227名。一人ひとりの名前を経営者が言えて書ける距離感だからこそ、泥臭い挑戦と失敗と成果を報告する。20年間出産退職ゼロ。全盲社員の活躍。高齢者は定年後は再雇用のための派遣会社を設立。				
7	11月11日	中小企業とダイバーシティ戦略	所属・役職	SALEFULL代表取締役
			氏名	鈴木 隆史
中小企業がダイバーシティ経営を進めるのはなぜか？八王子市にあった栄鋳造所で、海外市場を取り込む為、戦略的に外国人を採用し、ターゲット市場である米国、欧州、アジアの大学からインターンを受け入れ、彼らが母国で活躍できる拠点設立を進め、「ダイバーシティ戦略を通じたイノベーション」をめざした講師が、その明と暗を率直に語る。				

回	日程	テーマ	担当者	
8	11月18日	ダイバーシティとインクルーシブ・マーケティング	所属・役職	電通ダイバーシティ・ラボ代表
			氏名	林 孝裕
電通グループは2011年に、あらゆる場所に存在する「多様性」の課題と向き合い、企業や社会の取り組みを支援するため、「電通ダイバーシティ・ラボ」を設立した。2017年にリリースしたインクルーシブ・マーケティングという新たなマーケティング概念について紹介するとともに、様々な企業や団体、個人と協働しながらどのようなアクションを起こしていこうとしているのかを論じる。				
9	11月25日	インクルーシブ・コミュニケーションーやさしい日本語とやさしい英語	所属・役職	メルカリ Language Education Team マネージャー
			氏名	親松 雅代
社内のコミュニケーション手段として、「やさしい日本語」そして「やさしい英語」を活用している企業として注目を集めるメルカリ社の実践を通じて、インクルーシブなコミュニケーションのあり方について考える。講師は、日本語プログラムとスピーキングテストを開発するとともに、「やさしいコミュニケーション」の社内トレーニングを開発、主導している。				
10	12月2日	日本の課題を未来の機会へ	所属・役職	くりやホールディングス 代表取締役
			氏名	栗岡 大介
2050年に想いを巡らせてみよう。人口減、高齢・過疎化が課題として日々取り上げられる中、この課題こそ「ダイバーシティ&インクルージョン」思考で日本の発展の機会にできるだろう。投資家として日本全国の様々な企業と対話してきた講師がその経験を活かし、企業のダイバーシティ経営の在り方を論じる。				
11	12月9日	担当課長を務めたゲイ当事者が振り返る、渋谷区パートナーシップ証明からの10年	所属・役職	株式会社ダリア取締役
			氏名	永田 龍太郎
ルイ・ヴィトンジャパン、ギャップジャパンでのマーケティング経験を活かし、2016年から2021年まで渋谷区男女平等・ダイバーシティ推進担当課長を務め、再び企業人に戻った講師が、渋谷区での5年間で振り返るとともに、日本における性的マイノリティ包摂の課題を論じる。				
12	12月16日	三重県のダイバーシティ社会推進の取組	所属・役職	三重県ダイバーシティ社会推進課長
			氏名	太田 和恵
三重県では、2017年に「ダイバーシティみえ推進方針～ともに輝く(きらり)、多様な社会へ～」を策定し、ダイバーシティ社会の推進に取り組んできた。2021年3月には、「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」も策定した。三重県におけるダイバーシティ社会推進のこれまでと現状そして今後の課題について論じる。				
13	1月13日	ダイバーシティ&インクルージョンの戦略的意義と未来の働き方	所属・役職	渋谷区副区長、弁護士
			氏名	松澤 香
渋谷区が取り組むダイバーシティ&インクルージョン(D&I)に関する各施策や、日本における女性活躍の現状及び政府の施策等を踏まえ、講師がBoard Diversity・女性役員比率向上のためOnBoard株式会社にて取り組んできた内容の理解を通じて、D&Iの組織における戦略的意義について論じる。また、講師の多様なキャリアやライフイベントとの両立の悩みや工夫を紹介しつつ、D&Iと未来の働き方について考える機会とする。				
14	1月20日	総括	所属・役職	コーディネーター
			氏名	山脇 啓造
前回までの講義を振り返り、ダイバーシティ&インクルージョンの取り組みの現状と課題、そしてそうした取り組みが日本社会にとってどのような意義があるのか、総括を行う。				
3 履修上の注意				
毎回の授業で、グループ討論を行ったり、講師との質疑の時間をたくさんとるので、積極的に発言すること。				
4 準備学習(予習・復習等)の内容				
各回の授業の前に指定された文献等に目を通すこと。				
5 教科書				
特になし。				
6 参考書				
尾崎俊哉『ダイバーシティー・マネジメント入門—経営戦略としての多様性』(ナカニシヤ出版、2017)、荒金雅子『ダイバーシティ&インクルージョン経営: これからの経営戦略と働き方』(日本規格協会、2020)、岩淵功一『多様性との対話』(青弓社、2021)、電通ダイバーシティ・ラボ『みんなで知りたいダイバーシティ 第1巻 ダイバーシティを知ろう』(文研出版、2023)				
7 課題に対するフィードバックの方法				
毎回の授業の最後に講義に関するコメント(400字以内)を提出してもらいます。それらのコメントの中で重要なものを選び、次回の授業の冒頭に取り上げます。				

回	日 程	テーマ	担当者
8	成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと		
	各回の授業での発言40%、授業後のコメント30%、小テスト30%		
9	その他		

2025年度全学共通総合講座 講座計画書 (シラバス)

講座名			コーディネーター	
			学部・氏名	
データサイエンスAI概論			総合数理学部・中村和幸	
開講キャンパス	単位	開講期	曜日	時限
なし (オンデマンド配信)	2	春学期	-	-
1 授業の概要・到達目標				
<p>(概要) 現代は複雑なデータが高度に大量に流通する時代を迎えている。そのなかで、日常生活のなかの様々な分野でデータサイエンスや人工知能がカギを握ると言われている。本講座では、これらデータサイエンスや人工知能についてリテラシーレベルで最新知見を得ることを目標とする。また、そのうえで重要となる、個人情報などのデータ倫理の問題や、人工知能に関する法整備、情報セキュリティなどの諸問題についての基本的な知識を得ることを目標とする。</p> <p>(内容) 関係する分野について、大学の専門家、企業の実務家に講演を依頼し、オムニバス形式の講座とする。内容は「データサイエンス・人工知能についての法務」「経済とデータサイエンス」「政府の公式統計」「電子政府・電子行政」「会計と人工知能」「化学とデータサイエンス」「SNSと人工知能」「ネットゲームと人工知能」「芸術・メディア表現と人工知能」「責任あるAI」「セキュリティ研究」などを扱う。</p>				
2 授業内容 (日程・テーマ・担当者)				
回	日程	テーマ	担当者	
1	4月 14日	ガイダンス、人工知能の基礎知識	所属・役職	明治大学総合数理学部・教授
			氏名	阿原一志、中村和幸
コンピュータによる情報技術が発達して、近年「人工知能」というキーワードで呼ばれることが多くなりました。初回の講義では、現状の人工知能とはどのようなものか、どのように利用可能なものかを解説しながら、本講座を理解するための基礎知識を身につけます。				
2	4月 21日	データ社会の法制度の全体像	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏名	佐々木 秀智
データサイエンス・人工知能にとって、様々な機関・団体等が保有するデータの利活用がスムーズにできる必要があります。最近、データ利活用のあり方に関する法整備が進められています。そこでは、2016年に制定された官民データ活用推進基本法を出発点として、医療ビッグデータ法等の新法の制定、情報銀行事業の導入等が試みられています。この授業では、官民データ活用推進基本法に規定されている基本理念・基本施策等を概観したうえで、具体的な事例を示しつつ、データ社会における法制度のあり方について考えてみたいと思います。				
3	4月 28日	データ社会とプライバシー・個人情報保護	所属・役職	明治大学法学部・教授
			氏名	佐々木 秀智
データ利活用を推進すると、プライバシー・個人情報保護に関する懸念が多くの国民から指摘されます。プライバシー・個人情報保護なしのデータ社会への移行はきわめて危険です。ですが、これらを保護しすぎるとデータの利活用が進みません。そこでこれらの調整が必要となります。この授業では、わが国のプライバシー・個人情報保護の歴史を概観し、2015年個人情報保護法改正において明確にされた個人情報の「保護」と「利活用」の調整の必要性 (同法第1条) を、実際のデータ利用の場面を想定しつつ、考えていきたいと思います。				
4	5月 12日	データリテラシーとしての経済統計入門	所属・役職	日本経済研究センター・研究本部長/データサイエンス研究室長/主任研究員
			氏名	田原 健吾
世の中の「データ」には様々な種類がありますが、その中の「経済統計」に焦点を当て、GDP統計や鉱工業統計などの時系列データを主な題材とし、ニュース等でも報じられる経済統計を読み解いたり、あるいは自分で取り扱ったりするために必要な基礎知識を紹介します。季節調整値や伸び率の計算といった時系列特有のデータの取り扱いに加え、統計の「クセ」を捉える上で調査方法を知ることの重要性などを学びます。				
5	5月 19日	経済学におけるデータ活用	所属・役職	日本経済研究センター・研究本部長/データサイエンス研究室長/主任研究員
			氏名	田原 健吾
近年では経済統計だけでなく様々なデータが利用可能になり、経済学でも個々の経営課題や社会的な課題に対して、細かいデータを活用した分析により答えようとする試みが増えています。そうした経済学+データの活用がどのように行われているのか、実例を交えて紹介します。				
6	5月 26日	政府による公的統計とその活用について	所属・役職	明治大学政治経済学部・教授
			氏名	加藤 久和
政府による公的統計は「統計法」によってその作成や提供に関する事柄が定められています。講義では最初にこの統計法の概要を紹介し、政府統計の体系等について説明します。また、基幹統計とされる主要な公的統計、主として人口・就業・社会関連に関わる統計を概観します。次いで、公的統計の活用例として、人口統計の比較、労働・就業関連統計の役割分担、また国民生活に関わる基礎統計の内容などを具体的に示します。最後に、総務省統計局が公表している「SSDSE (教育用標準データセット)」とその活用方法について紹介します。				

7	6月 2日	電子政府・電子行政について	所属・役職	明治大学大学院ガバナンス研究科・教授
			氏名	湯浅 壘道
従来のIT基本法に代えてデジタル社会形成基本法が制定され、行政のデジタル化が推進されようとしています。その概要について解説し、オープンデータや官民データなどのデータに関する政策、AIの行政における利用例などを紹介します。また、AI自体のガバナンスやセキュリティについてどのような課題があるかについても検討します。				
8	6月 9日	企業ビジネス・証券市場と人工知能	所属・役職	同志社大学商学部・教授
			氏名	田口 聡志
新しいテクノロジーの進展が、証券市場やビジネスに大きな影響を与えています。たとえば証券市場における株式投資の中心をなすのは、いまや人間ではなく、アルゴリズムであるし、また、企業不正を監査する会計監査の領域においても、人工知能が導入されつつあります。さらに、企業のDX(Digital Transformation)化が進んでいる中で、このような流れはますます加速しており、企業経営や証券市場のあり方が、今後大きく変わっていく可能性は高いです。そこで本講義では、これらの実務・研究の動向を整理するとともに、未来の経済社会のあり方を探ることとしたいと思います。				
9	6月 16日	化学分野におけるデータサイエンスの活用	所属・役職	明治大学理工学部・准教授
			氏名	金子 弘昌
化学において、例えば医薬品となる分子を設計することを考えます。まず、これまでの多くの実験結果（この化学物質は薬になった、この化学物質は薬にならなかった、といったデータ）を使用して、薬となる化学物質がもつ共通の分子の構造的な特徴を理解する人工知能を、データから作ります。その人工知能を使い、未知の医薬品となる分子を設計します。今回は、化学の分野で活躍する人工知能の作り方や使い方、実際の使われ方について講義します。				
10	6月 23日	SNSデータを用いたデータサイエンスのビジネス応用	所属・役職	株式会社ホットリンク・R&D部部长
			氏名	榊 剛史
SNSの普及に伴い、SNSを通じたマーケティング（SNSマーケティング）という事業領域が拡大しています。本講義では、SNSマーケティングの特性を解説しつつ、いくつかの具体例を紹介します。また計算社会科学やデータサイエンスなどのアプローチをSNSマーケティングをどのように活用していくか、について説明します。				
11	6月 30日	ゲームデザインとゲームAI	所属・役職	ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社
			氏名	藪 洋平
ゲームデザインとはゲームを設計することです。コンピューターゲームは情報処理技術によって作られた誰もが理解し楽しめるよう設計された遊びです。今日ではゲームを設計するために知能があるのがあるかのようなふるまいをするエージェントや機械学習などの技術が欠かせなくなってきています。この回では講演者の作ってきたゲームを元にゲームデザインとゲームAIについてお話します。				
12	7月 7日	芸術・メディア表現、創造性と人工知能	所属・役職	株式会社Qosmo プログラマー
			氏名	中嶋 亮介
ChatGPTやStable Diffusionといった大規模な生成モデルが発表されて以降、AIを使用した創作活動はより一般的になりました。一方で、データセットに潜むバイアスやアーティストの権利侵害、またこうした生成モデルの出力をそもそも芸術と呼びうるのかといった問題も同時に存在します。AIは単なる道具なのでしょうか。もし道具だとしても、私たちが道具を形作ると同時に、私たち自身も道具によって形作られるはずですか。本講演では、講演者自身や様々なアーティストによるAIを用いた表現・研究活動を題材に、AIが人間にもたらす表現の可能性や問題について考察し、AIを通じて私たち自身の価値観がどう変容しうるのであるのか、そのヒントを探ります。				
13	7月 14日	Responsible AI - 責任あるAI	所属・役職	日本マイクロソフト株式会社 プリンシパル テクニカル アーキテクト
			氏名	畠山 大有
ChatGPTに代表されるAI技術の進化は社会や企業でのAIの組み込みをより加速させています。スマートフォンで写真をとって送信するだけで済む処理などはその典型と言えます。便利な反面、その技術の限界ともいえる機械学習は中で何をやっているのかが分からず、製造物としての説明責任がつかない、という問題をはらんでいます。この講座では、安心・安全にAIを使えるようにするための現在の課題や、課題への取り組みの最新の状況をお伝えします。				
14	7月 21日	IoT時代に向けた情報セキュリティ研究、総括	所属・役職	三菱電機株式会社・主席技師長/明治大学総合数理学部・教授
			氏名	河内 清人、中村和幸（総括）
家電や工場の機器がインターネットに接続するIoT(Internet of Things)が進化を続け、いずれはサイバー空間と現実の物理空間が高度に融合した超スマート社会が実現されると考えられています。本講義では、このようなIoT時代を見据えたサイバーセキュリティに対する研究動向について、当社の取り組みを中心に紹介します。また近年、次代の革新的コンピュータ技術として脚光を浴びている量子コンピュータに対抗する、新たな暗号技術の研究動向についても紹介します。				

3 履修上の注意
<p>オンデマンド配信による授業なので、オンラインで受講できる環境を確保すること。オンデマンド動画の公開を月曜日の21時30分に行う。また、Zoomによるオンデマンド動画の録画会を行う場合は、動画公開日の5時限（17時10分～18時50分）に行い、この模様を履修者は視聴することが可能である。直接チャットなどで質問できる機会もあることから、Zoom中継による録画会の視聴を推奨する。また、アンケート機能を用いた質問・意見を募る。</p>
4 準備学習（予習・復習等）の内容
<p>シラバスで提示された話題について、自分なりに調査してみることを強く勧める。</p>
5 教科書
<p>特に定めない</p>
6 参考書
<p>特に定めない</p>
7 課題に対するフィードバックの方法
<p>提出された課題について、コーディネーターより講義において適宜コメントする。</p>
8 成績評価の方法 ※レポート・小テスト・定期試験・平常点の評価は、それらの割合を明示のこと
<p>毎回の講義後にミニレポート課題の提出をもとめ、その内容を評価する。レポート課題の締切は講義日の6日後の23時30分とする。レポート100%。</p>
9 その他
<p></p>